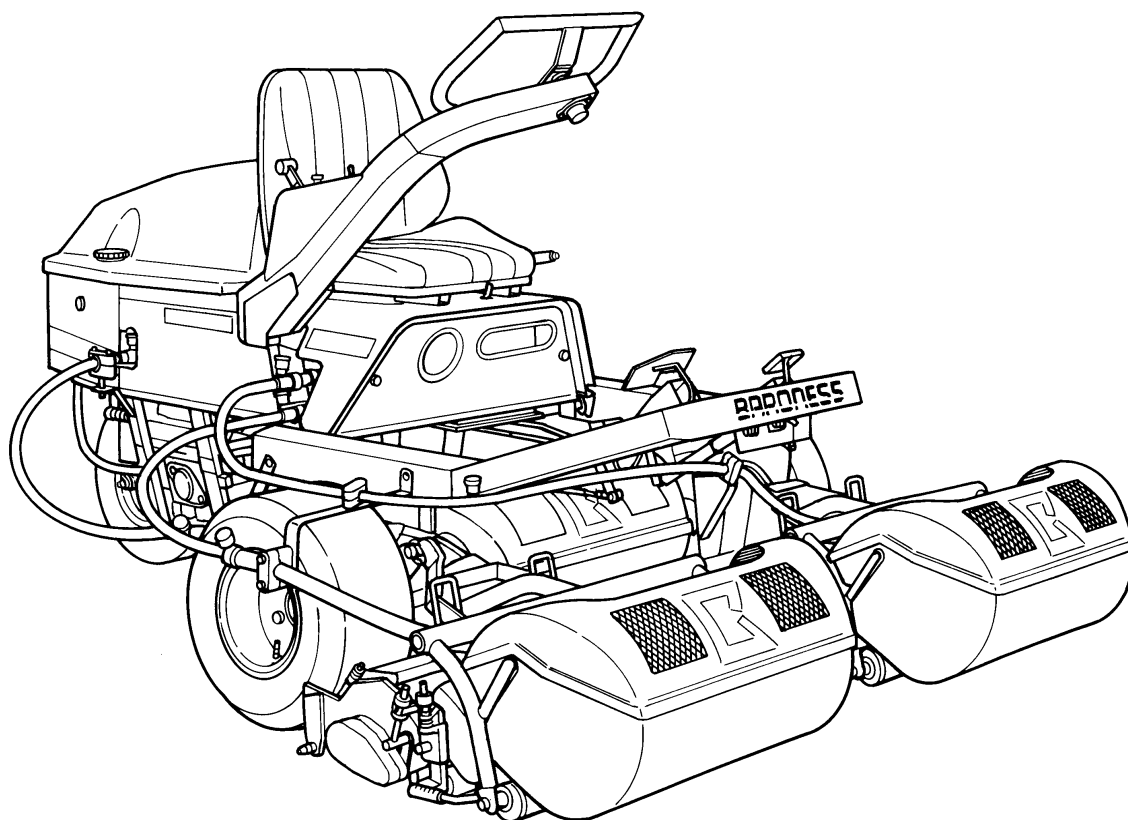


乗用3連グリーンモア・ティーモア
LM315GA・315TA

BARONESS

バロネス芝刈機

'02.5~



取扱説明書 & パーツカタログ
(P1 ~ P25) (P26 ~ P78)

 株式会社 共栄社

“ 必読 ” 機械のご使用前には必ず本書及びバンガードエンジン、バロネスラッピングマシンの取扱説明書をお読み下さい。

安全に関する警告について

本機には、印をつけた警告表示ラベルを貼付しています。
安全上、特に重要な項目を示しています。警告を守り、安全な作業を行なって下さい。

警告表示について



その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負うことになるものを示します。



その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負う危険性があるものを示します。



その警告に従わなかった場合、ケガを負うおそれがあるものを示します。

記号



----- 取扱説明書参照



----- 高温面
手又は指のヤケド



----- 高圧オイル
警告マーク



----- 排気ガスに注意



----- ガソリン



----- 危険マーク
手の切断



----- 飛散物注意マーク



----- 火気厳禁



----- ベルトに手や指の
巻き込まれ注意



----- 危険マーク
足の切断



- ・ この取扱説明書や機械に使用されている警告表示ラベルは、安全確保のための説明が書かれていますので、注意して読み充分理解して下さい。
- ・ 操作手順や安全注意事項をよく理解してから、この機械を運転して下さい。
- ・ マークや説明文はきれいに保ち、なくなったり損傷があった場合には、新しいものに交換して下さい。

ラベル貼付位置図

K 4 2 0 5 0 0 0 6 3 0

注意

取扱上の注意

- この機械を運転する前に取扱説明書を熟読し十分機械の操作を理解してから運転して下さい。
- 危険・警告・注意等ラベルの指示にしたがって行動しないと死傷又はケガをする結果となります。
- マ・クやラベルの説明文はきれいに保ち、無くなったり損傷があった場合には、新しいものに交換して下さい。

K 4 2 0 5 0 0 0 4 2 0

注意

油圧作動油交換について

- 作動油の交換は、1年又は500時間の短い方で交換して下さい。
- フィルタは、作動油交換時合わせて交換して下さい。
- 作動油が乳化及び透明度が悪くなった時は即交換して下さい。
- 作動油補充は、指定銘柄作動油を補充して下さい。

K 4 2 0 5 0 0 0 3 9 0

警告

高圧オイルによる被害の防止

- 高圧オイルが皮膚に吹き付けられると、重大な損傷が起きます。
- 高圧ライン・ホース・接手を外す前に、圧力を逃がすこと。
- 運転を始める前に（高圧になる前に）全ての接手の締め具合を確認すること。
- 高圧ラインの小穴・ノズルには、手や身体を近づけないこと。
- 漏れの点検には、小さな厚紙を使うこと。
- もし、高圧オイルが皮膚に吹き付けられたら、2～3時間以内に医師の手当を受けなければなりません。

K 4 2 0 5 0 0 0 6 7 0

注意

動力作動中は回転物に触れないで下さい。ベルトや回転物で指や手をケガをする危険があります。

K 4 2 0 5 0 0 0 6 0 0

注意

燃料取扱上の注意

- 燃料補給時は、火気厳禁です。
- 補給は野外で、エンジンを停止しエンジンを冷やしてから行なって下さい。
- 火災を防ぐため、機械は常にきれいに保ちゴミの堆積、グリス・オイルの付着がないようにして下さい。
- こぼれた燃料は、きれいに拭き取って下さい。

公道乗車禁止

K 4 2 0 5 0 0 1 0 7 0

K 4 2 0 5 0 0 0 4 1 0

注意

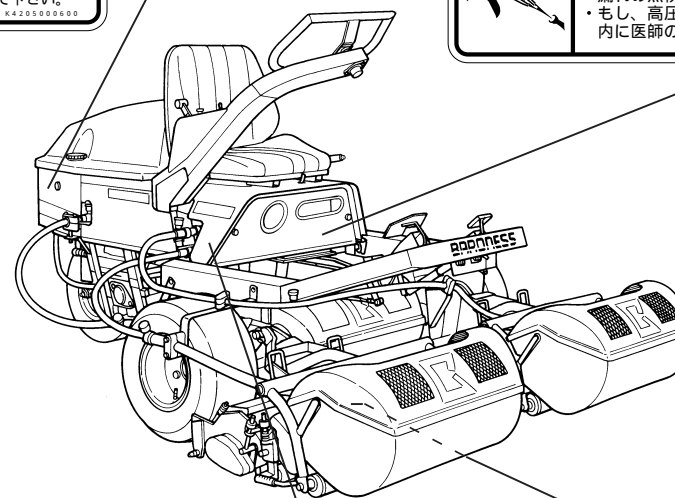
下記運転操作により安全に作業を行なって下さい。

- 取扱説明書を十分読んで下さい。
- 全ての操作部の位置と機能を覚えて下さい。
- 斜面での本機の運転は、操作に十分慣れてから行なって下さい。
- 運転席を離れるときは、
 - 駐車ブレーキをかけて平坦地に止めて下さい。
 - エンジンを停止させ、キーを抜いて下さい。
 - 点検修理をする前に全ての部分が
- 停止している事を確認して下さい。
- 回転する刃刃によってはね飛ばされるような物は取り除いて下さい。
- 子供等を乗せないで下さい。
- 人やペットは機械に近づけないで下さい。
- 防護部品は必ずつけ、安全部品は外さないよう作業して下さい。
- 25度以上の急傾斜地では運転の危険が高いため使用しないで下さい。
- 乗用での公道走行は出来ません。

注意

運転中及び運転停止直後にカバーやマフラーにふれないで下さい。やけどをする危険があります。

K 4 2 0 5 0 0 0 5 6 0



注意

メンテナンスの注意

- 実施するメンテナンスを熟知して下さい。
- メンテナンスは乾燥したきれいな場所で実施して下さい。
- 機械が作動中は、給油やメンテをしないで下さい。
- 作動中は、駆動・作動部分には手足を近づけないで下さい。
- 全ての駆動を断ち、各コントロールを操作して圧力を解除して下さい。
- 全部品は、良い状態で正しく取り付けして下さい。
- 損傷部品は直ちに修理、交換して下さい。
- 摩耗損傷部品は、交換して下さい。
- ゴミやグリス、オイルの付着は、取り除いて下さい。
- 電気系統のメンテナンスをする前には、バッテリーのマイナス（-）配線を外して下さい。

K 4 2 0 5 0 0 0 5 9 0

K 4 2 0 5 0 0 0 3 4 0

危険

- 飛散物、刃でケガをしないよう気を付けること。
- 運転中、まわりに人がいないか確認し作業をすること。
- リールカバー、クラッチカバーは必ず取り付け使用すること。

はじめに

このたびは、バロネス芝刈機乗用3連グリーンモアLM315GA・TA型をお買い求めいただきまして、ありがとうございます。

ご使用に先立ち、この取扱説明書、エンジン取扱説明書及びラッピングマシン使用説明書をよくお読み下さい。そして本機の性能を充分ご理解の上で、適切な取り扱いと保守をして頂き、いつまでも安全に能率よくお使いくださるようお願い申し上げます。

また付属品についても、不足が無いパーツカタログFIG23にてご確認ください。なお、本機についてのお問い合わせは、型式が順次変更する場合がありますので、機械の型式と機械番号をお知らせ下さい。

◆本書記載事項は改良のため予告なしに変更することがあります。

目次

1. オペレーション・・・・・・・・・・P 3

本機の優れた操作は、芝刈り作業をやさしくしました。

この章では、内容を走行及び芝刈り作業に限定し、オペレーター二分之一編集してあります。保守担当者が毎日の始業点検終了後、オペレーターに芝刈り作業を依頼するとき、オペレーターに熟読させるようにご指導下さい。

2. メンテナンス・・・・・・・・・・P 10

本機はモアユニットの着脱が簡単な為、メンテナンスの章を本体及びモアユニットに分けて編集してあります。保守担当者の充分な整備・点検がオペレーターの安心につながります。安全に能率よくお使い下さいますようお願い致します。

3. オプション・・・・・・・・・・P 24

4. 仕様・・・・・・・・・・P 25

5. パーツカタログ・・・・・・・・P 26

☆ 部品注文について

本パーツ表の部品は電算機にて管理しておりますが、誤送の原因ともなりますので、部品注文の際は必ず機械の型式・カタログ番号・コード番号・部品名称でご注文ください。

(例) カタログ番号	コード番号	部品名称	個数
13-12	K 0 6 1 2 0 6 2 0 2 0	ベアリング 62022RD	8

1 — 1 . 注意事項

・ 使用上の注意事項

- 

注意

使用する前の点検

 - ・機械の使用前と後には必ず点検・整備をして下さい。特に、ハンドル・ブレーキ等の操縦装置および車輪等の走行装置は確実に作動するように点検整備して下さい。
 - ・点検等で機械を停止する場合は、平坦な場所で機械を止め、サイドブレーキを引いて下さい。また、機械を離れる場合は、キーを抜いてから離れて下さい。
- 

危険

燃料補給 

 - ・火気厳禁です。タバコを吸ったり火花を出したりしないで下さい。
 - ・補給は室内及び換気の悪い所では行わないで下さい。
 - ・エンジンを停止し、エンジンを冷やしてから行って下さい。
 - ・こぼれた燃料はきれいに拭き取って下さい。
- 

警告

エンジン始動 

 - ・室内及び換気の悪い所ではエンジンを始動しないで下さい。
 - ・機械の周囲に人や障害物がないか安全を確認して下さい。
 - ・カバー等の防護部品、防護装置が正しく取り付けられているか、損傷していないか確認して下さい。

4. 危険

リール刃（回転刃）の取り扱い



- ・作業やメンテナンス中、リールカッター（回転刃）やVベルト等回転している部分は危険ですので、手足やものを入れたり、触れたりしないで下さい。
- ・持ち上げレバーでモアを持ち上げると時は危険ですので途中で落とさないで下さい。また、持ち上げ後は確実に固定して下さい。
- ・石等の障害物は、リールカッター、受刃の損傷、飛散物の事故等の原因になりますので取り除いてから使用して下さい。
万一、障害物がかみ込んだ場合は、エンジンを停止し、駆動部が完全に停止してから取り除いて下さい。そして、機械の損傷を確認し、壊れている場合は直ちに修理して下さい。リールカッター、受刃は非常に鋭利な刃物です。取り扱いには充分注意して下さい。
- ・リールカバー等の防護部品や防護装置は、使用者の危険を防止するものです。破損の場合は交換し、所定の位置に必ず取り付けて下さい。

5. 注意

高温部の注意



- ・運転中および運転停止直後にマフラーやエンジン等に触れないで下さい。ヤケドをする危険があります。

6. 警告

高圧オイルによる被害の防止



- ・高圧オイルが皮膚に吹き付けられると、重大な損傷が起きます。
- ・高圧ライン・ホース・継手を外す前に、圧力を逃がして下さい。
- ・漏れの点検には、小さな厚紙を使って下さい。もし、高圧オイルが皮膚に吹き付けられたら、2～3時間以内に必ず医師の手当を受けて下さい。

7. 注意

傾斜地作業について

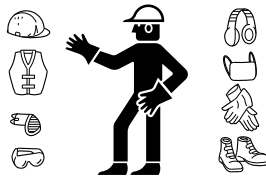
- ・地面は平坦でなく凹凸や石等があり機械傾斜角度が急に大きくなる場合が考えられますので以下のことを守って下さい。
- ・転倒やスリップの危険がある場所では、絶対に機械を運転しないで下さい。特に、しめった芝の上を走行する際は滑りやすいため注意して運転して下さい。
- ・傾斜地では、作業前に穴、岩石、木の根（その他の不法投棄物）等を取り除き、それらが無いことを確認してから充分気をつけて作業して下さい。
- ・傾斜地での作業は、等高線に沿って行い、旋回は傾斜角度のゆるい所で行って下さい。

・安全作業について

- ・芝刈機は、リールカッター（鋭利な刃物）を回転させる機械で、使用する場所、障害物、芝生の条件等いろいろありますから、使用者は機械の点検整備の徹底をはかり、機械操作の熟練に努め、自己の安全を図ると共に、他人に危害を及ぼさないように、正しく機械を使って安全第一に作業される事をメーカーとして強く要望します。

1. 警告 安全の為の衣服について

- ・安全の為、機械に巻き込まれないきちんとした衣服、作業に適した保護具・メガネ・靴・ヘルメット・手袋等を着用して下さい。
- ・緊急時への対応として消火器・救急箱等の準備や、連絡手段を確保して下さい。



2. 警告 こんなときは運転しないで下さい

- ・疲れている時は機械を使用しないで下さい。もし、機械使用中に疲れた場合は、作業を中断し休憩して下さい。
- ・病気の人、酒を飲んでいる人、薬物の影響のある人は機械を使用しないで下さい。視覚や敏しょう性、判断力に影響を及ぼします。
- ・機械操作に不慣れな場合は、取り扱い方法や安全注意事項をよく理解してから機械を使用して下さい。また、子供には使わせないで下さい。

3. 注意 安全作業について

- ・作業時は、周囲に人がいないか破損する恐れのない物がいないか、プレイヤーが近くにいないか確認して作業して下さい。打球が飛んできて危険です。
- ・どのような場合でも緊急停止ができる速さで運転し、急発進・急ハンドルはしないこと。特に坂道を下る場合は必ず低速走行して下さい。重心

が前になり、ハンドルを操作しても方向が定まらず、転倒する恐れがあります。

4. 注意 機械の改造禁止

- ・機械の改造はしないで下さい。整備上の必要部品は、安全確保の為に、純正部品を使用して下さい。

5. 警告 マフラー・エンジン回りのごみは取り除く

- ・エンジン冷却風入口、エアクリーナ空気取入口、マフラー、エキゾストパイプ部に刈り取った草などの異物がたまりますと、エンジン不調、オーバーヒートなど火災の原因になりますので、すみやかに作業を中断し、過熱部が充分冷めるのを待って取り除いて下さい。

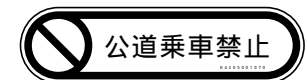
6. 注意 機械を他人に貸す時は

- ・機械を他人に貸す時は、取扱説明書に記載されている安全上の注意事項や取扱要領が分からない為、思わぬ事故を起す事があります。取扱方法をよく説明し、取扱説明書を渡して使用前にはよく読むように指導して下さい。

7. 警告 夜間走行・作業の禁止

- ・夜間や天候不良など視界の悪い時は作業しないで下さい。

8. 注意 一般道走行の禁止



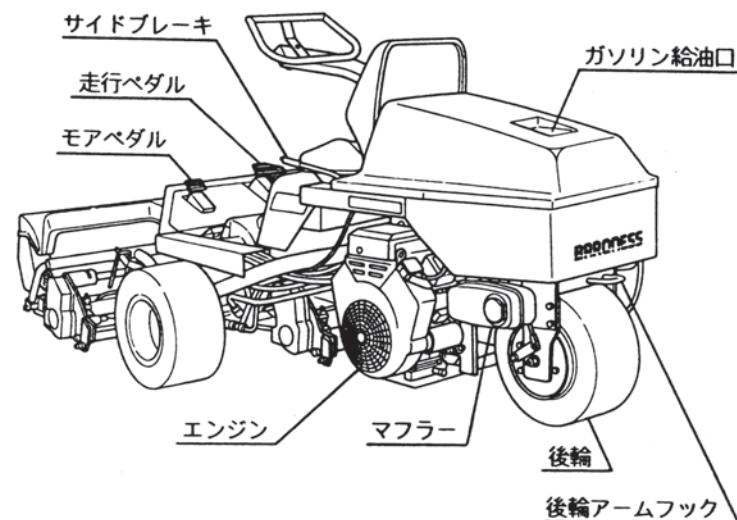
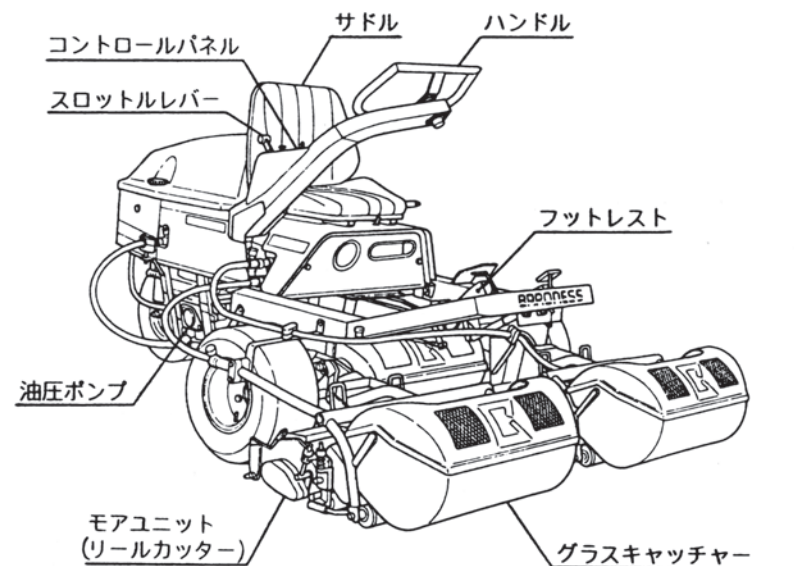
- ・本機は型式認定を受けておりませんので一般道路の走行はできません。

1. オペレーション

目 次

安全に関する警告について	P1
ラベル貼付位置図	P2
はじめに	P3
⚠ 危険 1-1. 注意事項	P3
1-2. 各部の名称	P6
1-3. 各部の調整	P7
⚠ 警告 1-4. エンジンの始動	P7
1-5. 操作	P7
a. 走行	P7
⚠ 危険 b. 刈り込み作業	P8
1-6. 動かなくなった場合のけん引方法	P9

1 - 2 . 各部の名称



(図 1)

1 - 3 . 各部の調整

a. サドルの前後調整 (図2)

2つのペダルが十分踏み込めるように、サドル調整レバーにて前後調整をして下さい。

b. ハンドルの高さを調べる (図2)

サドルに腰をかけ、ハンドルの高さを調べて下さい。
調整が必要なら、保守担当者に申し出て下さい。

1 - 4 . エンジンの始動

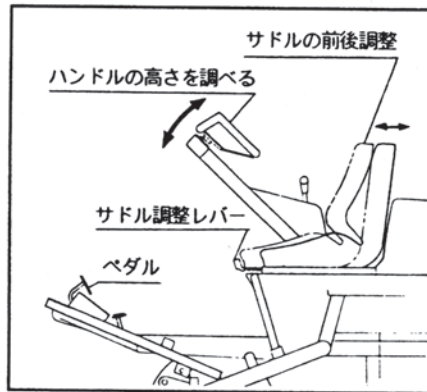
a. エンジンを始動する前に (図3)

- ①サイドブレーキを引きます。
- ②リールスイッチをOFFにします。
- ③スロットルレバーをLOWより少し上にします。
- ④チョークボタンを引きます。

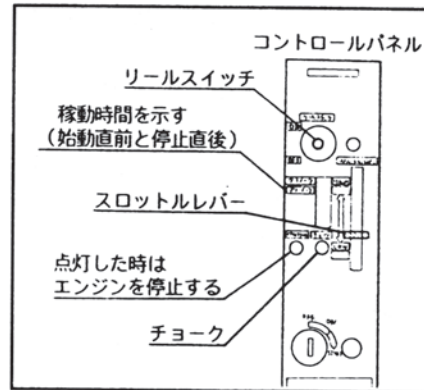
(再始動のエンジンでは、必要に応じて半分位引きます。)

▲警告 ⑤走行ペダルに足を置かないで下さい。

ペダルを踏んでエンジンを始動すると、本機が動き大変危険です。



(図2)



(図3)

b. エンジン始動 (図4)

- ①キーを差し込み右へ回します。

(1段目で赤ランプ点灯、2段目で始動します。)

- ②エンジン始動後チョークボタンをゆっくり戻します。

③負荷をかけずに約5分間、低速で暖気運転をします。

(エンジンが温かい場合は必要ありません。)

- ④スロットルレバーを徐々にHIGHの方へ移動させます。

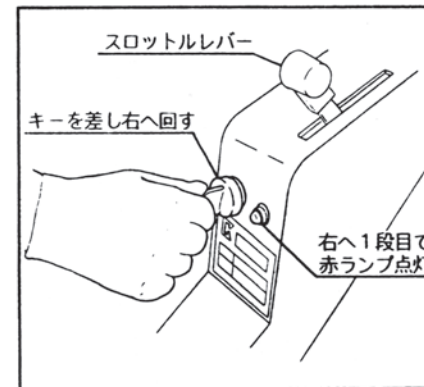
〔注意〕

◆エンジンがかかっている時に、キーを回さないで下さい。

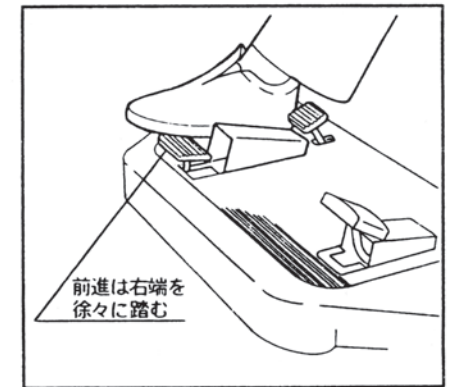
又、再始動にはフライホイールが止まっていることを確認して下さい。
(セルモーターが回り、ピニオンギヤを破損させます。)

▲注意

◆エンジン運転中は、Vベルト・プーリー等の回転部には触れないで下さい。



(図4)



(図5)

1 - 5 . 操作

a. 走行

- ①リールスイッチがOFFになっていることを確認します。
- ②モアユニットが降りている時は、左足でモアペダルを踏みモアユニットを上げ、その後ペダルから足をはずして下さい。
- ③サイドブレーキのボタンを押しながらレバーを下げます。
- ④ハンドルを持ち右足のつま先を、走行ペダルの右端にのせます。(図5)
- ⑤走行ペダルを徐々に踏み込むと、スムーズに発進できます。
- ⑥速さはスロットルレバーの調整と、走行ペダルの踏み込み量で調整します。
- ⑦停止するときは、走行ペダルより足を離します。
- ⑧後退する時は、走行ペダルの後端をかかとで徐々に踏み込みます。

(図6)

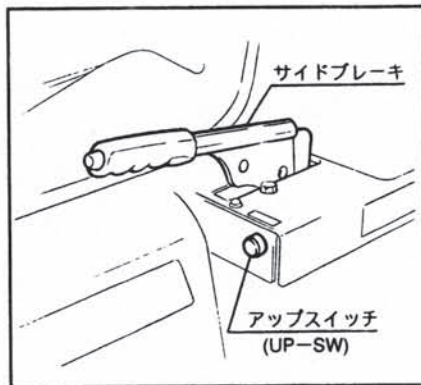
〔注意〕

▲注意

- ◆機械を駐車する場合は、平坦な場所で機械を止め、サイドブレーキを引いて下さい。また、必要の場合は輪止めをして下さい。(図7)
- ◆走行中のモアユニット上げ不足に対しては、アップスイッチを押しモアユニットを上げて下さい。
- ◆CAUTIONランプが点灯した時は、上下用リミットスイッチの故障が考えられます。カバーを開け、ソレノイドバルブ両端のカブラを外します。なお、モアユニットが降りている時は、ソレノイドバルブ手動スイッチの上げ側を強く押して、上げて下さい。
(P22表3「手動スイッチを使う場合」を参照して下さい。)
- ・適当な場所へ移動しエンジンを停止します。作業を中止し保守担当者に申し出て下さい。



(図6)



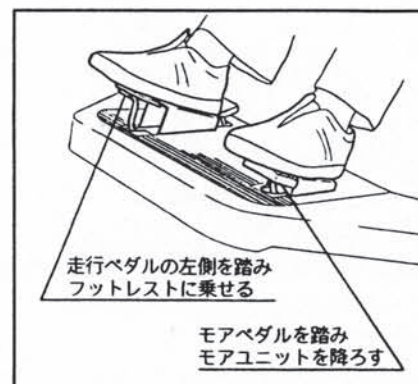
(図7)

b. 刈り込み作業 (走行から作業に移る場合を想定しています。)

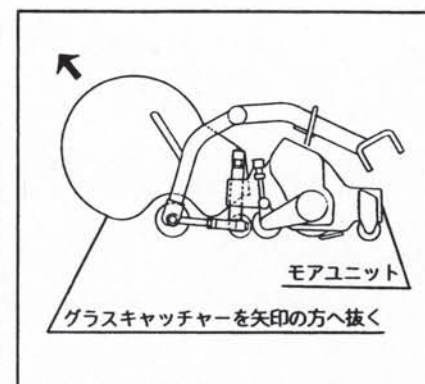
- ①タコメーターを見てエンジン回転速度が2700～2900rpmになるように、スロットルレバーを調整します。
- ②走行ペダルの左側を踏み、フットレストに足が付いた時に、一定の速さ (5～6km/h) で作業ができます。(図8)
- ③リールスイッチをONにします
- ④モアペダルを左足で踏み、モアユニットを降ろします。
リールカッターが回転します。(モアユニットの昇降は、モアペダルの踏み込みの繰り返して行われます。)(図8)
- ⑤作業が終わり走行する時は、モアペダルを踏みモアユニットを上げます。リールカッターの回転は停止します。

⑥リールスイッチをOFFにします。

必要に応じてグラスキャッチャーを取り外し、刈った芝を捨てて下さい。(図9)

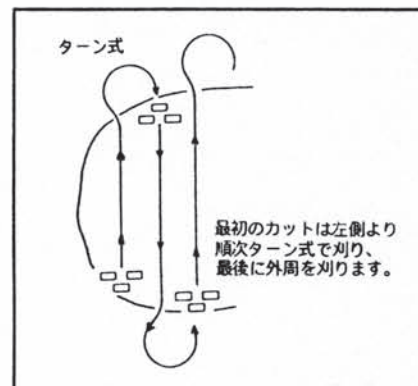


(図8)

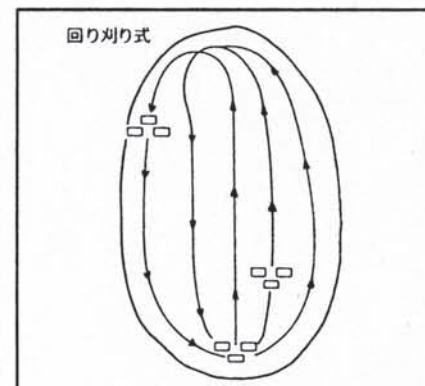


(図9)

尚、次に刈り込み例を示しますので、参考にして下さい。(図10・11)



(図10)



(図11)

<刈り高参考>

5 mm グリーン、テニスコート
10 mm カラー、ティー

〔注意〕 15 mm アプローチ、テニスコート外周、野球場

- ◆作業中のモアユニット上げ不足に対しては、アップスイッチを押しモアユニットを上げて下さい。
- ◆オプション類を使用しての作業は、保守担当者にご相談下さい。



- ◆ リールカッター回転中はモアユニットに、手足などを絶対に近づけないで下さい。
- ◆ カラー、アプローチ等で刈り高を変えて刈る場合は、3基のモアユニットは全て同じ刈り高にして、刃の減りを揃えて下さい。

1 - 6 . 動かなくなった場合のけん引方法

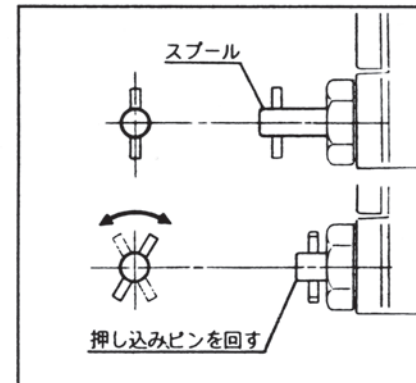
a. 油圧ポンプのアンロードバルブを作動させます。

① 1064号機以降

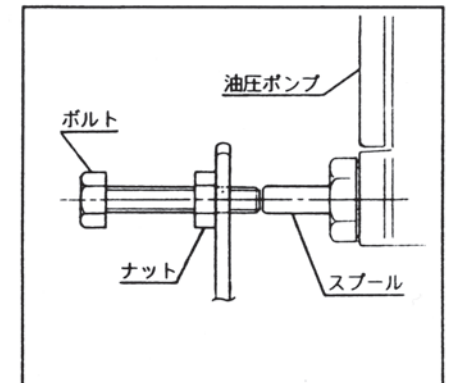
スプールを7.5mm程押し込み、操作ピンを左右どちらかへ約30°回します。(図12)

② 1063号機以前

スプールをボルトにて押し込んだ状態にしておきます。(図13)



(図12)

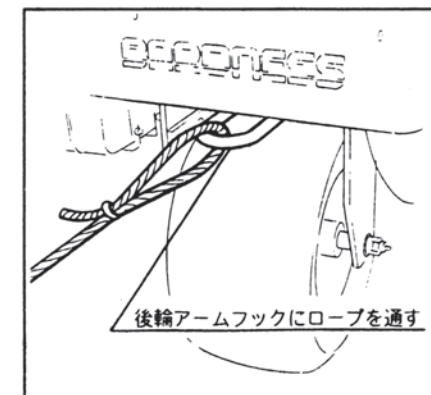


(図13)

b. 本機をけん引します。

① 後輪アームフックにロープを通します。(図14)

② 乗車しないでけん引して下さい。



(図14)

2. メンテナンス

目 次

▲ 危険	2-1. 始業点検	P 10
	2-2. 各部の名称	P 11
	2-3. モアユニットの付け外し	P 11

【本体】

▲ 警告	2-4. 各部の調整と点検	P 12
	a. エンジン	P 12
	b. コントロールパネル	P 12
	c. ペダル	P 13
	d. ハンドル	P 14
▲ 注意	e. Vベルトとプーリー	P 15
	f. フレキシブルワイヤ	P 15
	g. 油圧系統	P 16
▲ 注意	h. バッテリー	P 17

【モアユニット】

	2-5. 各部の名称	P 17
	2-6. 刈り高調整	P 18
	2-7. 切れ味調整	P 19
▲ 注意	a. ラッピング研磨	P 19
	b. かみ合わせ	P 20
	c. リールカッターの再研磨 (オーバーホール)	P 20
	d. 刃合わせ	P 20

【全体】

	2-8. 長期保存について	P 21
	2-9. 故障と対策	P 21
	2-10. 点検整備基準	P 23

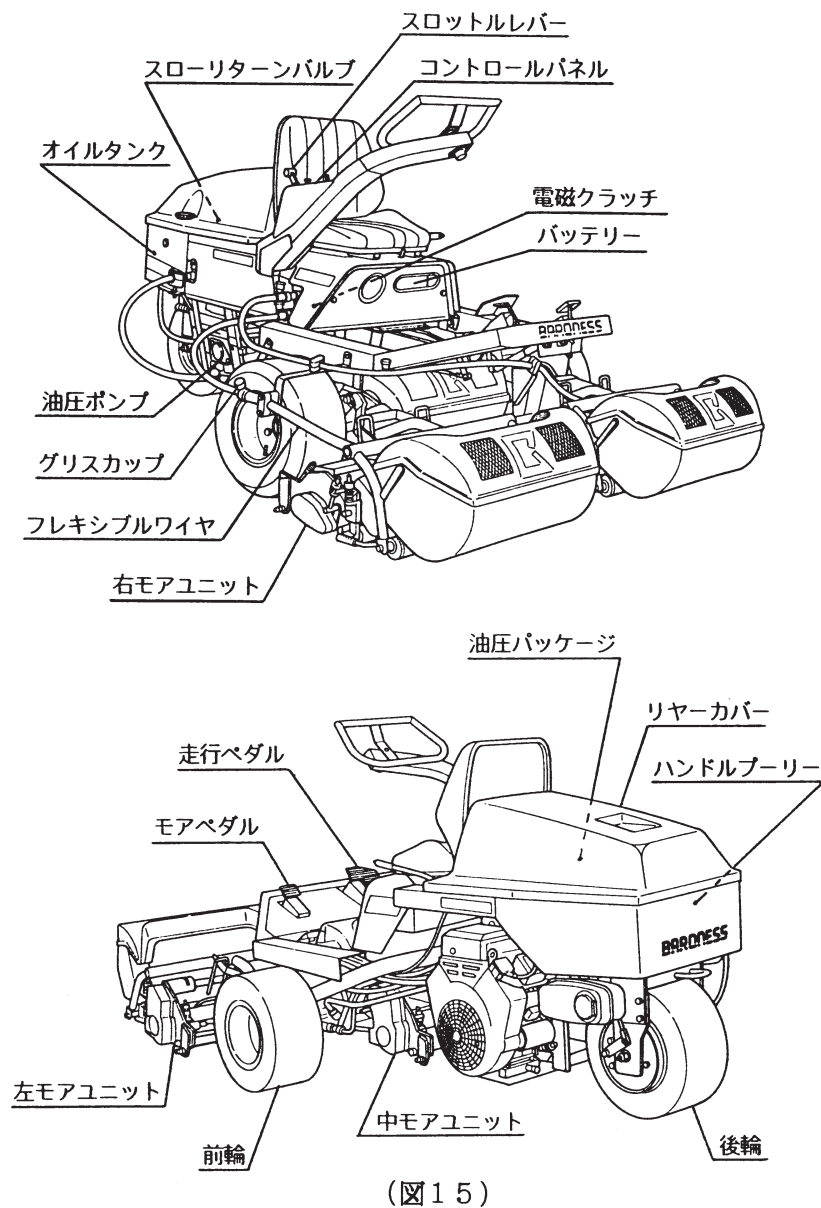
2-1. 始業点検

- a. モアユニット3基（モアユニット参照）
 - ①刈り高、切れ味を調べます。
 - ②モア逆転レバーが“刈込”になっていること。
尚、ラッピングギヤケースのケンマレバーも“刈込”になっていること。
- b. エンジン（エンジンの取扱説明書参照）
 - ①エンジンオイルの点検
 - ②エアークリーナーの清掃をします。
- c. 燃料タンクのガソリン残量はゲージで確認します。
 - ①タンク容量は10dm³(L)です。作業中のガス欠にご注意下さい。
- d. 油圧部分
 - ①オイルタンクの油量
 - ②油圧機器のジョイント部のオイル漏れ（特に使い始め）
- e. バッテリー（バッテリーの取扱説明書参照）
 - ①バッテリー液面の点検と補水
 - ②バッテリーの清掃
- f. 動作確認（オペレーション参照）
 - ①モアペダル
 - ②リールスイッチ及びパイロットランプ
 - ③昇降時リミットスイッチ
- g. サイドブレーキを引き、後輪ブレーキの効きを確認して下さい。
- h. フレキシブルワイヤ3本
 - ①グリスアップ（モリスピード2号）
 - ②アウターワイヤの亀裂の有無
- i. Vベルト6本の張り具合
- j. タイヤの空気圧80kPa（0.8kgf/cm²）
- k. 各部のボルト・ナットのゆるみ（使い始めに注意）に対し増し締めをします。
- l. オペレーターに受け渡す前に、オペレーションの章1-4. エンジンの始動及び1-5. 操作について支障がないことを確認して下さい。

〔注意〕

- ▲ 危険** ◆リール回転中はモアユニットに、手足などを絶対に近づけないで下さい。

2 - 2 . 各部の名称



2 - 3 . モアユニットの付け外し

必ず平坦な場所で行って下さい。

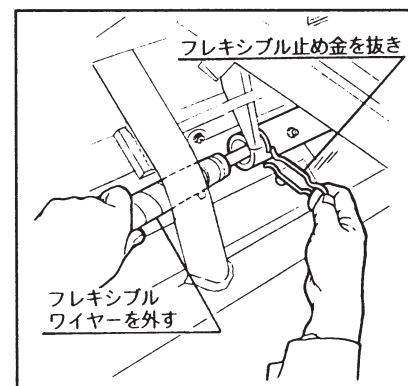
a. 次の状態を確認して下さい。

- ① サイドブレーキが引いてありますか。
- ② リールスイッチがOFFですか。
- ③ モアユニットが降りていますか。
(イ) 降りていないときは、エンジンを始動しモアペダルを踏み、モアユニットを降ろします。
- ④ エンジンが停止していますか。

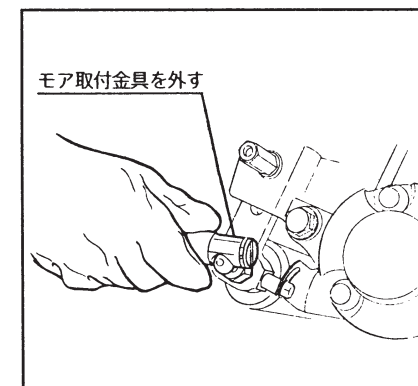
b. グラスキャッチャー取付アームとモアユニットの結合部を外します。(図16)

- ① フレキシブル止め金を抜きフレキシブルワイヤーを外します。
- ② モア取付金具を外し、それを立ててグラスキャッチャー取付アームを浮かせます。(図17)
- ③ リフトフォークを外すために、モアユニットを少し前へ出します。
- ④ モアユニットを車体の外へ取り出します。

c. 上記の逆手順により、モアユニットをグラスキャッチャー取付アームへ取り付けて下さい。



(図16)



(図17)

【本体】

2-4. 各部の調整と点検

▲警告

◆平坦な場所で停止しサイドブレーキを引いて下さい。指示がないときは必ずエンジンを止め、全ての可動部分が停止している事を確認して行って下さい。また、機械の下で作業を行なう場合は、必ず適切な支えを設けて下さい。

a. エンジン

エンジンの取扱説明書を熟読して下さい。

b. コントロールパネル（エンジン運転状態）（図18）

①リールスイッチ、パイロットランプと昇降時リミットスイッチ

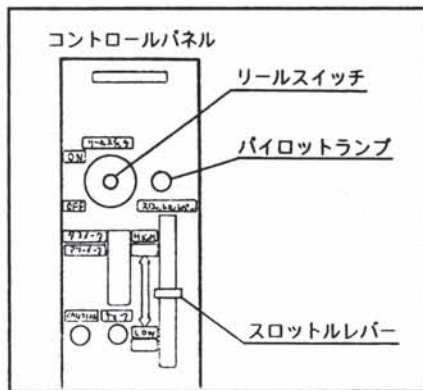
- (イ) リールスイッチをONにすればパイロットランプが点灯します。
- (ロ) モアユニットを降ろした状態で全てのリールカッターが回ります。
- (ハ) 次にモアペダルを踏みモアユニットを上げれば、昇降時リミットスイッチが作動して全てのリールカッターが止まります。

〔注意〕

◆芝刈り作業時以外は、リールスイッチをOFFにして下さい。但し、フレキシブルワイヤーを利用してラッピングする時は、リールスイッチをONにします。

②スロットルレバー（エンジン運転状態）

- (イ) タコメーターを見ながら回転速度が、次のようになるか確認して下さい。
- LOW-1200~1400rpm
HIGH-3500~3600rpm
- もし、調整が必要ならエンジン取扱説明書



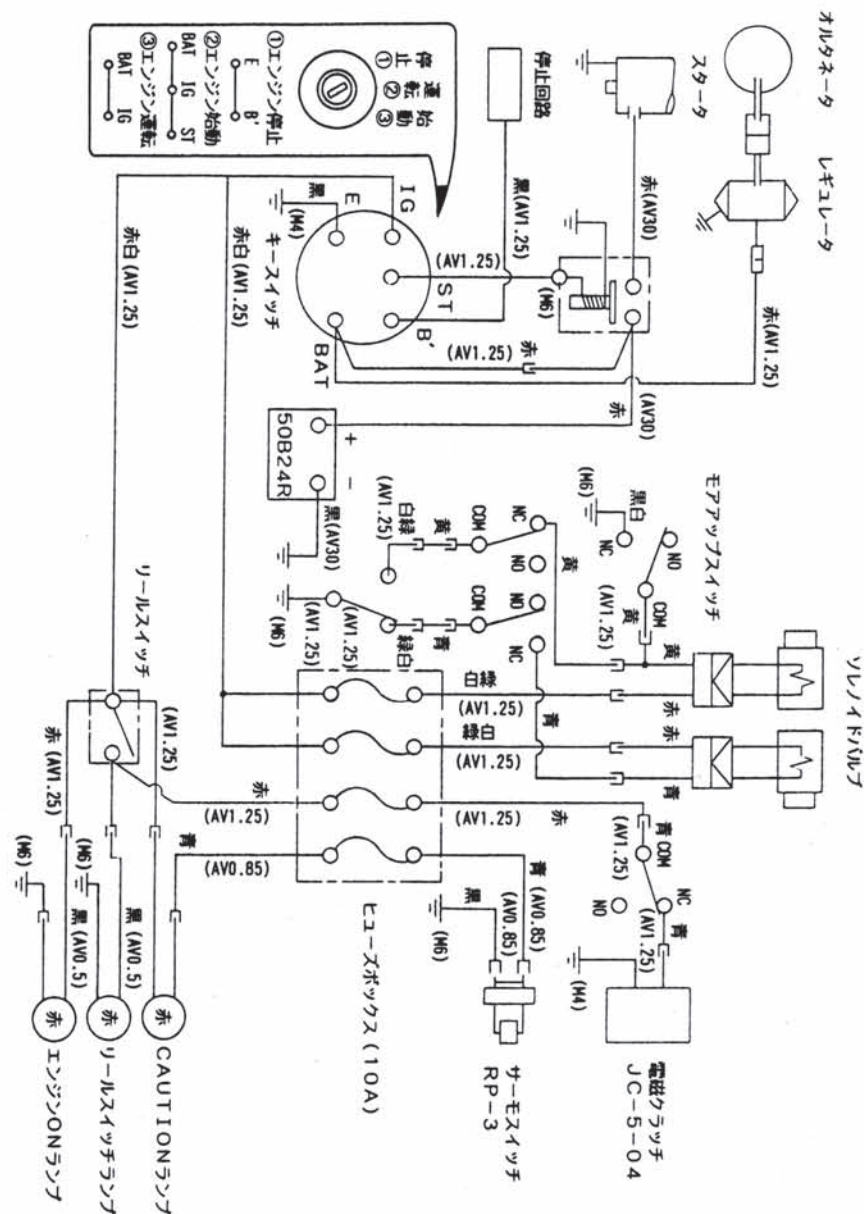
(図18)

(4. 調整)を参照して下さい。

- (ロ) 作業時はエンジン回転速度が2700~2900rpmになるように、スロットルレバーを調整して下さい。

③電気配線図

作業時（モアユニット降下時）



c. ペダル

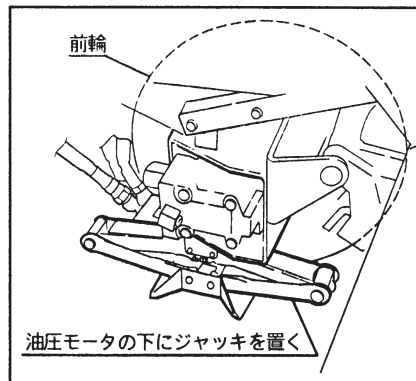
① 走行ペダルの中立出し

スロットルレバーをLOWよりすこし上にします。

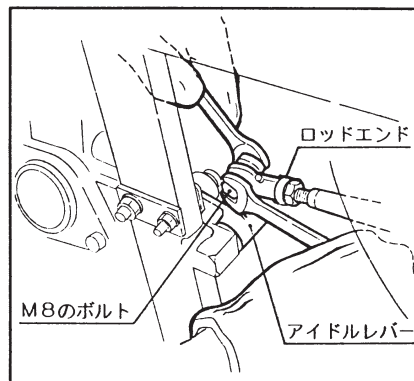
走行ペダルに足を乗せていなくても、前進または後退してしまう場合は、中立がでていません。

次のように調整して下さい。

- (イ) エンジンを停止し、サイドブレーキを引きます。
- (ロ) 前輪のどちらかをジャッキ等で地面から浮かせます。(図20)
- (ハ) ロッドエンドのM8ボルトを外し、走行ペダルとアイドルレバーを切り離します。(図21)
- (ニ) スロットルレバーをLOWより少し上にしてエンジンを始動します。



(図20)



(図21)

- (ホ) 中立が出ている(ジャッキで浮かせた車輪が回らない)時は、ペダルの戻りが弱いだけです。

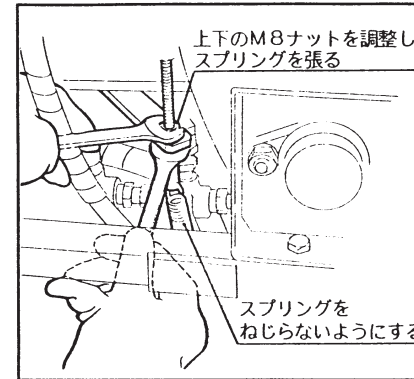
I エンジンを停止し、上下のM8ナットを調整しスプリングを張ります。この時、スプリングをねじらないようにします。(図22)

II ロッドエンドのM8のボルトを締めて、もとに戻して下さい。

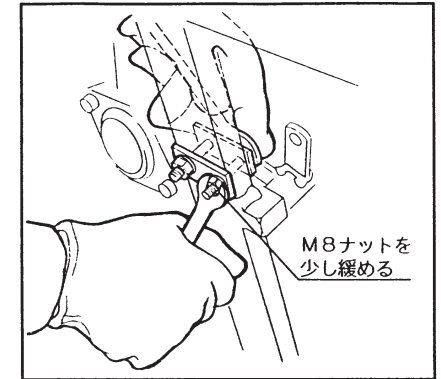
- (ヘ) 中立が出ていない(ジャッキで浮かせた車輪が回る)時は、M8ナット2個を少し緩め、次のようにします。(図23・24)

・車輪が前進方向に回転する時は、プレートを下にたたき上げます。

- ・車輪が後進方向に回転する時は、プレートを上にたたき上げます。
- ・スロットルレバーをLOWとHIGHの中間にしても車輪が回らない位置で、ナット2個を強く締めます。



(図22)



(図23)

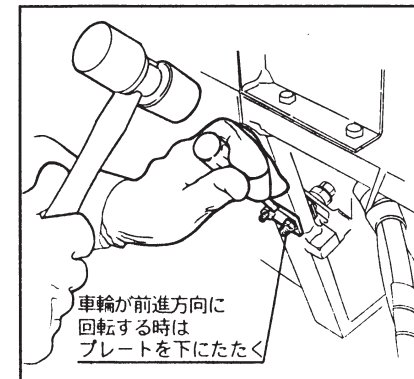
- (ト) ジャッキを外します。

② 各モアユニット昇降の時間的ずれ

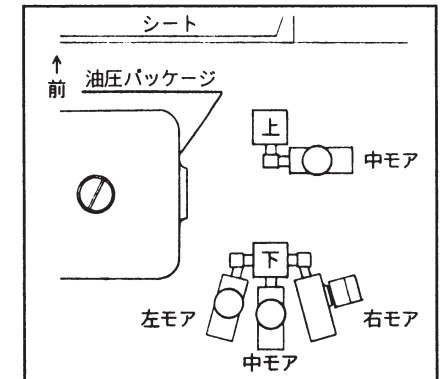
サイドブレーキを引きエンジンを運転して、回転速度を2700～2900rpmになるようにスロットルレバーを調整します。

モアペダルを踏むとモアユニットが昇降します。

- (イ) 左・右のモアユニットと中央のモアユニットは、昇降の時間的ずれにより、刈り始めと終わりを揃えます。



(図24)



(図25)

(ロ) モアユニットの昇降の時間的ずれは、スローリターンバルブの調整によって行います。

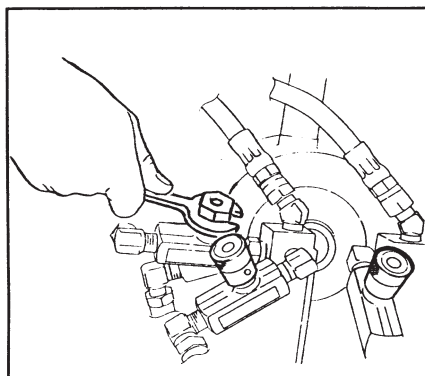
通常作業速さでは0.5秒位のずれが適当。

(ハ) 調整したいスローリターンバルブのロックナットをゆるめます。(図25・26)

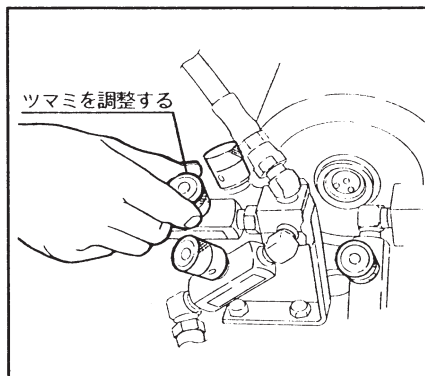
(ニ) ツマミを次のように調整します。(図27)

- ・今より速く動作させたいとき→左へ回します。
- ・今より遅く動作させたいとき→右へ回します。

(ホ) 調整後はロック用ナットを締め、エンジンを停止して下さい。



(図26)



(図27)

d. ハンドル

①ハンドルの高さ調整

(イ) ハンドルの高さは4段階に調整できます。

(ロ) ハンドルプーリーのワイヤを両側とも5mm位ゆるめます。(図28)

(ハ) ハンドルフレーム支点のM10ナットをゆるめ、調整用M8ボルトをぬき、ハンドルを適当な高さにして固定します。(図29)

(ニ) ハンドルワイヤーを下記②(ニ)のように調整して張ります。
(現在より低くする場合は、上記(ロ)の手順は必要ありません。)

②ワイヤ取り付け及び張り調整

(イ) 図30のようにワイヤプーリーを経由してワイヤを通します。(図30)

(ロ) ハンドルプーリーのワイヤ取付部にワイヤの先端のネジが同じくらい出るように差し込みます。

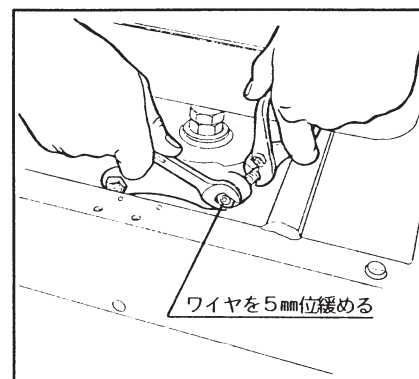
(ハ) プライヤーでワイヤを固定し、スパナ13mm用でM8ナットをねじ込みます。

(ニ) 後輪が直進状態の時、ハンドルを水平にしハンドルピンに差込み、M8ボルトで固定します。

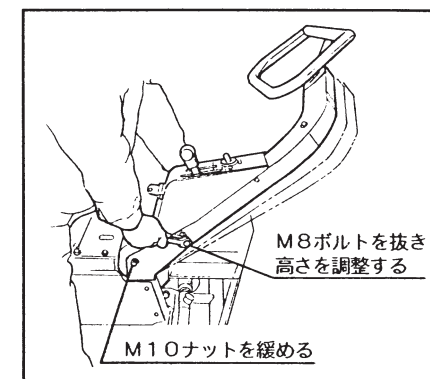
(ホ) 5～10mm位手で動くようにワイヤを調整して下さい。

〔注意〕

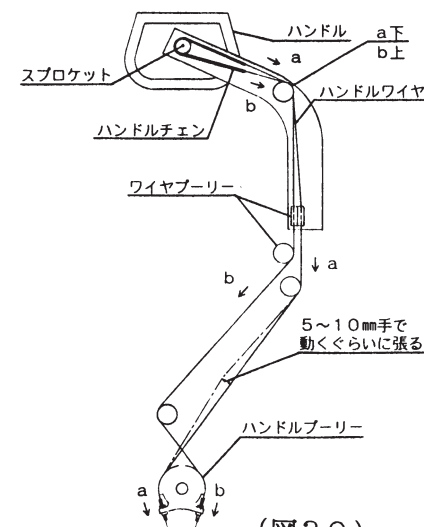
◆始めは毎日調整して下さい。ハンドルを左右に動かして、ふらふら動かないようにします。



(図28)



(図29)



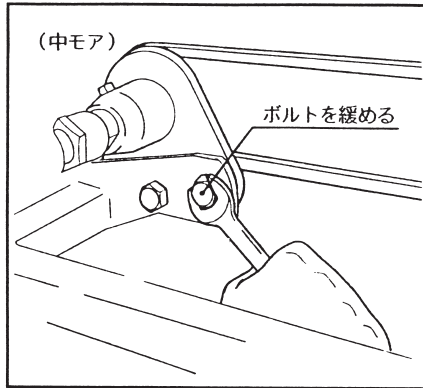
(図30)

e. Vベルトプーリー

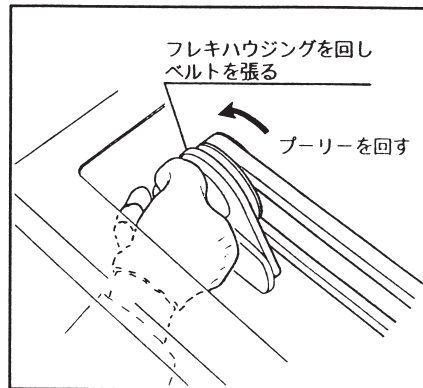
①Vベルトは6本あります。張り具合及びベルトの傷つきなどを調べます。(図31・32)

・エンジンプーリー GLB39-2本
・パッケージ GLA26-1本

・モア GLA29-3本



(図31)



(図32)

〔注意〕

◆エンジン運転中は、Vベルト・プーリーなどの各回転部に触れないで下さい。

f. フレキシブルワイヤ

①グリスアップ

(イ) グリスカップを1回転させて行います。

(ロ) 最後までねじ込んだ場合は、カップを外しグリス（モリスピード2号）を一杯に詰めて、振動で外れない程度にねじ込んで下さい。(図33・34)

(ハ) グリスアップの箇所(図35)

●印—作業前にグリスカップを1回転ねじ込みます。

○印—10時間毎にグリスカップを1回転ねじ込みます。

②フレキシブルの OUTERワイヤが破損した場合

OUTERワイヤが破損したままの作業は、INNERワイヤの破損を早めます。

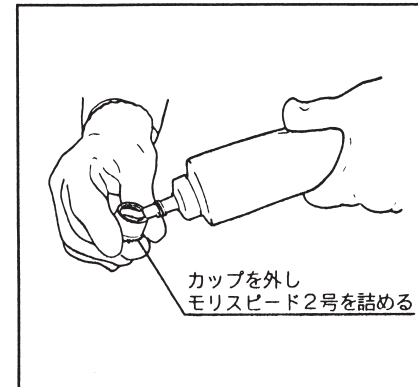
次のような方法で修理して下さい。

(イ) 付属のニシチューブ（熱収縮EPR）を適当な長さに切り、破損した部分に通します。（カップがじゃまな場合はこれを外します。）

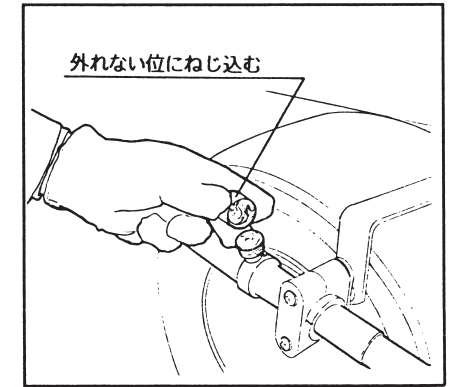
(ロ) バーナー、ドライヤー等で加熱すると収縮します。

〔注意〕

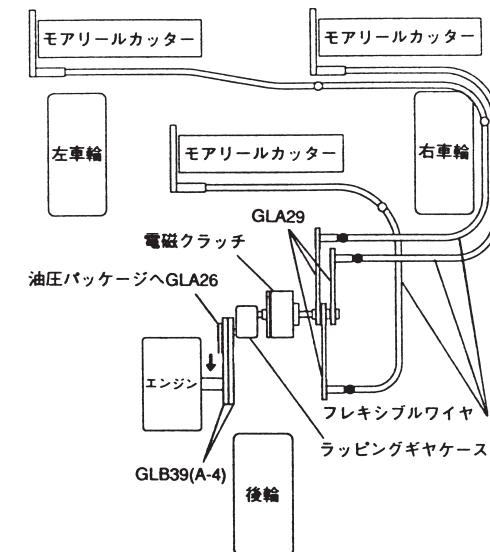
◆1箇所を連続的に加熱しないで下さい。ビニール被膜が溶けます。



(図33)



(図34)



(図35)

g. 油圧関係の点検

油圧は走行用とモア昇降用の2系統あります。油圧オイルはシェルテラスK46相当品をご使用下さい。

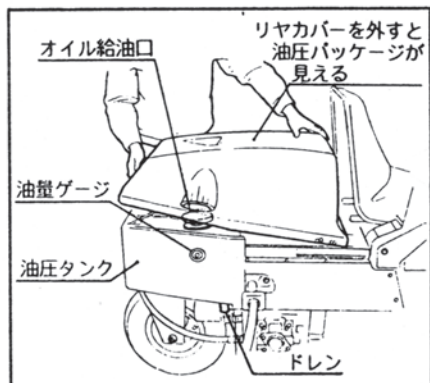
油圧ホースは使用前に必ず点検し、特にプーリー、ベルト等との接触が無いようにして下さい。

①油量点検

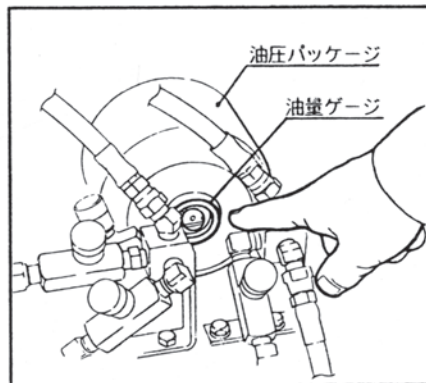
油量不足時には補給し、汚れている時は交換して下さい。

(イ) 走行用—油圧タンクの油量ゲージのほぼ中央に油面が見えます。(図36)

(ロ) モア昇降用—リヤカバーを外し、油圧パッケージ油量ゲージのほぼ中央に油面が見えます。(図37)



(図36)



(図37)

〔注意〕

◆油量は運転前に平地で点検し、油圧パッケージの油量はゲージより油面が上にならない事。油量が規定を越えると油漏れの原因になります。

②油漏れの点検

(イ) 50時間位使用しますと、油圧機器のジョイント部から油が漏れることがあります。増し締めをして下さい。

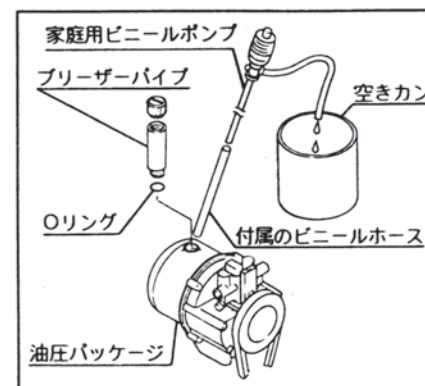
(油圧ホースの継ぎ金具、パイプの連結部、ポンプ、シリンダー等の継ぎ部)

③オイル交換

(イ) 走行用—油圧タンクのドレンよりオイルを抜き、オイル給油口より、10dm³(L)入れて下さい。(図36)

(ロ) モア昇降用 (図38)

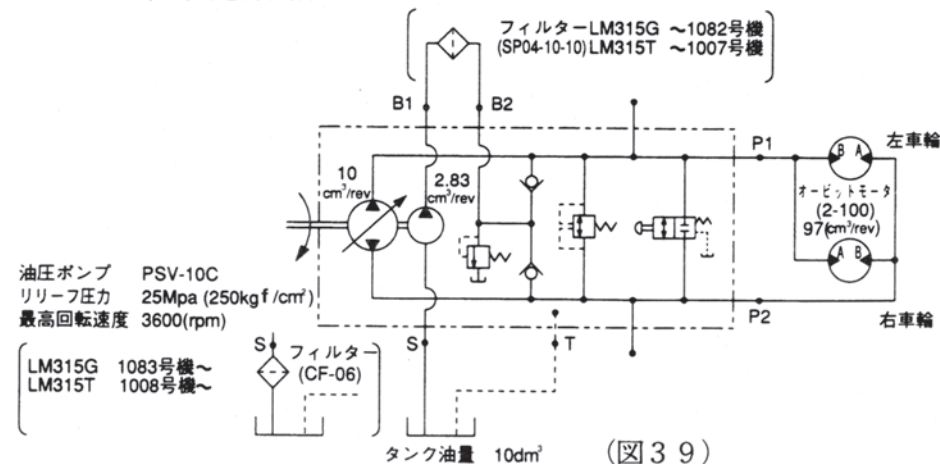
- I 油圧パッケージのブリーザーパイプを外します。
- II 付属のビニールホースを家庭用ビニールポンプにさし、延長します。
- III 給油口よりポンプをパッケージの底まで入れオイルを抜いて下さい。
- IV Oリングと一緒にブリーザーパイプを付けて下さい。
- V オイルをブリーザーパイプよりゲージの中央まで入れて下さい。



(図38)

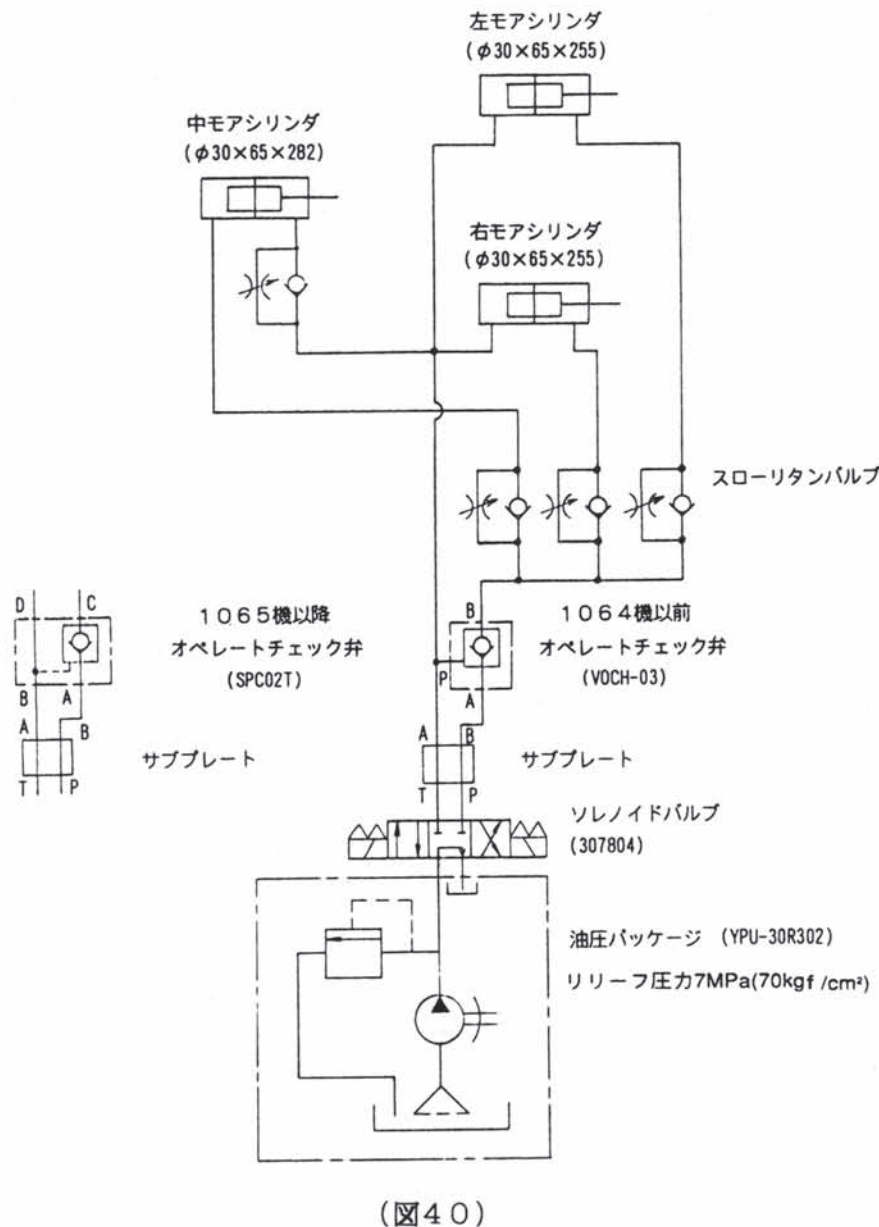
④油圧回路図

(イ) 走行関係 (図39)



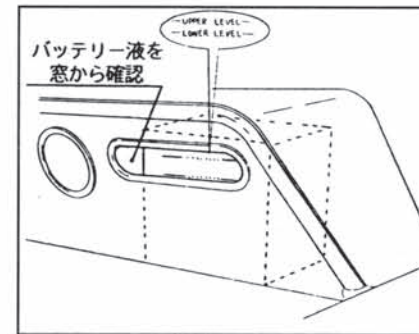
(図39)

(ロ) モア昇降関係

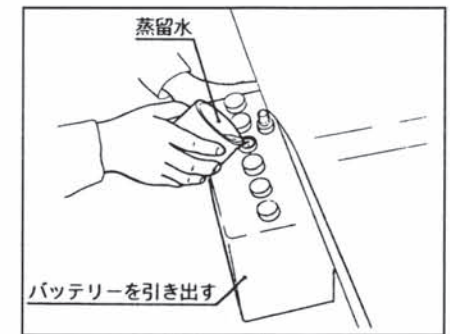


h. バッテリー (図41・42)

バッテリー液を確認し不足している時は、カバーとバッテリー止めゴムを外し、規定範囲になるまで蒸留水を補給して下さい。



(図41)



(図42)



◆バッテリー液は希硫酸ですので皮膚、衣服に付けないで下さい。もし付着した場合は直ちに水でよく洗い落として下さい。目や口に入った時は、医師の治療を受けて下さい。

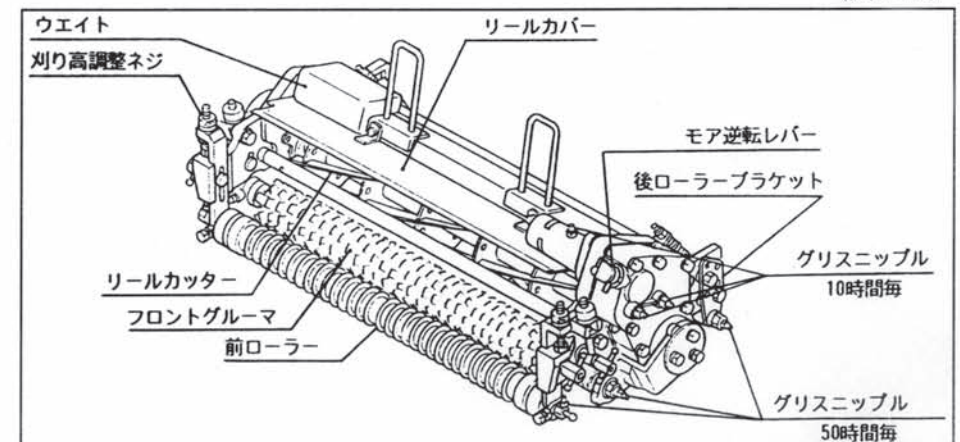


◆バッテリーの点検や充電は火気厳禁です。バッテリーからケーブルを外すときはマイナス側から外し、取り付けるときはプラス側から取り付けて下さい。金属工具や取付金具などによるショート（＋端子間、＋端子と車体）に充分注意して下さい。スパークによる引火爆発の原因になります。

【モアユニット】

2-5. 各部の名称

(図43)



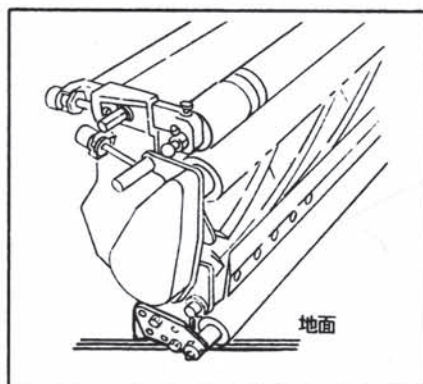
〔注意〕

◆グリスアップ

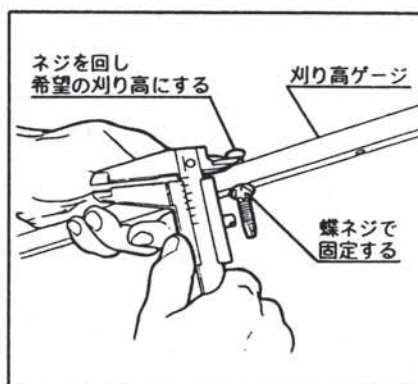
グリスニップル（図43）にグリス（エクセライトEP2号）を定期的に各々、約1gグリスアップして下さい。入れ過ぎに注意して下さい。

2-6. 刈り高調整

a. モアユニットを図44のように立てます。（図44）

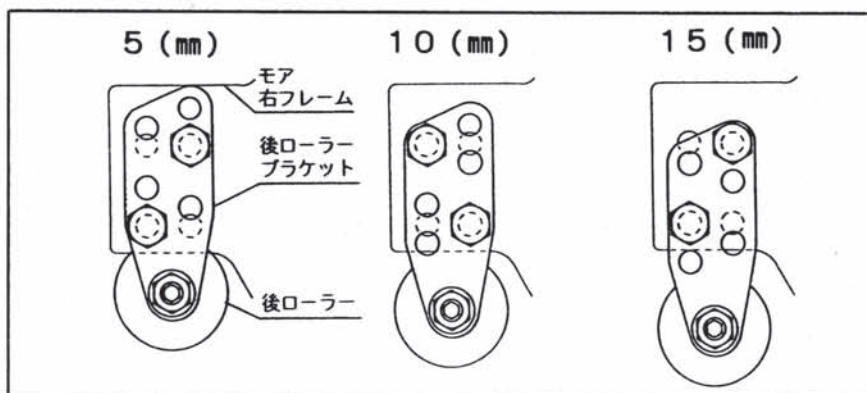


（図44）



（図46）

b. 後ローラーブラケットの取り付け高さを変える事で、3段階の刈り高範囲が設定できます。また5mm間隔での刈り高変更もできます。3段階の刈り高範囲（図45）



（図45）

c. 刈り高ゲージを希望の刈り高にします。（図46）
ベッドナイフにより、最低刈り高は次のようになります。

刃の種類	刃の厚み (mm)	最低刈り高 (mm)	コード番号	部品名称	備考
ムク刃	1.5	3.0	K2511000270	1.5ベッドナイフ55G	オプション
	2	3.5	K2511000280	2ベッドナイフ55G	
	2.5	4.0	K2511000050	2.5ベッドナイフ55G	
ハイス付刃	3	4.5	K2510000060	3ベッドナイフ62.5-559	標準装着
	5	7.0	K2510000160	5ベッドナイフ62.5-559	オプション

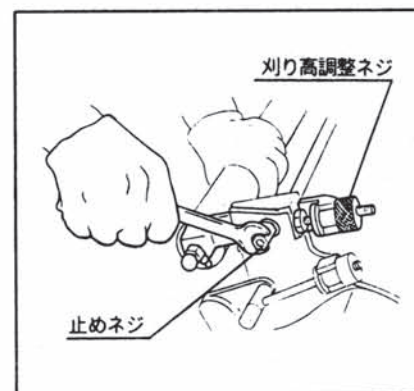
（表1）



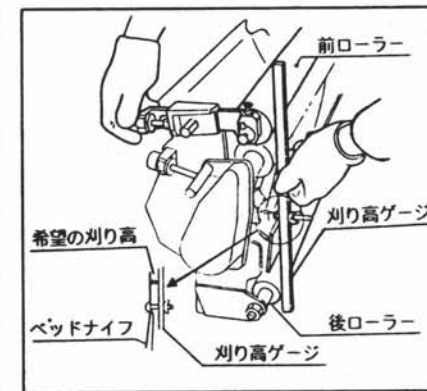
（図47）

d. 刈り高ゲージを図49のように前ローラー後ローラーにあて、ベッドナイフの高さを次のように調整します。（図49）

- ①前ブラケットの止めネジをゆるめ、刈り高調整ネジで前ローラーを上下させます。（図48）
- ②刈り高ゲージにて前ローラーの位置を決めます。
- ③この調整を右端・左端で同じように行います。
- ④止めネジを締め前ローラーブラケットを確実に固定します。



（図48）



（図49）

2 - 7 . 切れ味調整

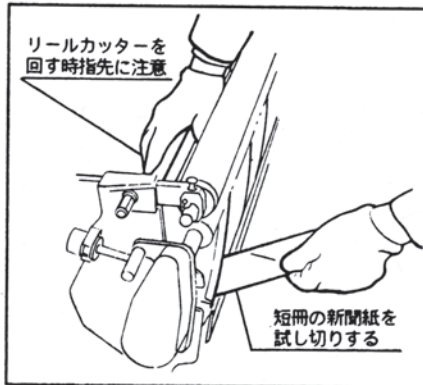
リールカッターとベツトナイフの全幅にわたり、新聞紙の切口がけば
だたず、スパツと切れるように、両者を研磨及び調整します。

a. ラッピング研磨

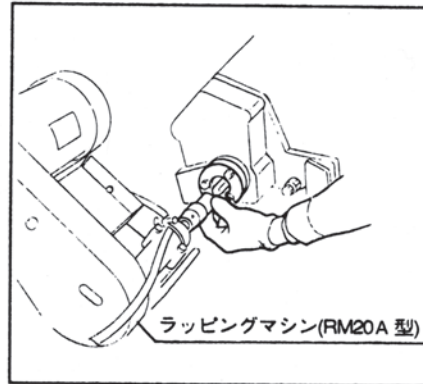
リールカッターとベツトナイフのすり合わせによる研磨

①芝刈り作業後リールカッターの全幅にわたり、新聞紙がよく切れる
部分と切れない部分を調べます。(図50)

②ラッピングマシン (RM20A 型) と高さを合わせます。



(図50)



(図51)

③ラッピングマシンの取扱説明書に従いラッピングします。

(イ) リールカッターに四角ボルトをねじ込み、ラッピングマシン
に四角穴ソケット付けて接続します。(図51)

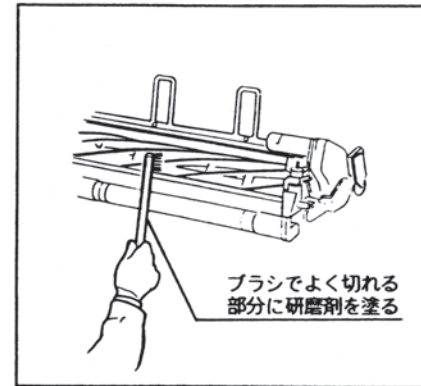
(ロ) リールカッターを芝刈り時と逆回転させ、ブラシで研磨剤
を新聞紙がよく切れた部分に塗ります。(図52)

(ハ) しばらく回しておき、接触音がしなくなったらラッピング
マシンのスイッチを切り止めます。

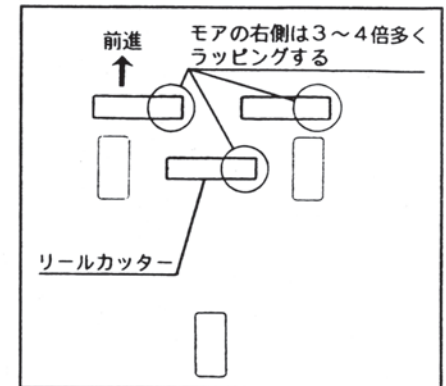
(ニ) リールカッターの全幅にわたり、新聞紙がよく切れる部分
と切れない部分を調べます。

(ホ) 「ロ・ハ・ニ」を繰り返して行い、リールカッターとベツト
ナイフが全面むらなくかみ合う(接触する)ようになってから、
最後にリールカッター全面に研磨剤を塗りラッピングし
ます。

(ヘ) ラッピング後はスチームで、研磨剤をきれいに洗い落として
下さい。



(図52)



(図53)

〔注意〕

▲注意 ◆リールカッターとベツトナイフは共に刃物です。取り扱いには充分注
意して下さい。

▲注意 ◆新聞紙を試し切りする時は、リールカッターを回す指先に充分注意し
て下さい。

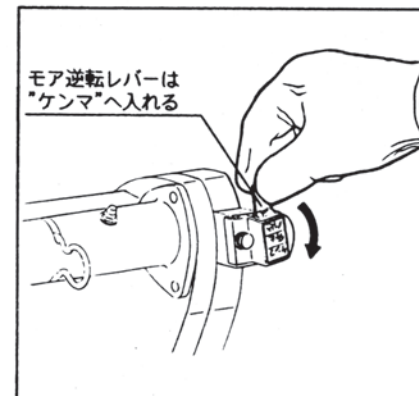
◆切れ味の悪いところへは、絶対に研磨剤を塗らないで下さい。

◆リールカッターの左側は右側より3~4倍早く摩耗します。

右側を3~4倍多くラッピング研磨して下さい。(図53)

◆現地でフレキシブルワイヤを利用してラッピングする時は、ラッピ
ングギヤケースのケンマレバーは”ケンマ”へ、モア逆転レバーも”ケ
ンマ”へ必ず入れて下さい。(図54・55)

◆研磨剤はパウダー(#200~400)とオイルを1:3~4の割合
で混合して下さい。



(図54)



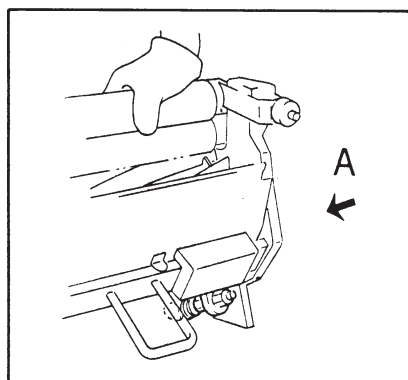
(図55)

b. かみ合わせ

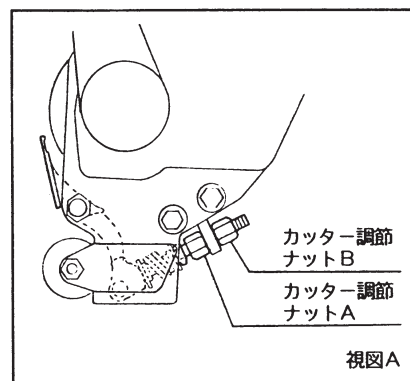
①リールカッターとベッドナイフを、左右平均的に軽くかみ合わせます。(図56)

(イ) ベッドナイフの調整は左右等しく(図57)

- ・カッター調節ナットBを左に回しAを左に回すとかみ合いは重くなります。
- ・カッター調節ナットBを右に回しAを右に回すとかみ合いは軽くなります。



(図56)



(図57)

(ロ) 刃合わせを行います。(d. 刃合わせ参照)

c. リールカッターの再研磨をします。(お買い求めの販売店にお申しつけ下さい。)

リールカッターが摩耗して円すい形になった時、円筒研磨し円筒形に戻します。

①リールカッター取り外し(図58)

(イ) モアユニットからリールカッターを取り外します。

(パーツカタログ参照)

(ロ) 販売店へリールカッターを持ち込み、円筒研磨してもらいます。

(ハ) リールカッター左右の回転部のベアリング、リール軸シールの交換をすると良いです。(パーツカタログ参照)

②リールカッター取り付け

(イ) ベアリング、リール軸シールに充分グリス(エクセライトEP2号)を入れて下さい。

(ロ) モアユニットにリールカッターを取り付けて下さい。

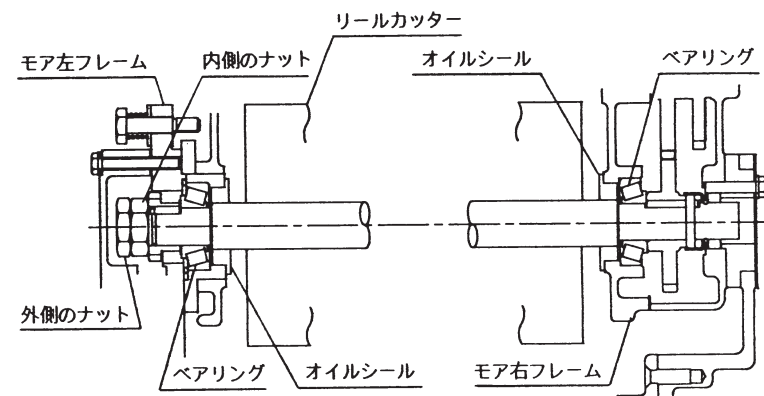
(ハ) 内側のナットを一杯まで締め込み、ベアリングのガタつきがないようにして下さい。

(ニ) リールカッターが手で軽く回り、なおかつガタつきがない位置まで内側のナットを戻して下さい。7N・m(70kgf・cm)

(ホ) 外側のナットでロックして下さい。

〔注意〕

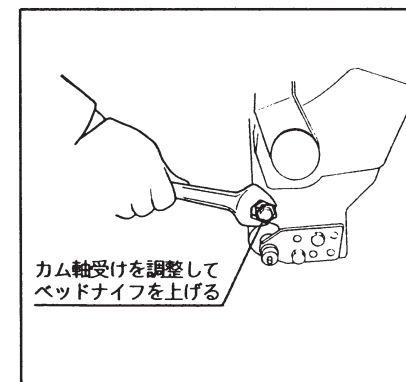
◆モア部のベアリング、シールは1シーズンごとに交換して下さい。



(図58)

d. 刃合わせ

左右のカム軸受けを回転させ、ベッドナイフを最大0.3mm上下できます。(図59・60・61)



(図59)

①リールカッターとベッドナイフの左側部分にすき間が出来てしまう場合。

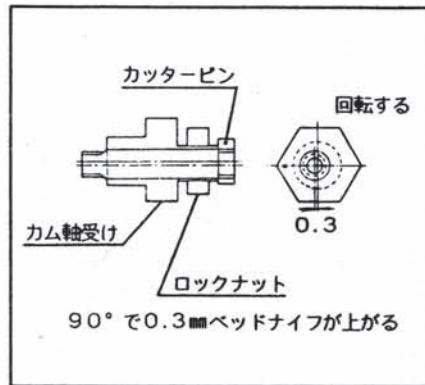
(イ) ロックナットをゆるめ、左のカム軸受けをすき間の寸法だけ右へ回します。0.1mm上げるには、30° 右へ回します。

(ロ) 調整できたら、ロックナットをしっかりと締めて下さい。

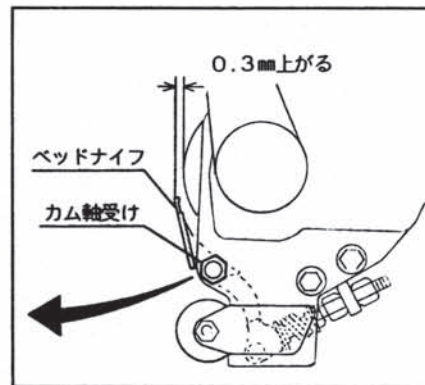
②リールカッターとベッドナイフの右側部分にすき間が出来てしまう場合。

(イ) ロックナットをゆるめ、右のカム軸受けをすき間の寸法だけ左へ回します。

(ロ) 調整できたら、ロックナットをしっかりと締めて下さい。



(図60)



(図61)

【全体】

2-8. 長期保存について

- エンジンについては、エンジンの取扱説明書をご覧ください。
- 本機をきれいに清掃し、オイルの点検・交換をして下さい。
- 各摺動部にグリス及びオイルをさして下さい。



2-9. 故障と対策

- 動かなくなった場合のけん引方法
オペレーション (1-6 動かなくなった場合のけん引方法)
P9 参照

①1064号機以降

修理後はスプールを押しながら操作ピンを元の位置まで回転させます。

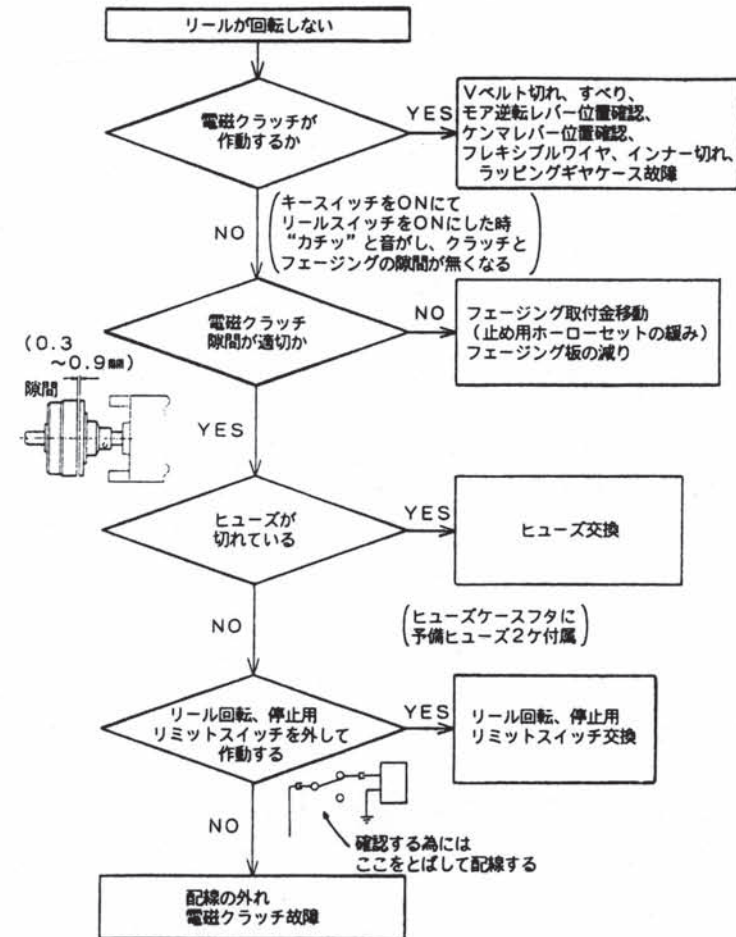
②1063号機以前

修理後はボルトをゆるめスプールを戻します。

b. モアユニット関係の動作不良

①リールカッターが回転しない。(表2)

(モアユニットが降りリールスイッチON)

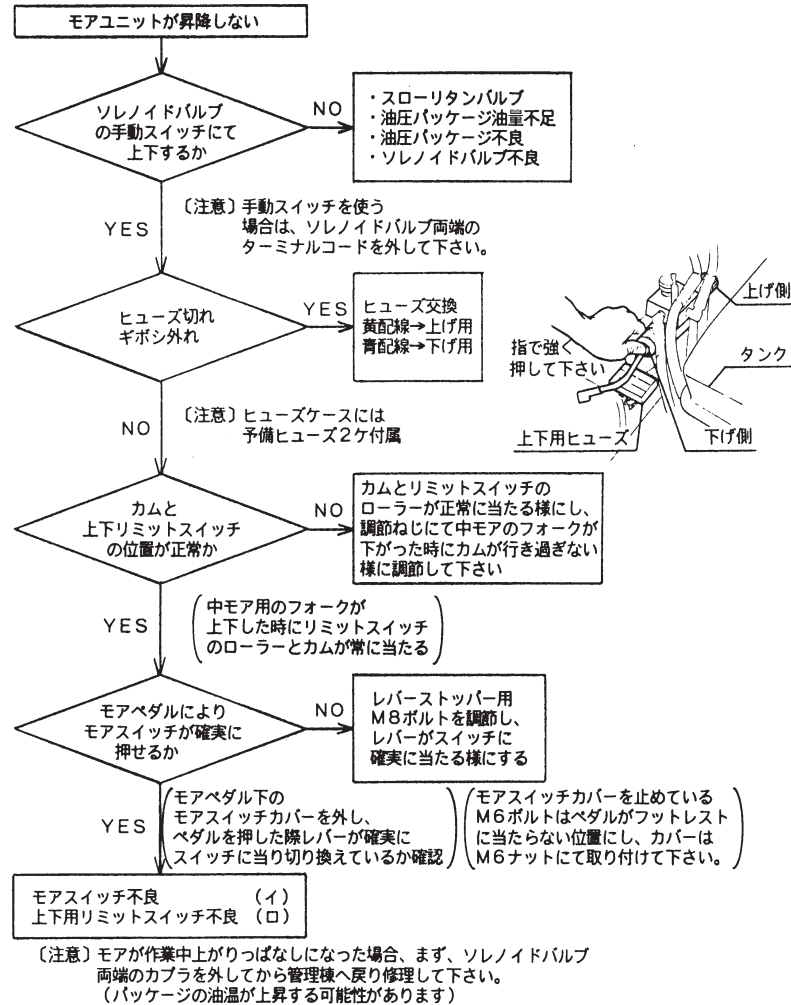


〔注意〕リールスイッチ用パイロットランプが万一切れても、
電磁クラッチの動作には何ら影響ありませんが
安全確認の為、なるべく早くランプを交換して下さい。

(表2)

②モアユニットが昇降しない。(表3)

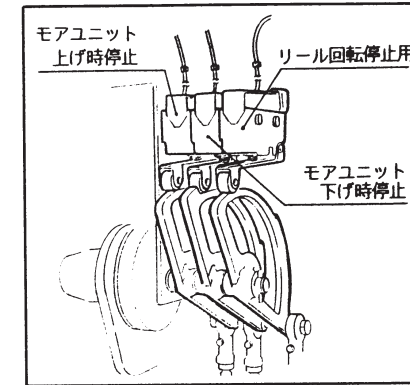
②モアユニットが昇降しない



(表3)

(イ) モアスイッチの確認方法 (テスターによる)

- I エンジンを停止します。
- II モアスイッチカバーから出ている、モア昇降スイッチのギボシを外します。
- III ギボシとシャーシ間の導通をテスターにて調べます。
- IV モアペダルを押して、交互に導通すればOKです。



(図62)

(ロ) 上下用リミットスイッチの確認方法 (テスターによる)(図62)

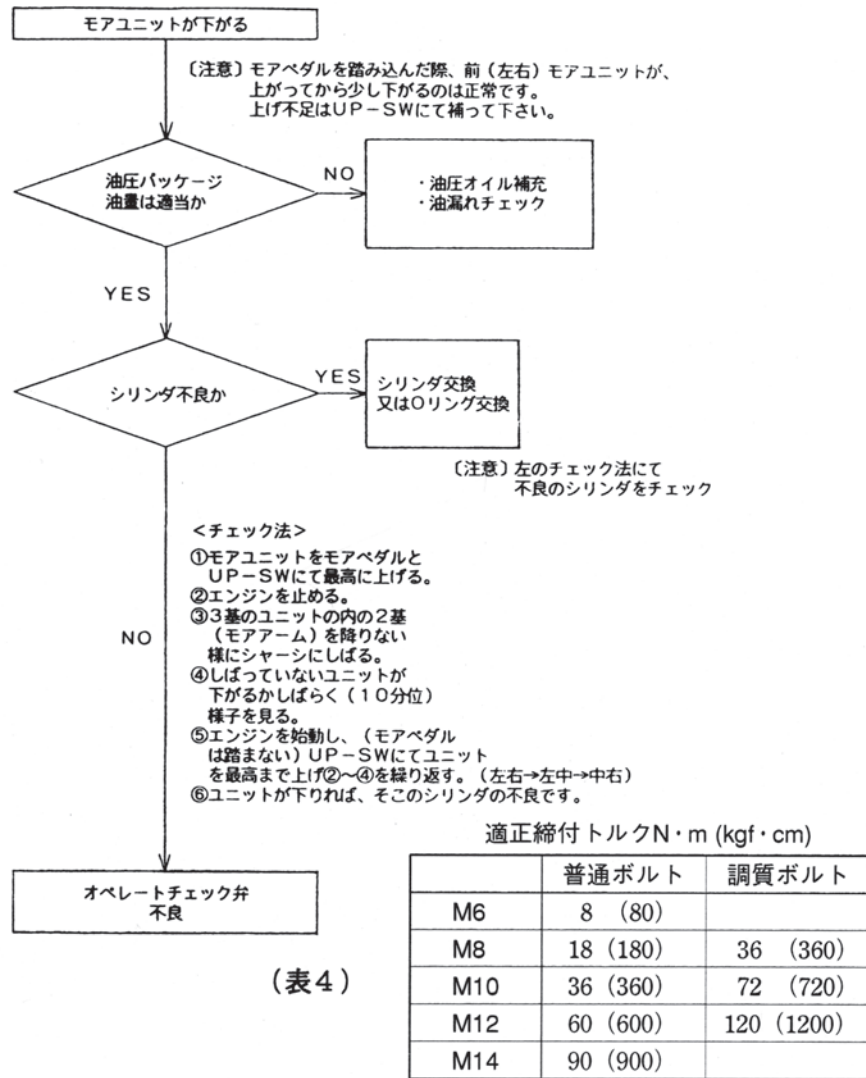
- I エンジンを停止します。
- II リミットスイッチのギボシを外します。
(ソレノイドバルブ下)
- III 次のようにリミットスイッチのローラーを手で押して、作動するかテスターにて調べます。
押して→開 (導通しなくなる)
通常 (押さない) →閉 (導通する)
- IV (III) のように作動すればOKです。

③モアユニットが下がる。(表4)

(上がっても降りてしまう)

④CAUTIONランプが点灯したら

- (イ) 上下用リミットスイッチの故障が考えられるので②(ロ)に従ってリミットスイッチを点検して下さい。
- (ロ) 故障したリミットスイッチは交換して下さい。
リミットスイッチの取り付け方には充分注意して下さい。
- (ハ) 油圧パッケージ内のオイルは劣化していますので交換して下さい。



(表4)

(表5)

2-10. 点検整備基準

- エンジンについては、エンジンの取扱説明書をご覧ください。
- 走行部とモアユニット部関係(表6)
- 油圧オイルについてはオイルが乳化及び透明度が少しでも悪くなった時は、即時交換して下さい。
- ボルト、ナット等のゆるみがないか点検して下さい。(表5)

メンテナンススケジュール

(表6)

メンテナンス作業		使用前	10時間毎	25時間毎	50時間毎	100時間毎	250時間毎	500時間毎	毎年	備考
エンジン	オイルレベルの点検	○								
	オイル交換				○					最初は8時間
	オイルフィルタ交換					○				
	エアクリーナ・エレメント清掃			○						最高1年で交換
	エアクリーナ・カートリッジ清掃				○					
	燃料フィルタ交換								○	
	スパークプラグ交換					○				
本体	バルブクリアランス点検								○	
	油圧オイル交換							○		
	カートリッジフィルタ交換						○			
	ハンドルワイヤの張り	○				◎				◎グリス塗布
	サイドブレーキワイヤ調整			○						
	油圧ホース									4年毎交換
	各部のグリスアップ				○					
	タイヤの点検	○								0.8kgf/cm ²
	各部の油漏れ	○								
	リミットスイッチ交換							○		
モア	フレキシブルワイヤのグリスアップ	○	○							図35参照
	グリスアップ		○	○						図43参照
	リールの刃合せ	○								
	ベアリング・オイルシール交換								○	ローラーは除く
刈草・ゴミ等の除去		○								

3. オ プ シ ョ ン

目 次

- 3-1. パーチカルサッチングリール・・・P 24
- 3-2. 回転ブラシ・・・P 24
- 3-3. 目土すり込みブラシ・・・P 24
- 3-4. フロントグルーマ・・・P 24
 - a. Gグルーマリール・・・P 24
 - b. Tグルーマリール・・・P 24
- 3-5. ワンタッチ刈高調整機能付きモアユニット P 24
- 3-6. ハイブリットローラー・・・P 25

3-1. パーチカル

サッチングリール

らせん状のサッチングリールにより芝生の目抜きをし、サッチを取り除きます。作業深さは2mmまでとし、作業速さはグリーンカット時より低速（3 km/h）にて行って下さい。（図63）

作業幅144cm・サッチ刃径13.8cm・サッチ刃数105枚

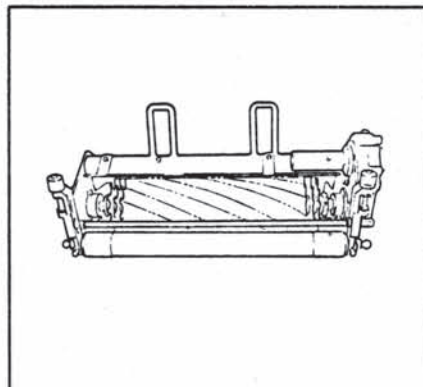
3-2. 回転ブラシ

らせん状ブラシによりサッチ・落葉などを拾い上げ芝生の目を揃えます。作業幅145.3cm・ブラシ径13.5cm（図64）

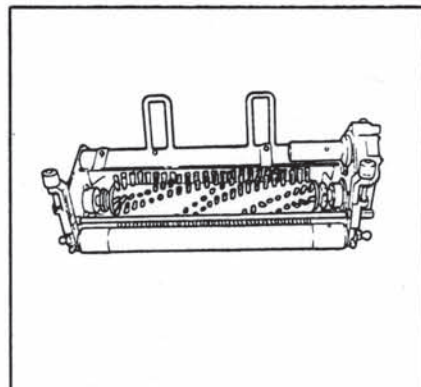
3-3. 目土すり込みブラシ

2本連結ブラシにより、目土をすりこみます。

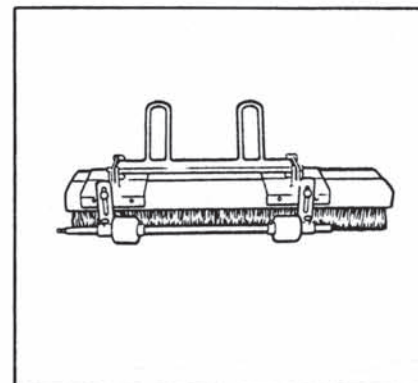
作業幅164cm（左右のブラシ80cm・中ブラシ65cm）（図65）



（図63）



（図64）



（図65）



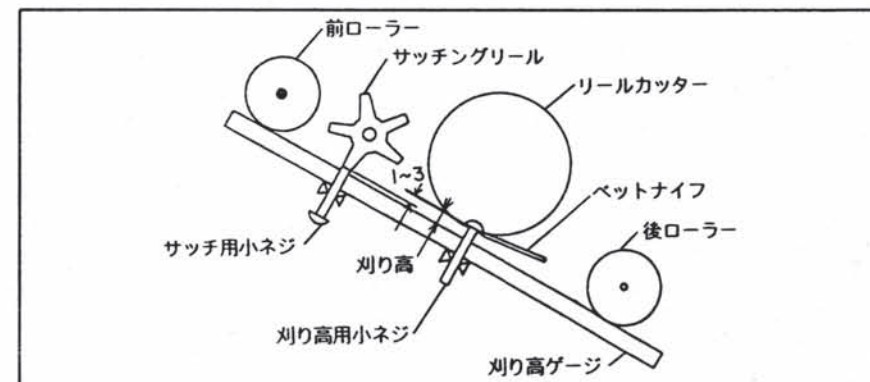
（図66）

3-4. フロントグルーマ

サッチングリールを溝付きローラーに接近させる事により、ローラーへの芝の付着を防ぎ、かつ正回転する事により従来のサッチング機能が大幅にアップしました。作業深さは地上1mmまでですから、サッチングリールは刈り高さより下に1～3mmに合わせて下さい。（図67）

a. Gグルーマリール・・・サッチング刃 77枚

b. Tグルーマリール・・・サッチング刃 38枚



（図67）

3-5. ワンタッチ刈高調整機能付きモアユニット

刈り高調整レバーにより手軽なワンタッチで、刈り高を3段階（5.10.15mm）に変更できます。このモアユニットにはフロントグルーマは取り付けられません。（図66）

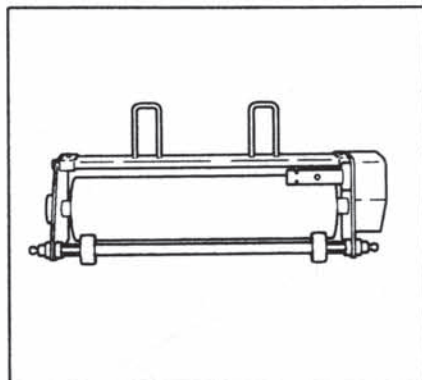
3-6. ハイブリットローラー

振動ローラーの転圧によりパッティングクオリティを向上させます。

1～2フィート長くボールが転がります。

重量はカッティングユニットより軽量（約30kg）です。

目砂の後や刈らない時期に使用します。（図68）



（図68）

4. 仕

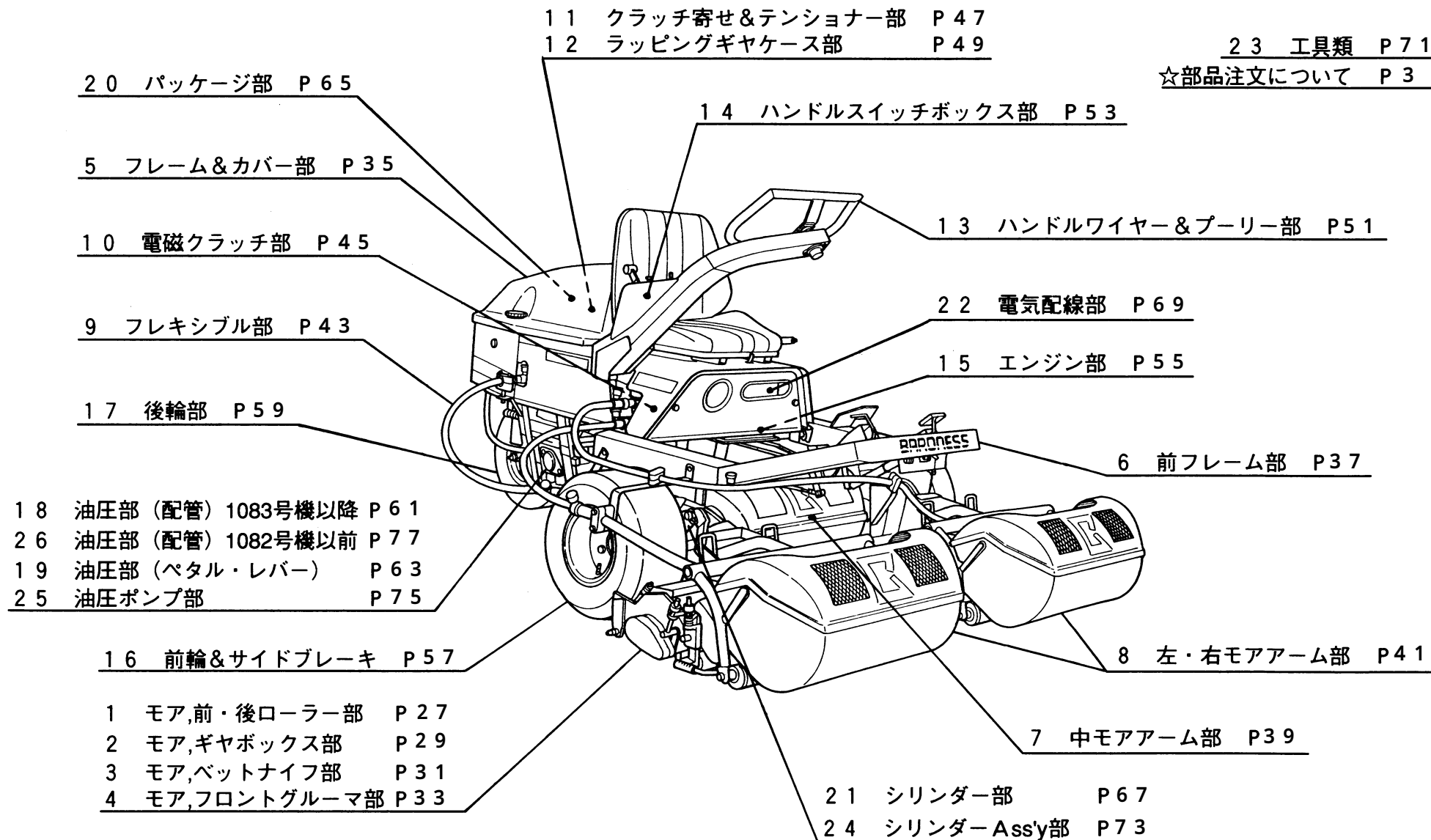
様

（表7）

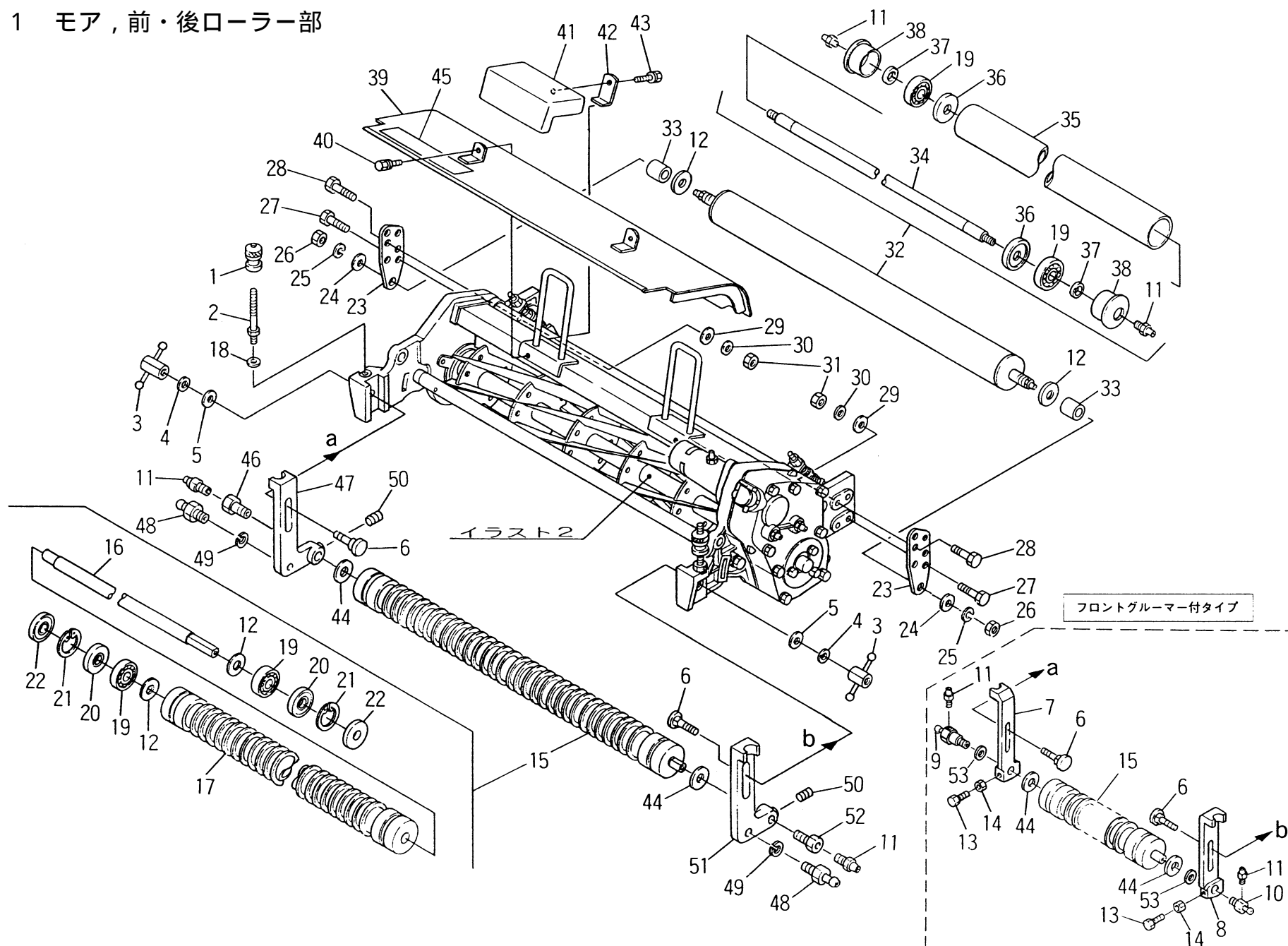
型 式		LM315GA
機 体 寸 法	全 長	229 cm
	全幅(フレキシブル)	172 cm
	全高(ハンドル)	123 cm
車 輪		AGP 18×9.50-8 SMOOTH
質 量	全 質 量	520 kg
	作 業 時	368 kg
	モア質量	34.6 kg (1ユニット)
エ ン ジ ン	型 式	バンガード303447
	種 類	90V型2気筒OHV
	総行程容積	0.48 L (480 cm³)
	最大出力	11.8 kw/3,600 rpm (16 PS/3,600 rpm)
速 さ	前 進 作 業 時	0～6.0 km/h
	移 動 時	0～13.7 km/h
	後 進	0～3.0 km/h
燃 料 タ ン ク 容 量		10 dm³ (L)
油 圧	走 行	ピストンポンプ
		PSV-10C
		ホイルモータ
刈 取 部	モア昇降装置	クッション付油圧シリンダー(パッケージ・電磁バルブ)
	回 転 速 度	1,476 rpm (2,800 rpm時)
	駆 動	フレキシブルワイヤ
	ク ラ ッ チ	電磁クラッチ(主クラッチ)・モア逆転クラッチ(ラッピング用)
	ユ ニ ッ ト	3連式
	刈 幅	152 cm
	リール外径	φ12.8
	リール幅	55.6 cm
オプションパーツ	刃 数	9枚
	バーチカルサッチングリール、回転ブラシ、目土すり込みブラシ フロントグルーマ2種 (Gグルーマリール及びTグルーマリール) ワンタッチ刈高調整機能付モアユニット、ハイブリットローラー	

5. パーツカタログ

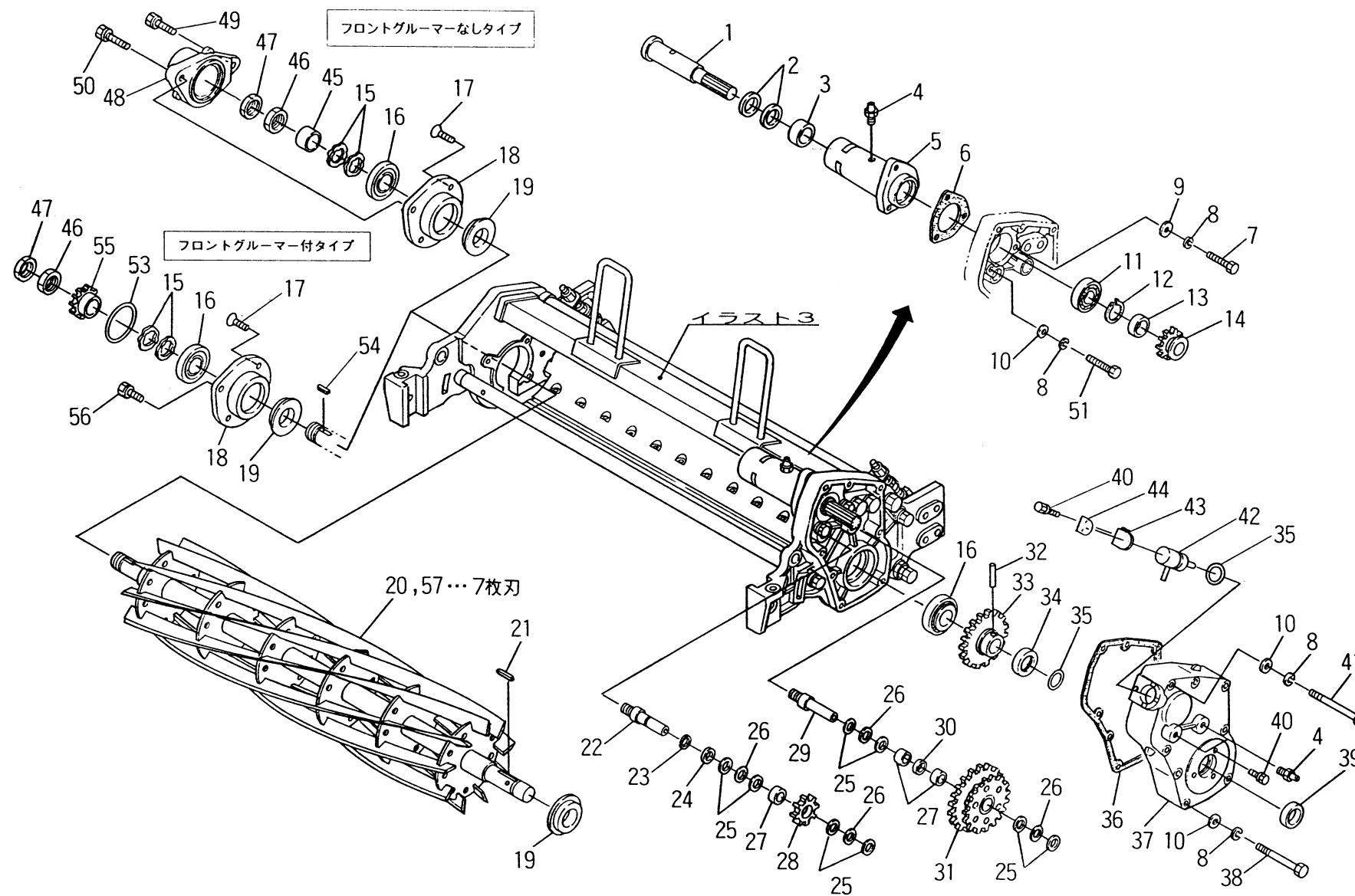
イラストインデックス



1 モア, 前・後ローラー部



2 モア , ギャボックス部

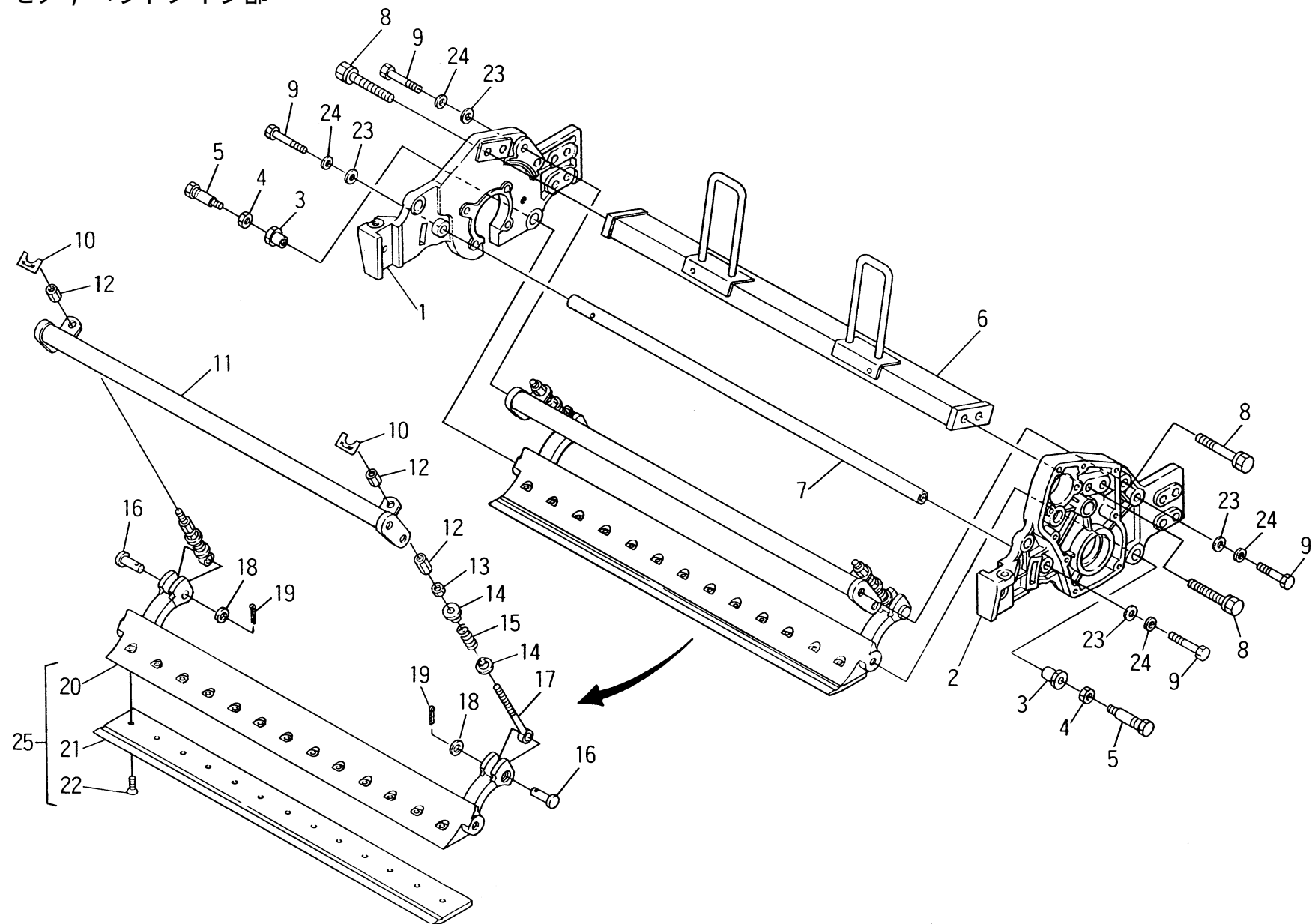


加付 番号	コード番号	部 品 名 称	1台 個数	共用 部品	小売価格
2-1	LM150GA1313DO	モア軸	3		
2-2	K0871212940	ニードル用シールDS21294	6		
2-3	K0736000010	ニードルTAF212920OG	3		
2-4	K14400000012	グリスニップル	9		
2-5	LM315GA1804ZR	一軸ハウジング	3		
2-6	LM315GA1806ZO	一軸ハウジングパッキン	3		
2-7	K0003060352	6ボルト35	3		
2-8	K0200060002	6Sワッシャー	30		
2-9	K5011606202	1.6SPCC座金620	3		
2-10	K5000060002	6ワッシャー	27		
2-11	K0612062030	ベアリング62032RD	3		
2-12	K0401016001	ストップリングS16	3		
2-13	LM150GA1317ZO	モア軸カラー	3		
2-14	LM315GA1812ZO	一軸18丁ギヤ	3		
2-15	K0220200001	20波座金	6		
2-16	K0631302040	テーパローラー30204JRP6	6		
2-17	K0041080202	8+さら小ねじ20	9		
2-18	LM55GC-0108Z3	右リールハウジング	3		
2-19	K0820000020	オイルシール254210	6		
2-20	K28315009AR	リールカッター557-9	3		
2-21	K0500404280	4両丸キー428	3		
2-22	LM315GA1817ZO	逆転軸	3		
2-23	K0401013001	ストップリングS13	3		
2-24	LM315GA1818ZO	逆転ギヤカラー	3		
2-25	K5051013220	1C5191P座金1322	24		
2-26	K5020813220	0.8NBS55座金1322	12		
2-27	K0701317100	ニードルKT131710	9		
2-28	LM315GA1815ZO	逆転16丁ギア	3		
2-29	LM315GA1816ZO	中間軸	3		
2-30	LM150GA1327ZO	中間軸ギヤカラー	3		

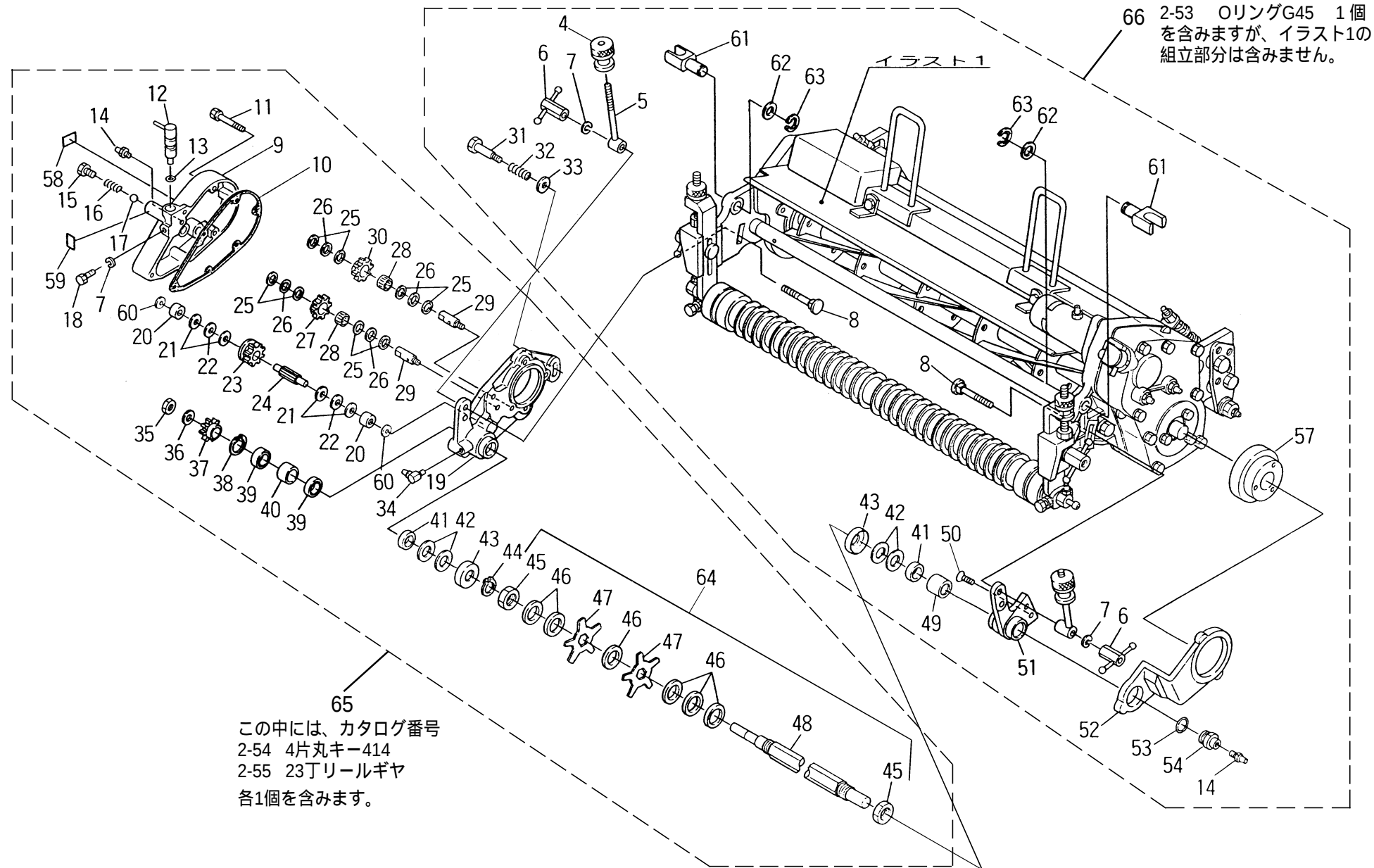
加付 番号	コード番号	部 品 名 称	1台 個数	共用 部品	小売価格
2-31	LM315GA1813ZO	中間37丁42丁ギヤ	3		
2-32	K6051045280	4.5焼入ピン28	3		
2-33	LM315GA1814ZO	リール36丁ギヤ	3		
2-34	K53000000282	ピン止メカバー	3		
2-35	K0880018000	OリングP18	6		
2-36	LM315GA1805ZO	ギヤカバーパッキン	3		
2-37	LM315GA1803ZR	ギヤカバー	3		
2-38	K0003060652	6ボルト65	21		
2-39	K0822030070	オイルシールMHSA20307	3		
2-40	K0007060152	6ボルト15SW	21		
2-41	K0003060802	6ボルト80	3		
2-42	LM315GA1834Z3	リール逆転レバー	3		
2-43	LM315G-1382Z3	クラッチレバー押工金	3		
2-44	K4203000480	刈込ケンママーク	3		
2-45	K6212000250	20.2STKMカラー25.417	3		
2-46	K0160000132	20小型ナット10P1.5	3		
2-47	K0160000082	20小型ナット8P1.5	3		
2-48	LM315GA1830Z3	リール軸カバー	3		
2-49	K0007080302	8ボルト30SW	3		
2-50	K0007080352	8ボルト35SW	3		
2-51	K0003060402	6ボルト40	3		
2-52	K2930000000	エクセライトEP1号グリース	600g		
2-53	K0882045000	OリングG45	3		
2-54	K0520404140	4片丸キー414	3		
2-55	LM55GCS1206ZO	23丁リールギヤ	3		
2-56	K0006080202	8ボルト20S	3		
2-57	K28315007AR	リールカッター557-7	3		

LM315GA

3 モア, ベッドナイフ部



4 モア , フロントグルーマ部

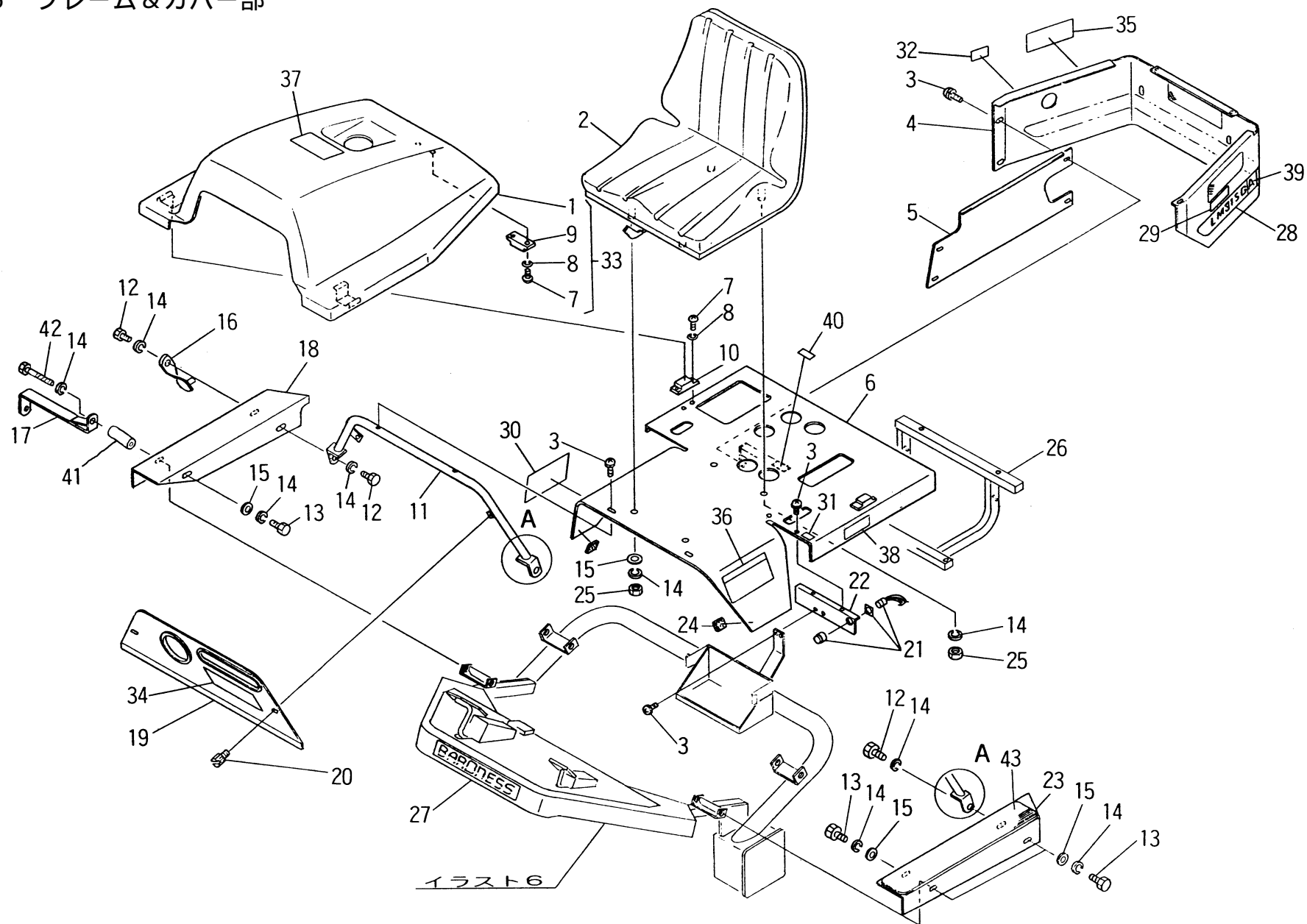


放り 番号	コード番号	部 品 名 称	1台 個数	共用 部品	小売価格
4-4	K 6 0 8 4 0 0 0 0 6 2	ローラー調節金	6		
4-5	L M 5 5 G B S 1 2 2 0 B 3	バーチカル調整ボルト	6		
4-6	K 1 3 3 0 0 0 0 0 3 0	ハンドル付ねじP1.25	6		
4-7	K 0 2 0 0 0 8 0 0 0 2	8Sワッシャー	15		
4-8	K 0 0 2 5 0 8 0 5 5 2	8角根丸頭ボルト55	6		
4-9	L M 5 5 G C S 1 2 2 6 Z R	ギヤケースカバー	3		
4-10	L M 5 5 T B S 1 2 2 4 Z O	パッキン	3		
4-11	K 0 0 0 7 0 6 0 4 0 2	6ボルト40SW	18		
4-12	L M 3 1 5 G A 1 9 0 6 Z 3	クラッチレバー	3		
4-13	K 0 8 8 0 0 1 1 0 0 0	OリングP11	3		
4-14	K 1 4 4 0 0 0 0 0 1 2	グリスニップル	12		
4-15	K 0 0 0 7 0 8 0 1 5 2	8ボルト15SW	3		
4-16	K 1 0 0 0 0 0 0 0 9 0	1圧縮バネ618	3		
4-17	K 1 5 0 0 6 3 5 0 0 0	6.35スチールボール	3		
4-18	K 0 0 7 1 0 0 0 9 5 3	ストップボルト	3		
4-19	L M 5 5 G C S 1 2 2 5 B R	バーチカルギヤケース	3		
4-20	K 0 7 2 0 8 1 0 0 0 0	ニードルTA810Z	6		
4-21	K 5 0 5 1 0 0 8 1 8 0	1C5191P座金818	12		
4-22	K 5 0 2 0 8 0 8 1 8 0	0.8NBS55座金818	6		
4-23	K 6 1 8 0 0 0 0 1 2 0	クラッチ18丁ギヤ	3		
4-24	K 6 1 0 0 0 0 0 0 8 0	バーチカル2軸	3		
4-25	K 5 0 5 1 0 1 0 1 6 0	1C5191P座金1016	24		
4-26	K 5 0 2 0 8 1 0 1 6 0	0.8NBS55座金1016	12		
4-27	L M 5 5 G C S 1 2 1 4 Z O	18丁ギヤB	3		
4-28	K 0 7 0 1 0 1 3 1 0 0	ニードルKT101310	6		
4-29	K 6 1 2 0 0 0 0 3 1 0	中間軸	6		
4-30	L M 5 5 G C S 1 2 1 3 Z O	18丁ギヤA	3		
4-31	L M 5 5 G B S 1 2 3 0 C 3	右ケース止メボルト	3		
4-32	K 1 0 0 0 0 0 0 3 0 2	1.6圧縮バネ13.720	3		
4-33	K 5 0 9 0 0 0 0 2 5 0	2C5191P座金8.522	3		
4-34	K 1 4 4 0 0 0 0 0 2 2	C形グリスニップル	3		

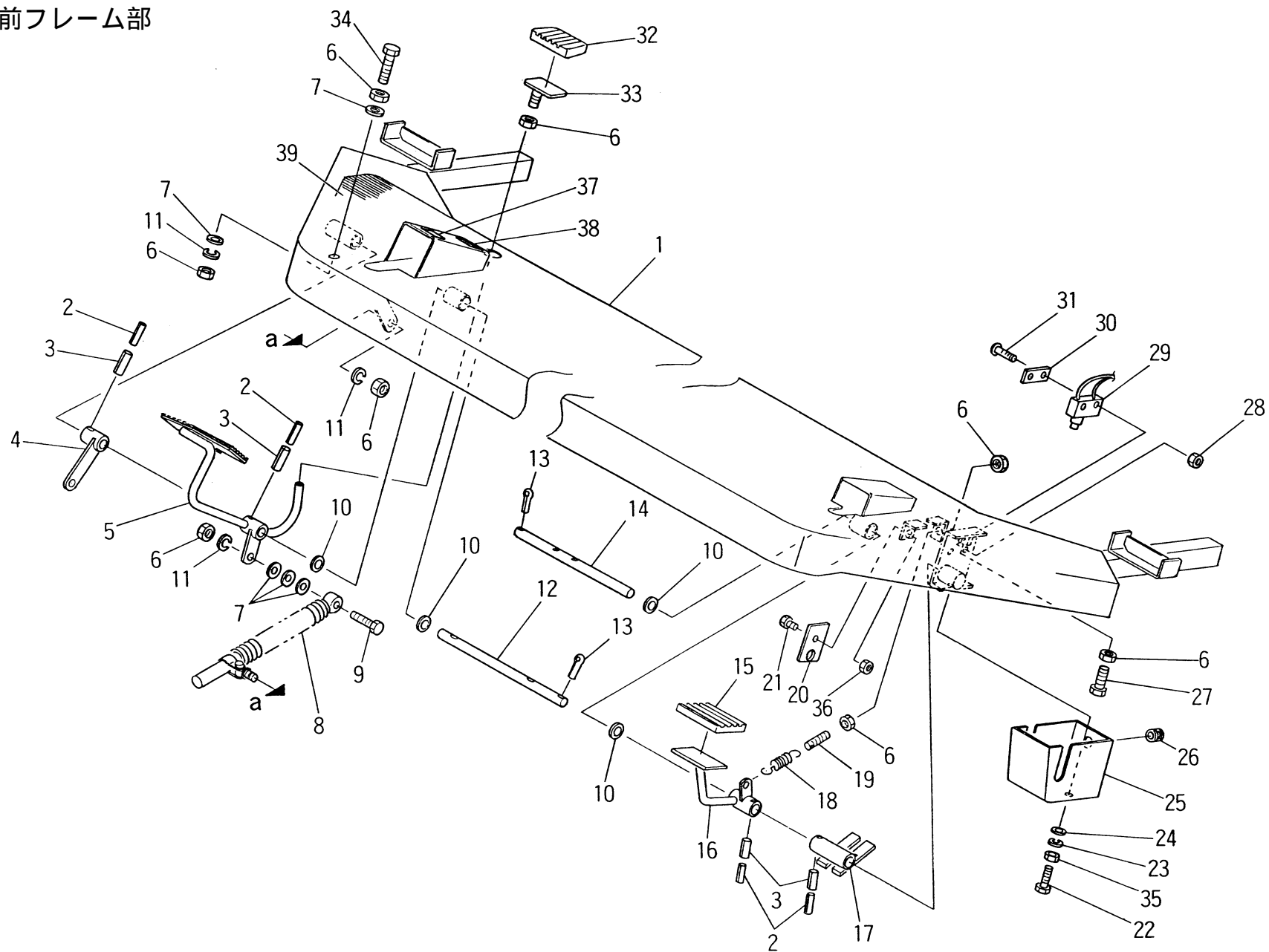
放り 番号	コード番号	部 品 名 称	1台 個数	共用 部品	小売価格
4-35	K 0 1 6 0 0 0 0 3 2 2	10左ネジナットP1	3		
4-36	K 0 2 0 0 1 0 0 0 0 2	10Sワッシャー	3		
4-37	K 6 1 8 0 0 0 0 1 3 0	15丁ギヤ固定用	3		
4-38	K 0 4 0 2 0 2 4 0 0 1	ストップリングR24	3		
4-39	K 0 6 1 1 0 6 9 0 1 0	ベアリング6901RDC3	6		
4-40	K 6 2 1 2 0 0 1 5 9 0	12.1STKMカラー1714	3		
4-41	K 0 8 2 1 5 2 2 0 7 0	オイルシールMHSA15227	6		
4-42	K 5 0 5 1 0 1 5 2 8 0	1C5191P座金1528	12		
4-43	K 5 3 0 0 0 0 0 2 9 2	防塵カバー	6		
4-44	K 0 4 0 1 0 1 5 0 0 1	ストップリングS15	3		
4-45	K 0 1 6 0 0 0 0 3 0 2	17特殊ナットP1	6		
4-46	L M 5 5 G B S 1 2 0 3 B O	カラー			
4-47	K 2 5 7 0 0 0 0 0 1 9	サッチング刃	243		
4-48	L M 5 5 G C S 1 2 0 4 B 8	バーチカル軸	231		
4-49	K O 7 2 1 5 2 0 0 0 0	ニードルTA1520Z	3		
4-50	K 0 0 4 1 0 6 0 2 5 2	6+さら小ねじ25	6		
4-51	L M 3 1 5 G A 1 9 0 5 Z R	バーチカルハウジング	3		
4-52	L M 3 1 5 G A 1 9 0 1 Z R	バーチカル支点メタル	3		
4-53	K 0 8 8 0 0 1 8 0 0 0	OリングP18	3		
4-54	L M 5 5 G B S 1 2 3 1 A O	ねじ	3		
4-57	L M 3 1 5 G A 1 9 0 7 Z O	支点メタル	3		
4-58	K 4 2 0 9 0 0 0 3 7 0	グリースアップ10時間マーク	3		
4-59	K 4 2 0 3 0 0 0 0 8 0	ON OFFマーク	3		
4-60	K 5 0 9 0 0 0 0 6 9 0	1.6SK3座金215	6		
4-61	K 6 0 9 0 0 0 0 5 0 2	調整受ケ金	6		
4-62	K 5 0 1 1 0 1 3 2 2 2	1SPCC座金1322	6		
4-63	K 0 4 0 0 0 1 0 0 0 2	ストップリングE10	6		
4-64	L M 3 1 5 G A 1 9 0 9 Z O	バーチカル軸Ass'y	1		
4-65	L M 3 1 5 G A 1 9 0 4 Z O	315バーチカルギヤケース刃付	1		
4-66	L M 3 1 5 G A 1 9 0 8 Z O	グルーマ取付部品COMP	1		

LM315GA

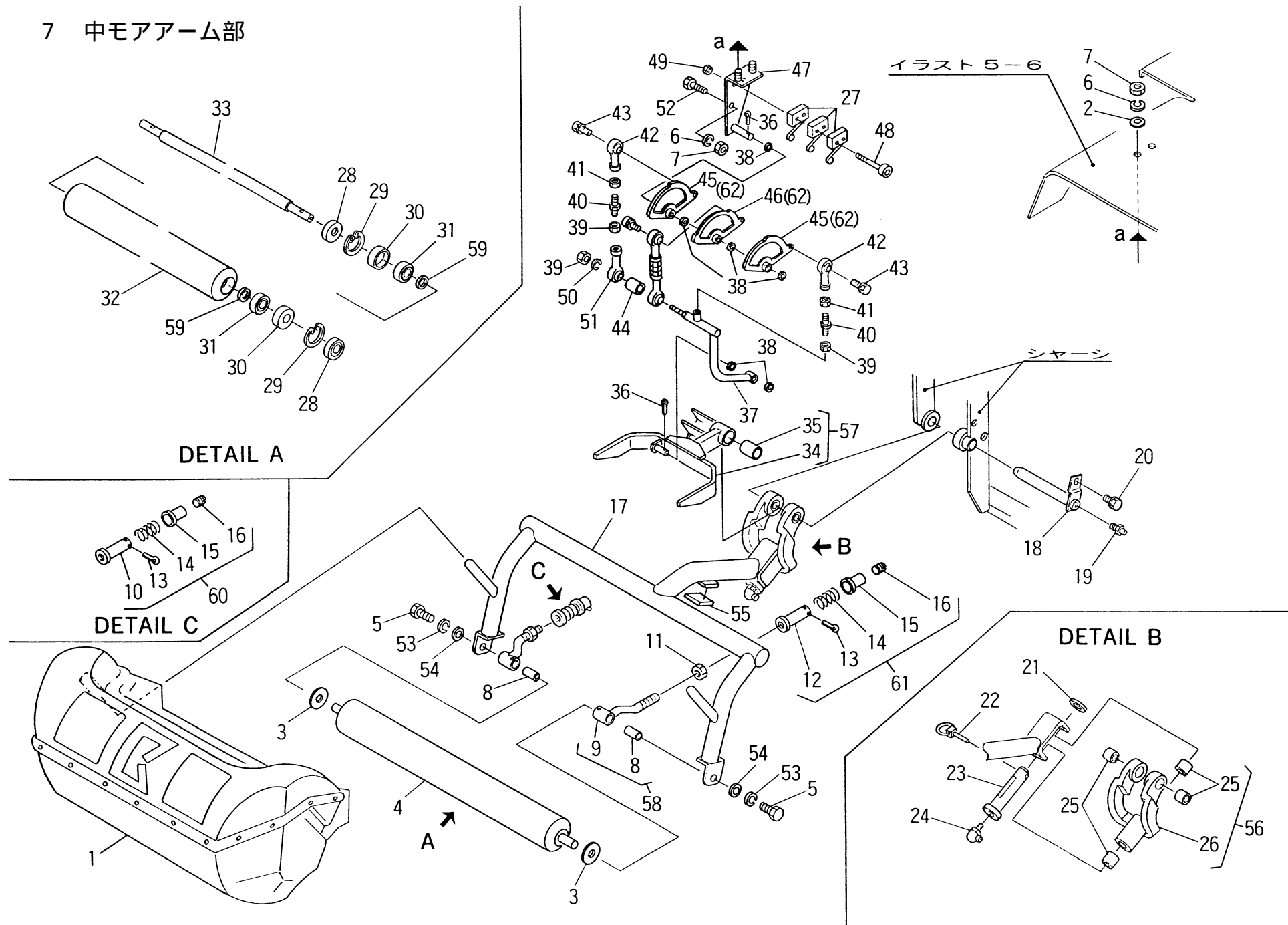
5 フレーム&カバー部



6 前フレーム部

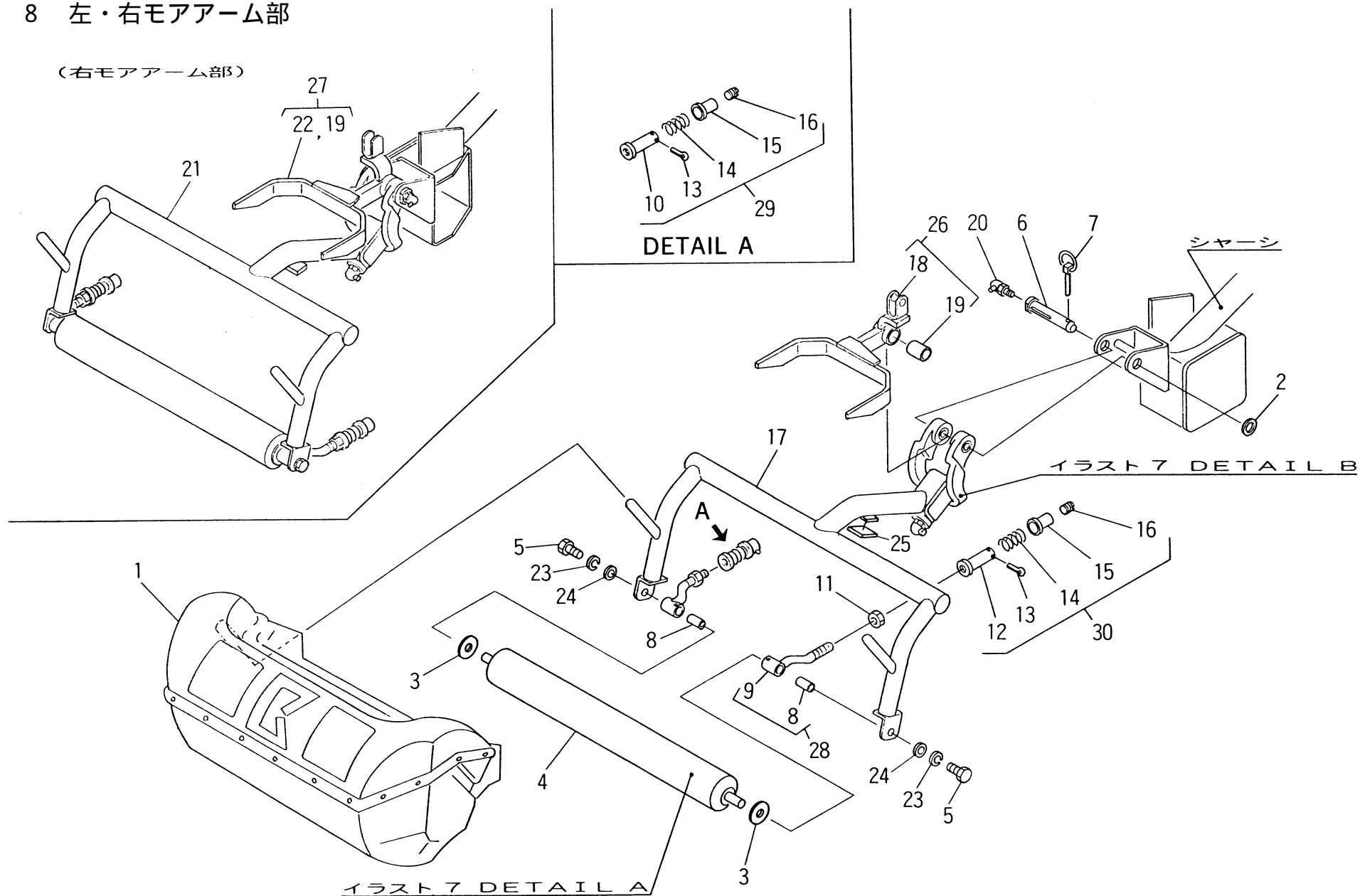


7 中モアーム部

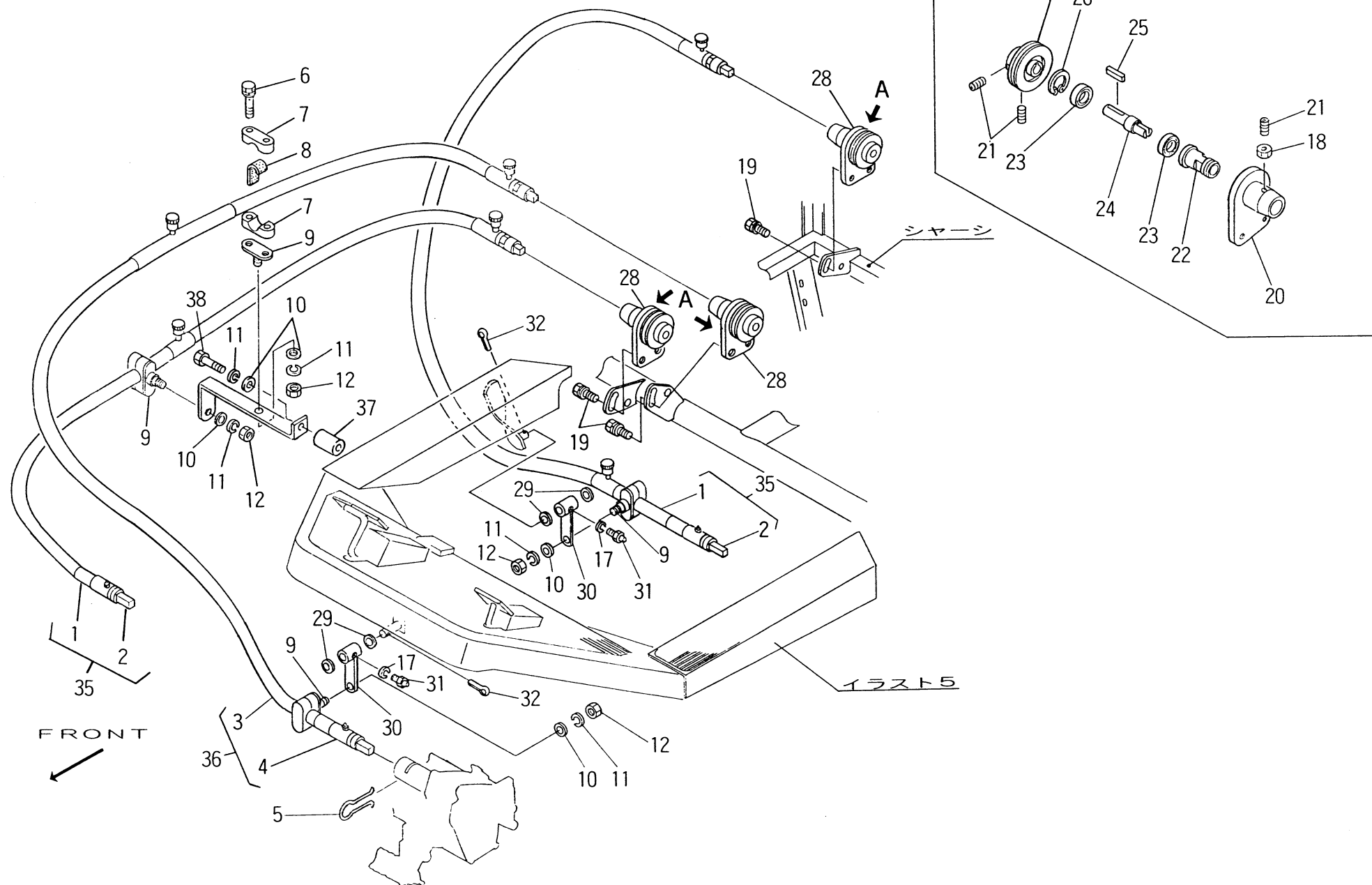


8 左・右モアアーム部

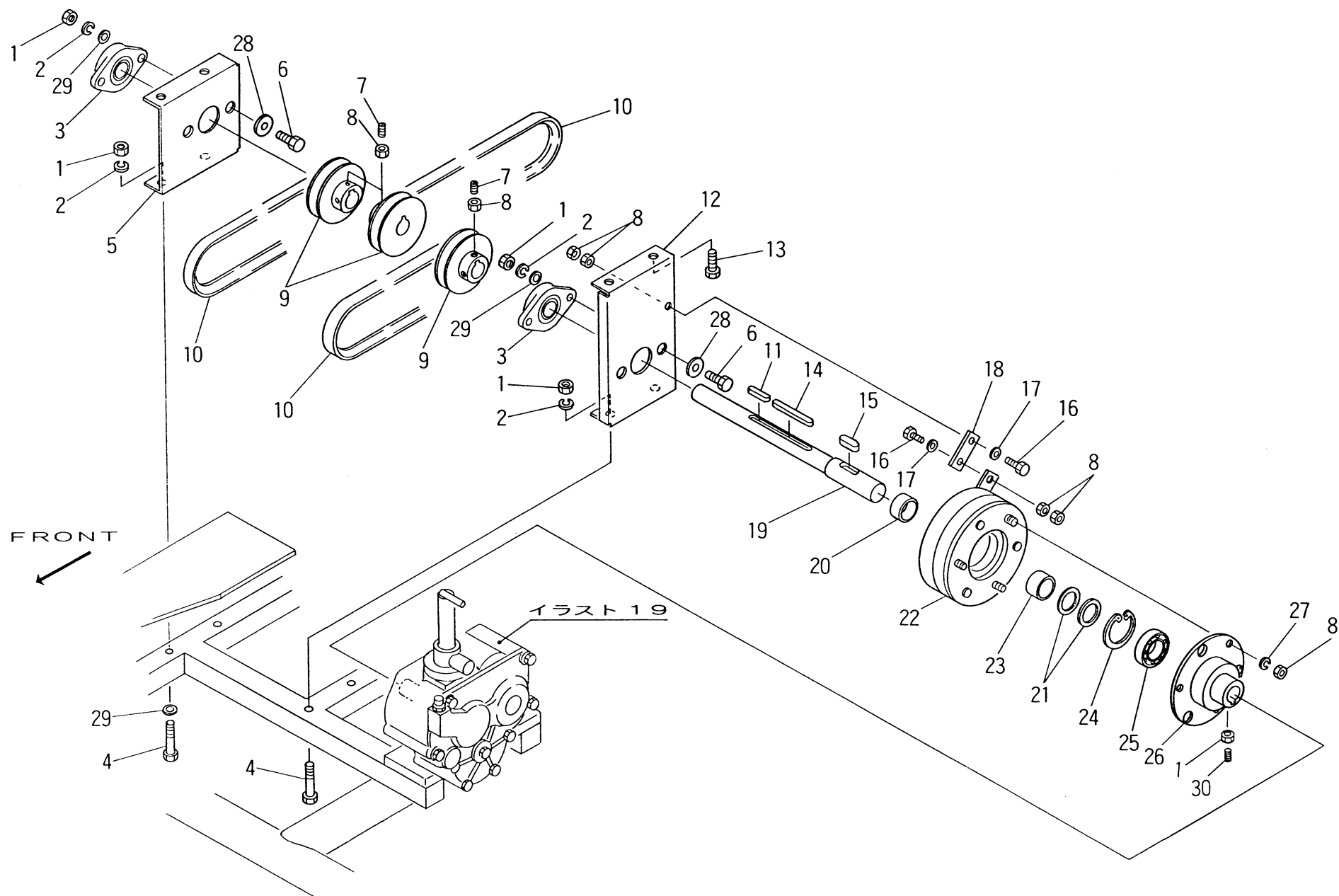
(右モアアーム部)



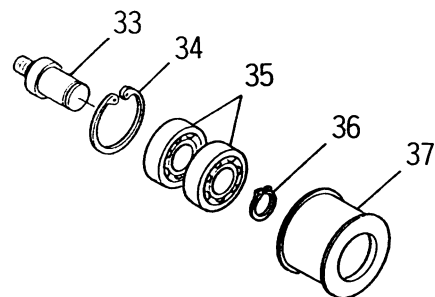
9 フレキシブル部



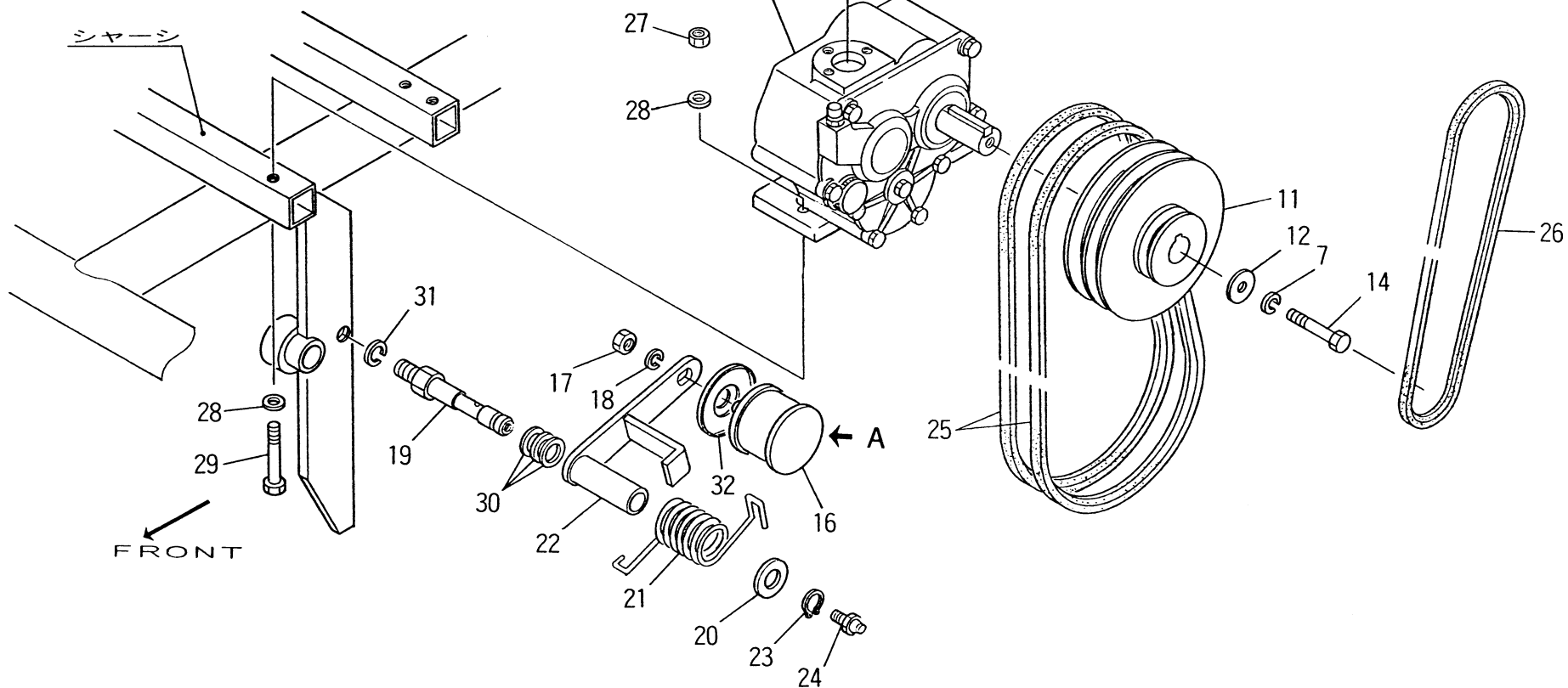
10 電磁クラッチ部



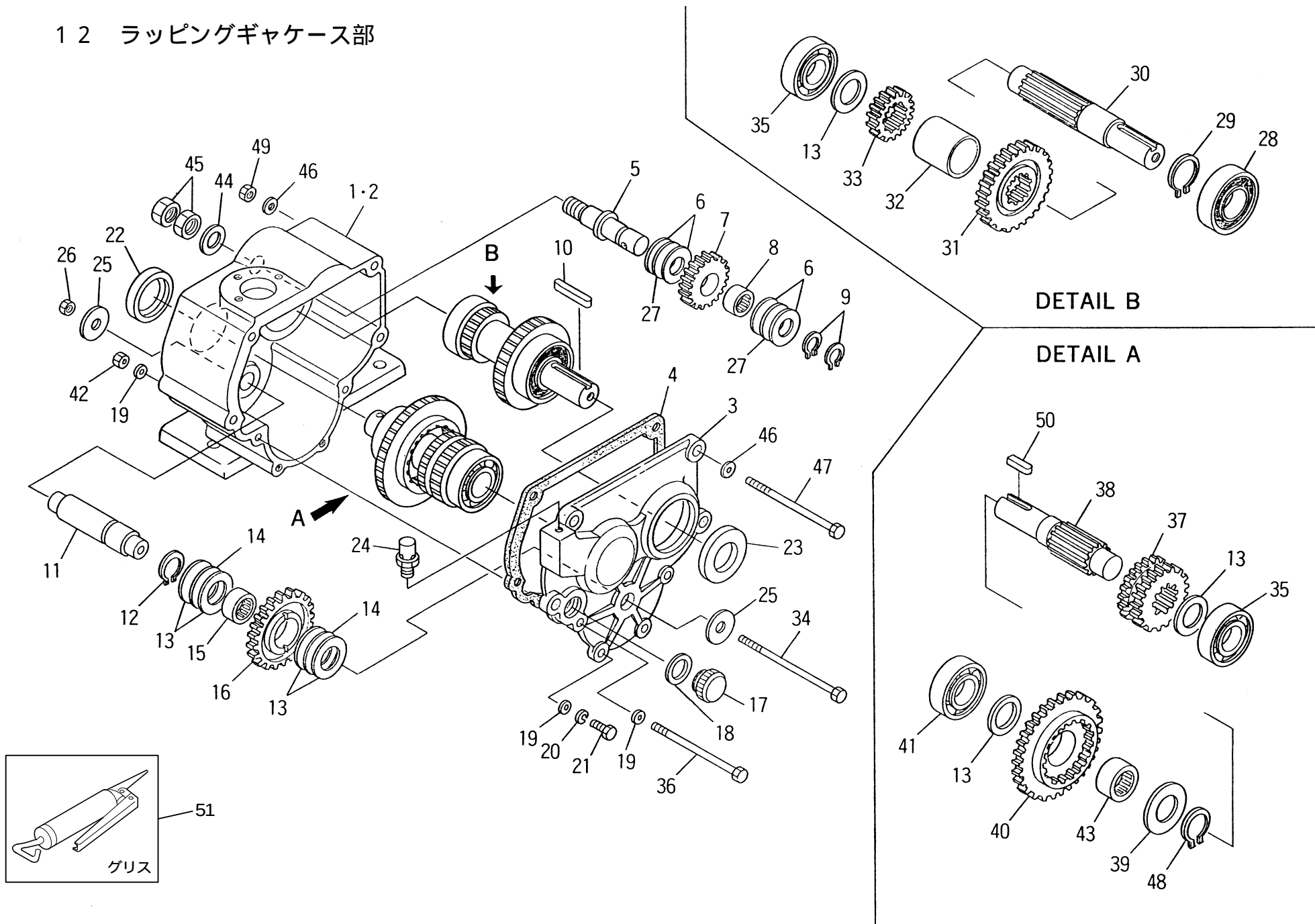
1 1 クラッチ寄せ&テンショナー部



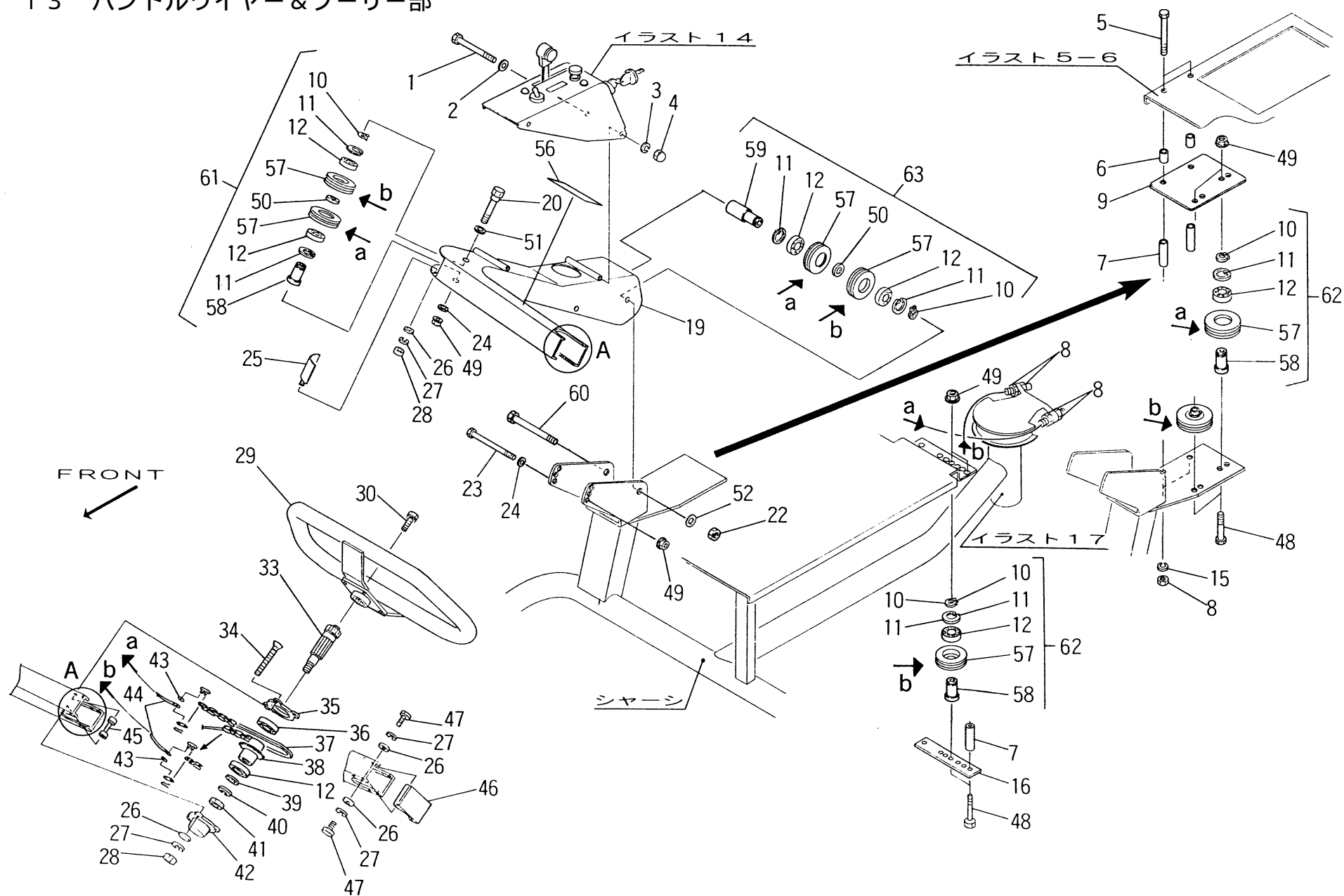
DETAIL A



1 2 ラッピングギヤケース部



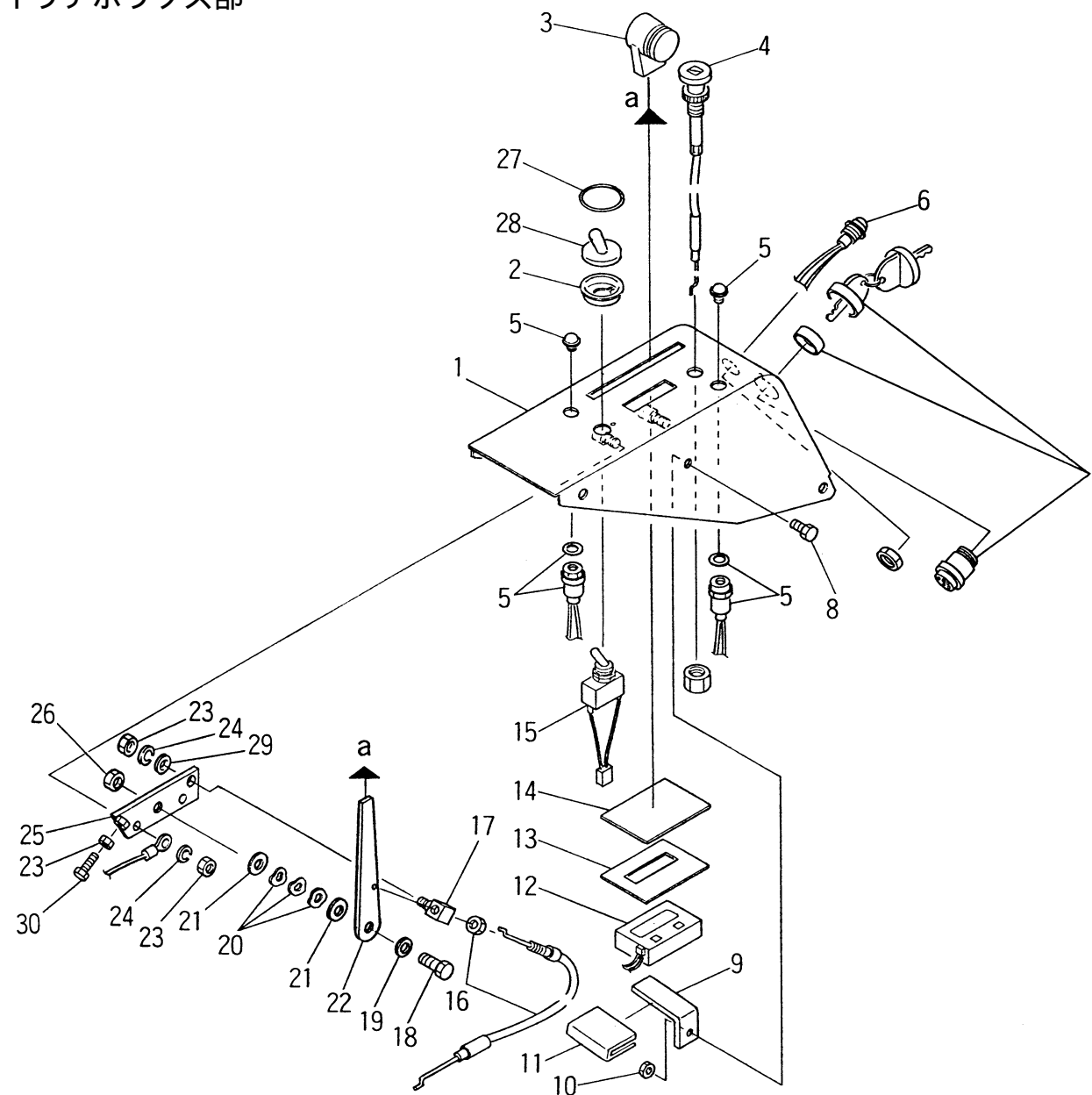
1 3 ハンドルワイヤー&プーリー部



加付 番号	コード番号	部 品 名 称	1台 個数	共用 部品	小売価格
13-1	K 0 0 0 0 0 6 1 0 0 2	6ボルト100	2		
13-2	K 5 0 0 0 0 6 0 0 0 2	6ワッシャー	6		
13-3	K 0 2 0 0 3 6 0 0 0 2	6Sワッシャー	2		
13-4	K 0 1 1 0 0 6 0 0 0 2	6袋ナット	2		
13-5	K 0 0 0 3 0 8 0 9 0 2	8ボルト90	2		
13-6	L M 3 1 5 G - 1 1 1 5 Z 3	カラー	2		
13-7	L M 1 5 0 G A 1 1 1 7 B 2	カラー	3		
13-8	K 0 1 0 0 0 8 0 0 0 2	8ナット	6		
13-9	L M 3 1 5 G - 1 1 1 3 Z D	ワイヤプーリー支工板	1		
13-10	K 0 4 0 1 0 1 5 0 0 1	ストップリングS15	5		
13-11	K 0 4 0 2 0 3 5 0 0 1	ストップリングR35	7		
13-12	K 0 6 1 2 0 6 2 0 2 0	ベアリング62022RD	8		
13-13					
13-14					
13-15	K 0 2 0 0 0 8 0 0 0 2	8Sワッシャー	2		
13-16	L M 3 1 5 G - 1 1 1 4 Z D	ワイヤプーリー取付板	1		
13-17					
13-18	L M 3 1 5 G A 1 1 2 8 Z 2	カラーW	1		
13-19	L M 3 1 5 G A 1 1 6 1 A D	ハンドルフレーム	1		
13-20	L M 3 1 5 G - 1 1 0 3 Z 3	ハンドル支点ボルト	1		
13-21	K 0 2 0 0 1 0 0 0 0 2	10Sワッシャー	1		
13-22	K 0 1 0 0 1 0 0 0 0 2	10ナット	1		
13-23	K 0 0 0 3 0 8 1 1 0 2	8ボルト110	1		
13-24	K 5 0 0 0 0 8 0 0 0 2	8ワッシャー	2		
13-25	L M 3 1 5 G - 1 1 1 8 Z D	プーリーカバー	1		
13-26	K 5 0 0 0 0 5 0 0 0 2	5ワッシャー	8		
13-27	K 0 2 0 0 0 5 0 0 0 2	5Sワッシャー	8		
13-28	K 0 1 0 0 0 5 0 0 0 2	5ナット	4		
13-29	L M 3 1 5 G A 1 1 0 2 A B	ハンドル	1		
13-30	K 0 0 0 7 0 8 0 2 0 2	8ボルト20SW	1		
13-31					
13-32					
13-33	L M 1 5 0 G A 1 1 0 2 A 3	ハンドルピン	1		
13-34	K 0 0 4 1 0 5 0 6 2 2	5+ さら小ねじ65	3		
13-35	L M 1 5 0 G A 1 1 0 5 Z D	ハンドルベアリング上ブタ	1		

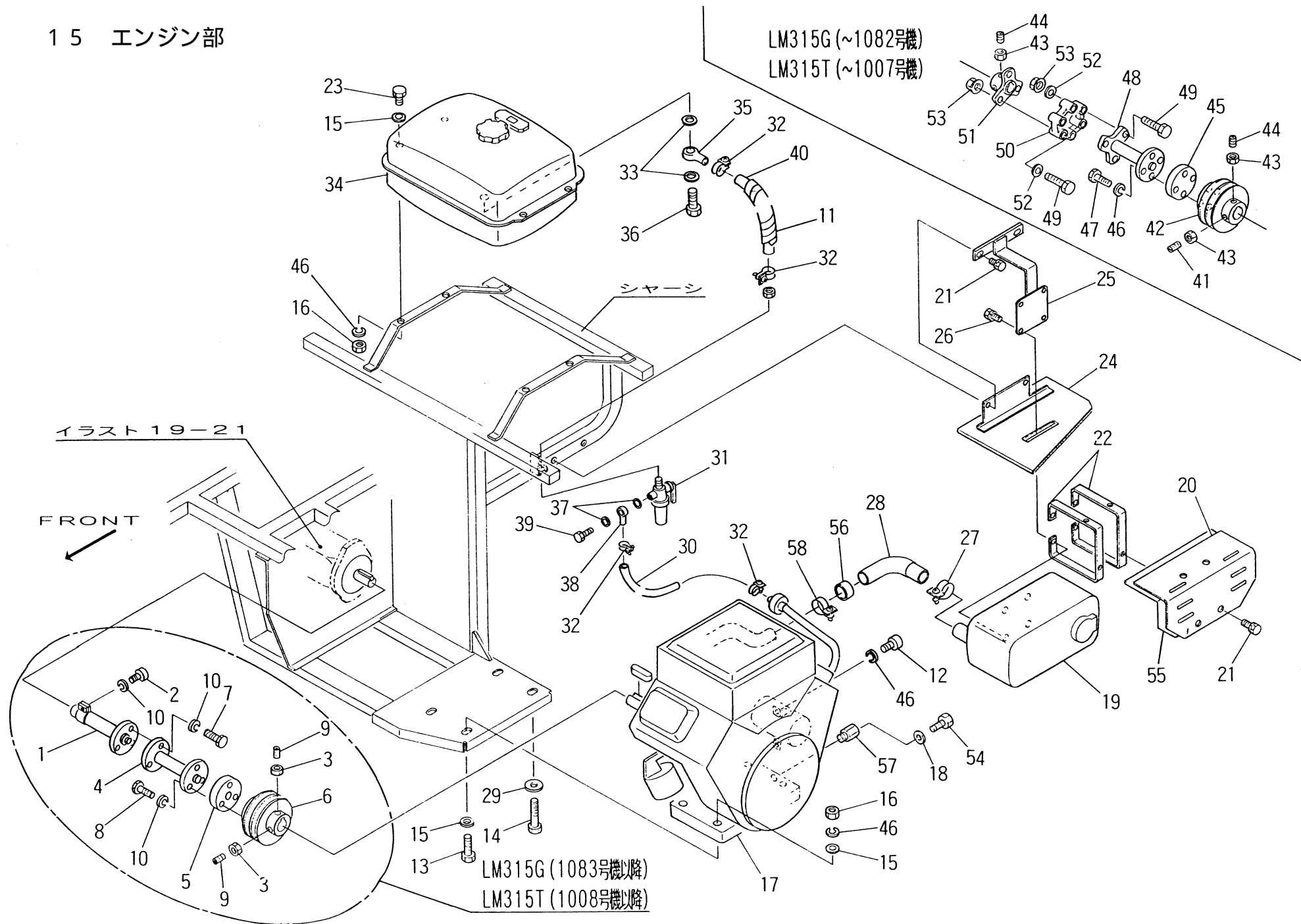
[illegible]

1 4 ハンドルスイッチボックス部



15 エンジン部

LM315G (~1082号機)
LM315T (~1007号機)

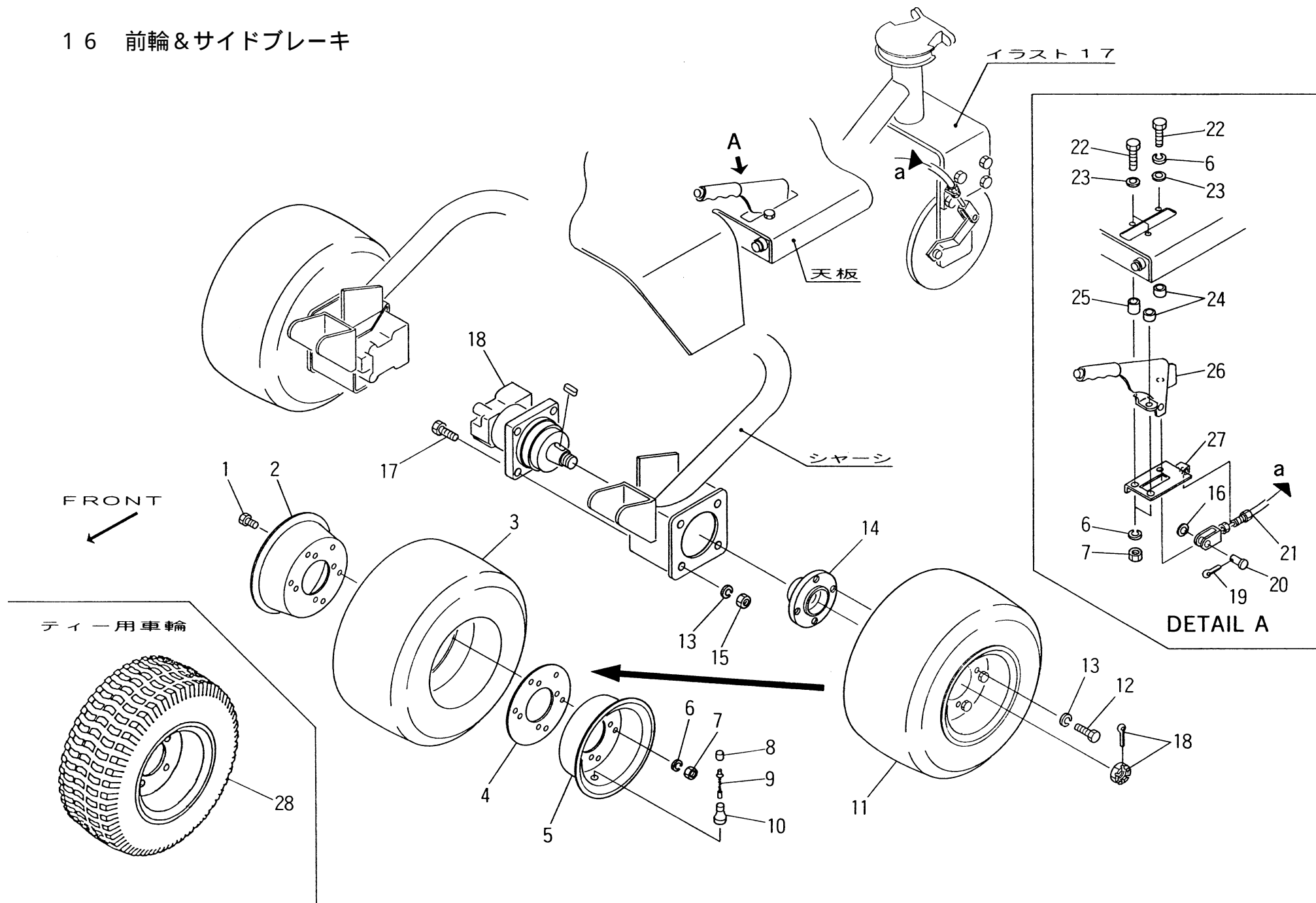


カタログ 番号	コード番号	部 品 名 称	1台 個数	共用 部品	小売価格
15-1	LM315G-0503A3	ポンプ軸ジョイント金	1		
15-2	K0024080251	8六角穴付ボルト30	1		
15-3	K0100080002	8ナット	2		
15-4	K1620000100	ジョイントTBJ20DF	1		
15-5	LM315G-0504A0	ベルトカラー	1		
15-6	LM315G-0501A3	エンジンプーリー	1		
15-7	K0010080151	8調質ボルト15	3		
15-8	K0010080351	8調質ボルト35	3		
15-9	K0023080201	8ホーローセット20	2		
15-10	K0200080002	8Sワッシャー	7		
15-11	K3190003500	SP-12コイルチューブ350	1		
15-12	K0024080201	8六角穴付ボルト20	2		
15-13	K0000080452	8ボルト45	2		
15-14	K0000080652	8ボルト65	2		
15-15	K5000080002	8ワッシャー	10		
15-16	K0100080002	8ナット	8		
15-17	K2680000010	バンガードエンジン303447	1		
15-18	K0920140000	14シールワッシャーS1	1		
15-19	LM315G-0514Z0	マフラー493963COMP	1		
15-20	LM315G-0511AU	マフラーカバー	1		
15-21	K0006060102	6ボルト10S	6		
15-22	LM315G-0512ZU	カバー取付金	2		
15-23	K0000080202	8ボルト20	4		
15-24	LM315G-0508ZU	マフラー遮熱板	1		
15-25	LM315G-0507ZU	マフラスター	1		
15-26	K0069000092	W1/4ボルト12	4		
15-27	K4261024000	パーカークランプ26-50	1		
15-28	LM315GA0506ZU	エキゾーストパイプ	1		
15-29	K5073208352	3.2SPHC座金835	2		
15-30	LM315G-0517ZO	ラバーパイプ70	1		

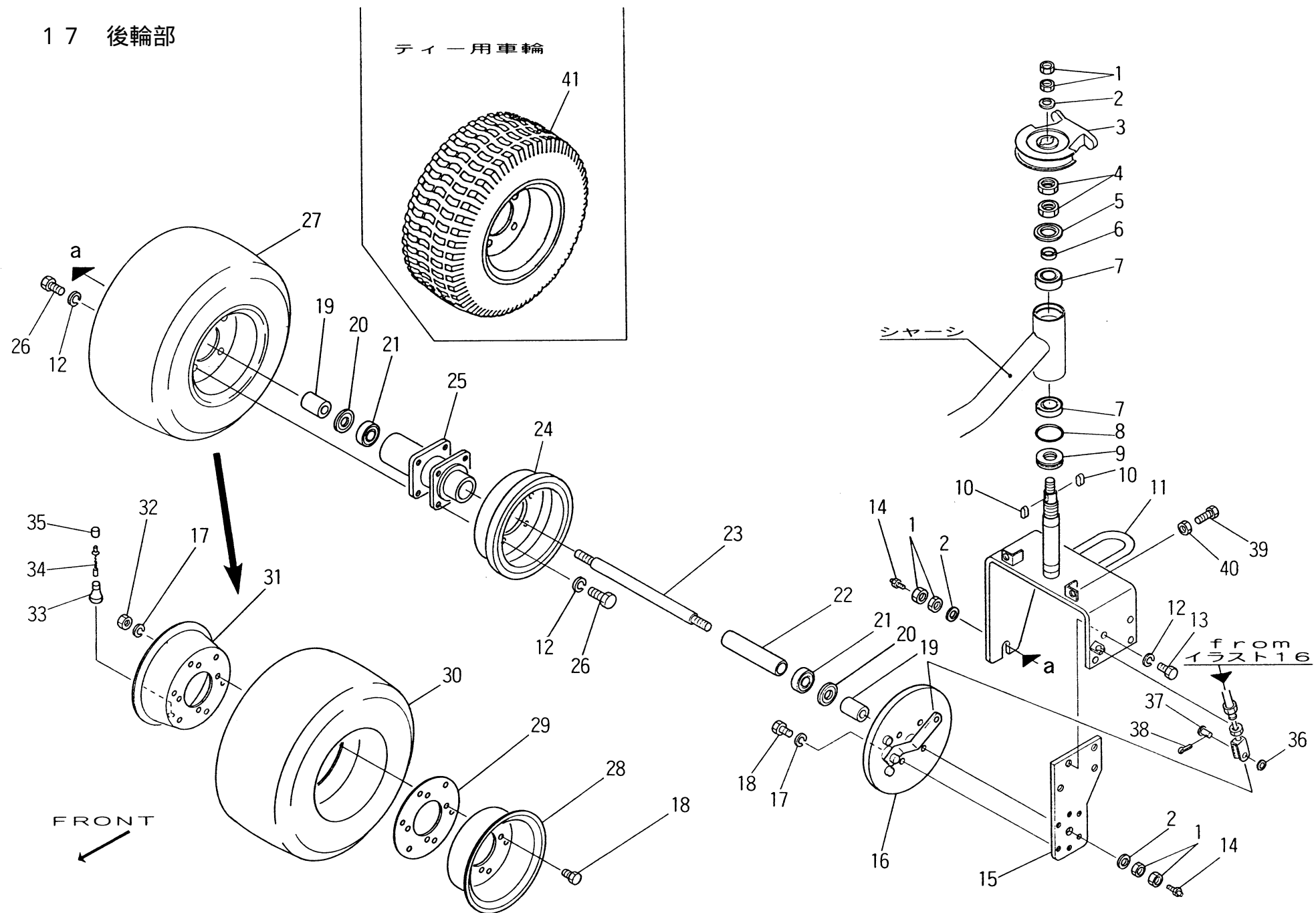
カタログ 番号	コード番号	部 品 名 称	1台 個数	共用 部品	小売価格
15-31	R0642007101	フュエルストレーナ	1		
15-32	R0561110020	ホースクランプ	4		
15-33	R0037110000	ガスケット	2		
15-34	R1246035001	フュエルタンクAss'y	1		
15-35	R0521100011	バンジョウ	1		
15-36	R0530100020	バンジョウボルト	1		
15-37	R0642000250	ガスケット	2		
15-38	R2146234008	バンジョウ	1		
15-39	R0642000240	バンジョウボルト	1		
15-40	LM315G-0516ZO	ラバーパイプ400	1		
15-41	K0023060201	6ホーローセット20	1		
15-42	LM315G-0501Z2	エンジンプーリー	1		
15-43	K0100060002	6ナット	4		
15-44	K0023060151	6ホーローセット15	3		
15-45	LM315G-0504ZB	ベルトカラー	1		
15-46	K0200080002	8Sワッシャー	14		
15-47	K0000080402	8ボルト40	4		
15-48	LM315G-0502Z3	ジョイント金	1		
15-49	K0003100502	10ボルト50	6		
15-50	LM150GA0506Z0	ゴムジョイントCG5502	1		
15-51	LM315G-0503Z3	ポンプ駆動金	1		
15-52	K5000100002	10ワッシャー	6		
15-53	K0143100002	10さらばね付ナット	6		
15-54	K0001140202	14ボルト20P1.5	1		
15-55	LM315G-0509Z0	マフラー防熱材	1		
15-56	K6212001412	25.5STKMカラー2920	1		
15-57	LM315GA0510Z3	ドレン金具	1		
15-58	PL392649	マフラークランプ	1		

LM315GA

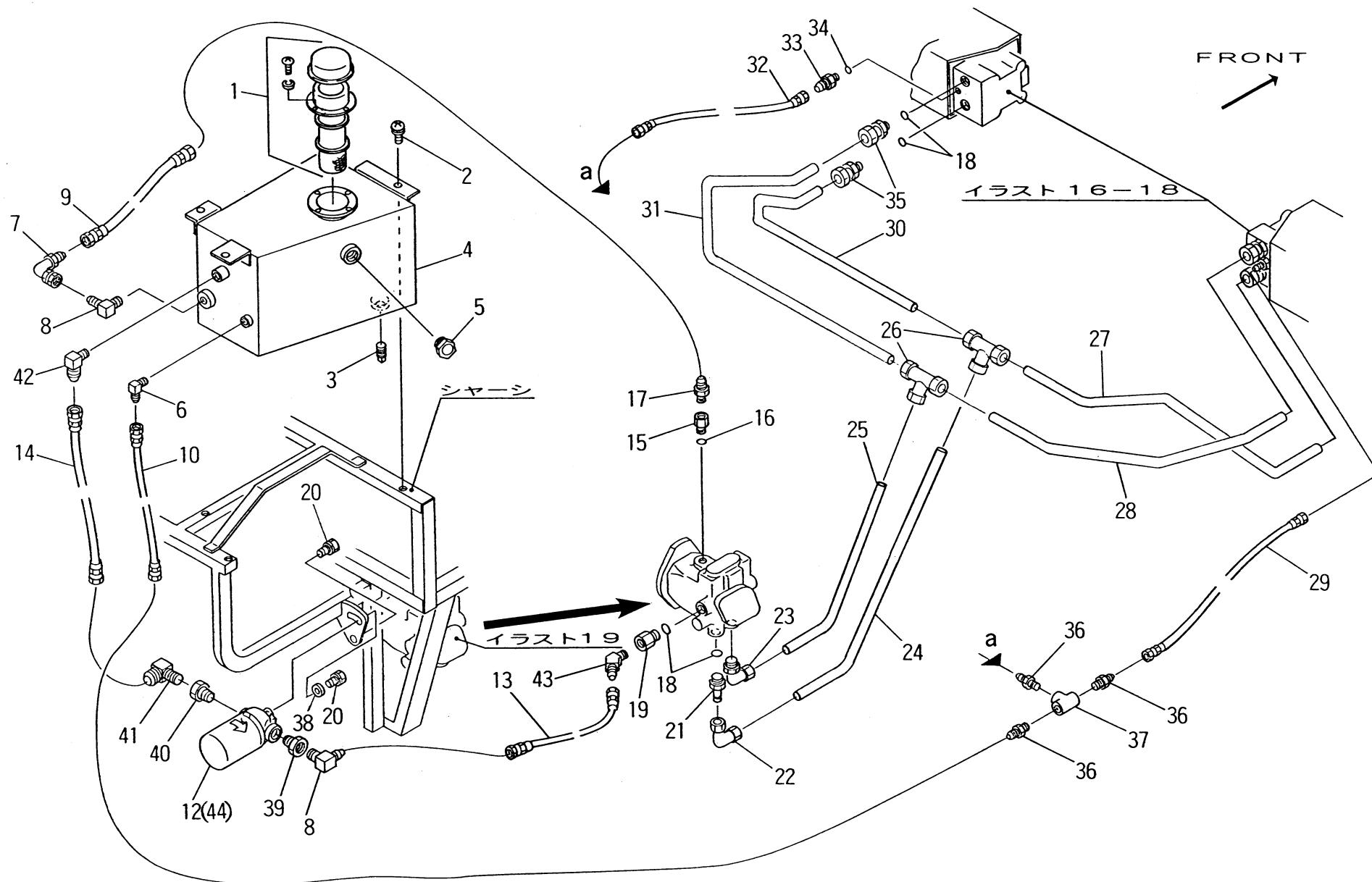
16 前輪&サイドブレーキ



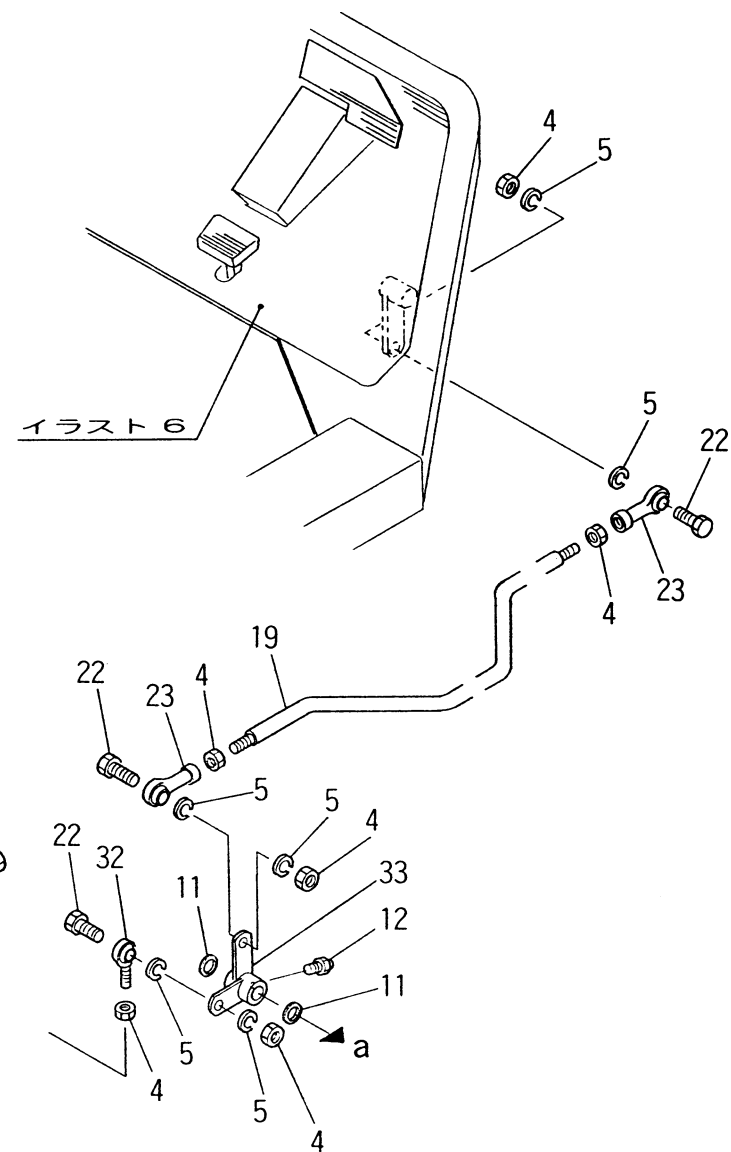
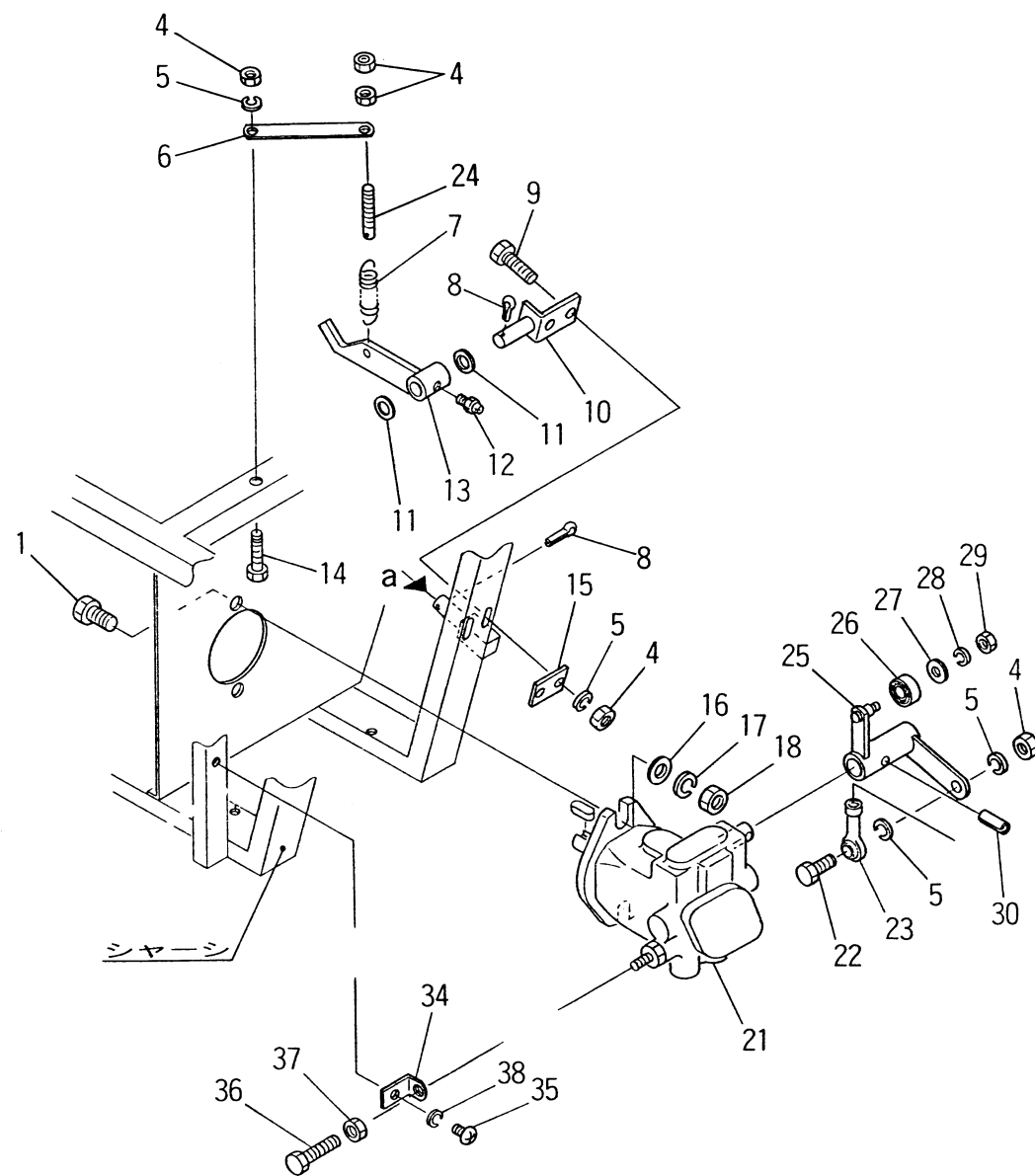
17 後輪部



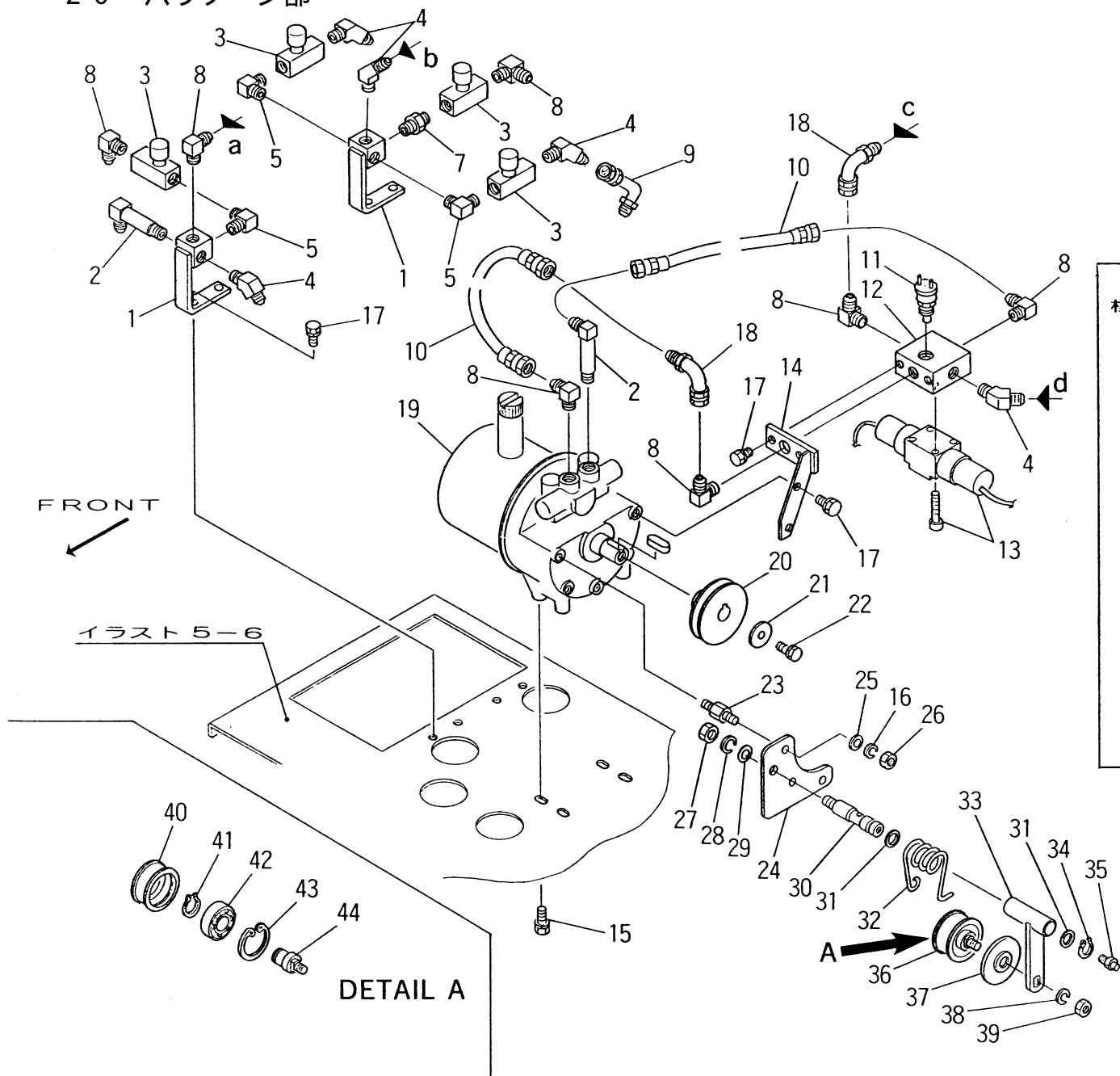
1 8 油圧部 (配管) LM315G (1083号機以降)
LM315T (1008と1017号機以降)



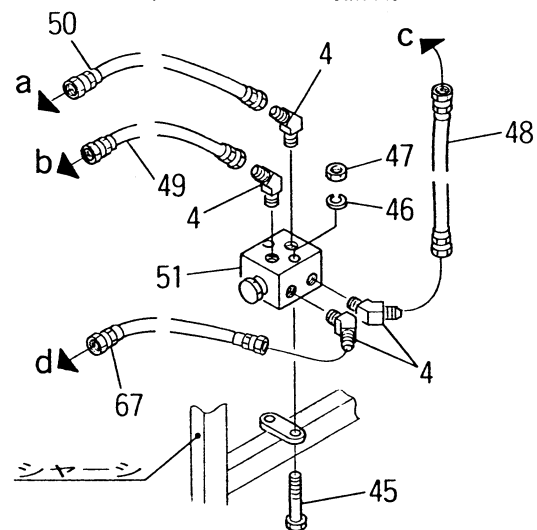
1 9 油圧部 (ペダル・レバー)



20 パッケージ部



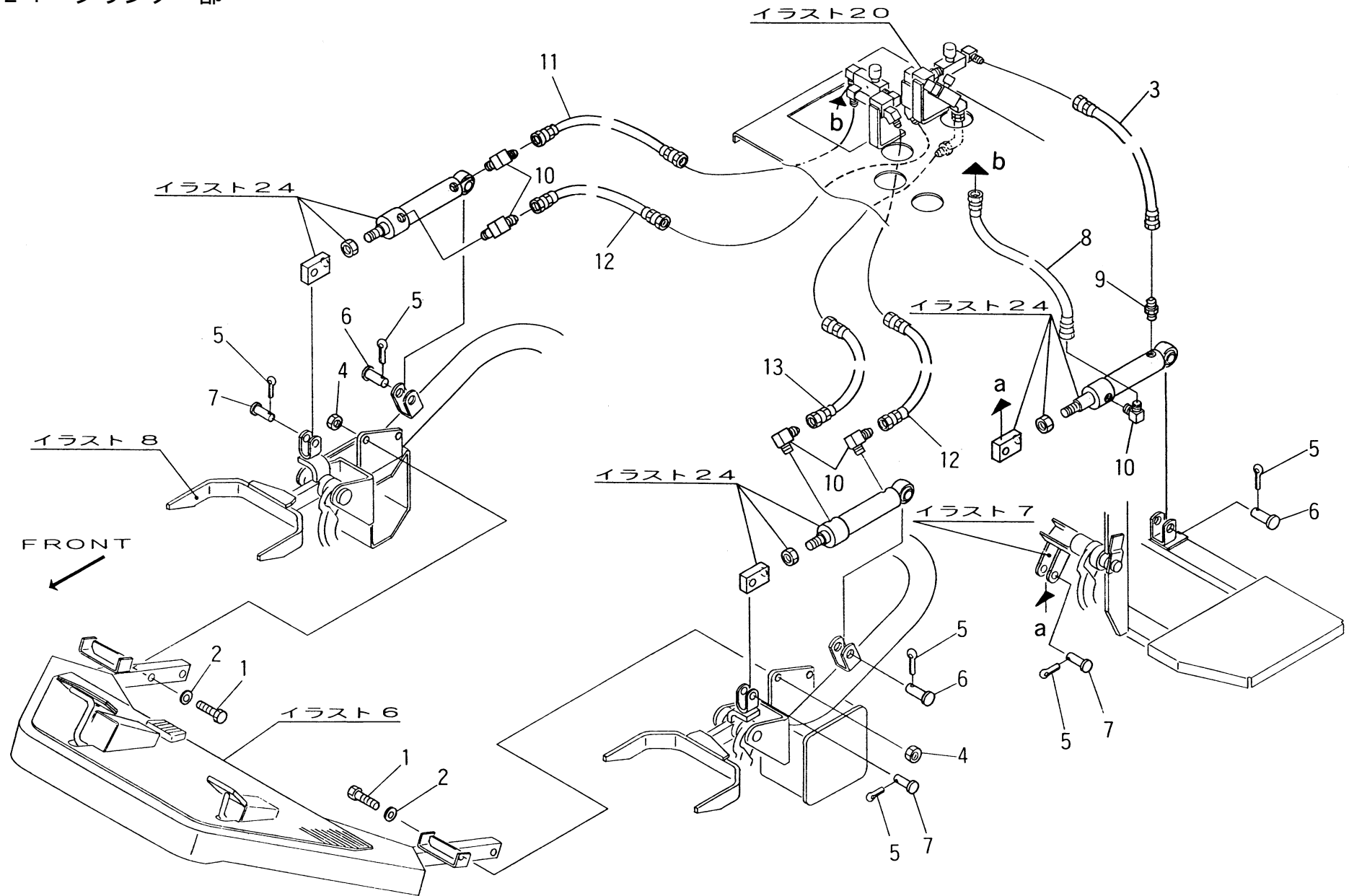
標準タイプ (LM315G 1064号機以降)
(LM315T 1006号機以降)



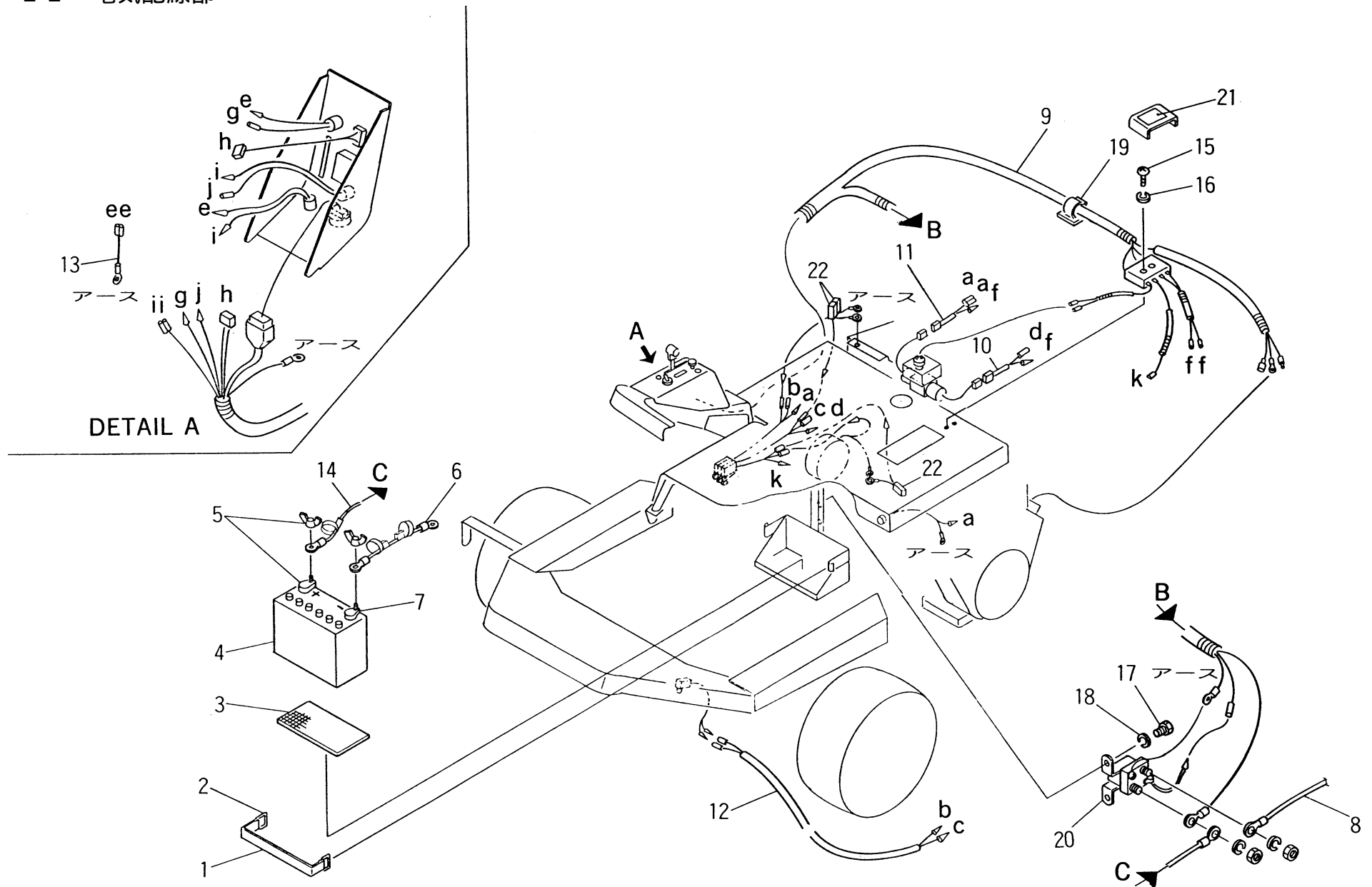
カタログ 番号	コード番号	部 品 名 称	1台 個数	共用 部品	小売価格
20-1	L M 3 1 5 G - 0 6 0 4 Z 3	配管金具	2		
20-2	K 3 0 0 5 0 0 0 0 1 2	ロングエルボ1/4	2		
20-3	K 3 3 3 2 0 0 0 0 4 0	スローリタンバルブHT720-02	4		
20-4	K 3 0 0 3 0 6 0 0 0 2	45エルボ1035-6	9		
20-5	K 3 0 0 6 0 0 0 0 4 2	同径エルボPT1/4	3		
20-6	K 0 0 0 0 0 8 0 3 0 2	8ボルト30	4		
20-7	K 3 0 2 3 0 4 0 0 0 1	ニップルNSPT1/4	1		
20-8	K 3 0 0 1 0 6 0 0 0 2	90エルボ1033-6	6		
20-8	K 3 0 0 1 0 6 0 0 0 2	90エルボ1033-6 * A * B	8		
20-9	K 3 0 2 5 0 6 L 0 4 0	パイプアダプタ06L-04	1		
20-10	K 3 1 0 3 2 1 0 3 1 0	WP140-6ホース1-310	2		
20-10	K 3 1 0 3 2 1 0 3 1 0	WP140-6ホース1-310 * B	2		
20-10	K 3 1 0 3 2 1 0 3 1 0	WP140-6ホース1-310 * A	4		
20-11	L M 3 1 5 G - 0 5 1 5 Z 0	サーモスイッチ	1		
20-12	K 3 3 1 4 0 0 0 0 1 0	サブプレートTR-M2101	1		
20-13	K 3 3 1 3 0 0 0 0 1 0	ソレノイドバルブ307804	1		
20-14	L M 3 1 5 G - 0 6 0 5 Z 3	サブプレート取付金	1		
20-15	K 0 0 0 7 0 8 0 2 0 2	8ボルト20SW	4		
20-16	K 0 2 0 0 0 8 0 0 0 2	8Sワッシャー	3		
20-17	K 0 0 0 6 0 8 0 1 6 2	8ボルト16S	8		
20-18	K 3 0 2 5 0 6 9 0 4 0	パイプアダプタ069-04	2		
20-19	K 3 2 6 1 0 0 0 0 8 0	パワーユニットYPU30R302	1		
20-20	L M 3 1 5 G - 0 6 0 2 Z 2	A1Vブーリー-2085	1		
20-21	K 5 0 7 3 2 1 0 3 5 2	3.2SPHC座金1035	1		
20-22	K 0 0 0 6 1 0 0 1 6 2	10ボルト16S	1		
20-23	L M 1 5 0 G A 0 6 5 8 Z 3	パッケージボルト	3		
20-24	L M 3 1 5 G - 0 6 0 1 Z L	リフトレバー取付板	1		
20-25	K 5 0 0 0 0 8 0 0 0 2	8ワッシャー	3		
20-26	K 0 1 0 0 0 8 0 0 0 2	8ナット * A * B	5		
20-26	K 0 1 0 0 0 8 0 0 0 2	8ナット	3		
20-27	K 0 1 0 8 1 2 0 0 0 2	12ナット3P1.25	1		
20-28	K 0 2 0 0 1 2 0 0 0 2	12Sワッシャー	1		
20-29	K 5 0 1 1 0 1 2 2 6 2	1SPCC座金1226	1		
20-30	L M 1 5 0 G A 0 6 0 6 A 3	テンション軸	1		
20-31	K 5 0 1 1 0 1 6 2 2 2	1SPCC座金1622	2		
20-32	L M 1 5 0 G A 0 6 0 7 A 3	テンションスプリング上	1		
20-33	L M 3 1 5 G - 0 6 0 8 Z 3	テンションレバー	1		
20-34	K 0 4 0 1 0 1 5 0 0 1	ストップリングS15	1		
20-35	K 1 4 4 0 0 0 0 0 1 2	グリスニップル	1		
20-36	L M 1 5 0 G A 1 5 5 2 Z 0	テンションブーリー-21Ass'y	1		

[illegible]

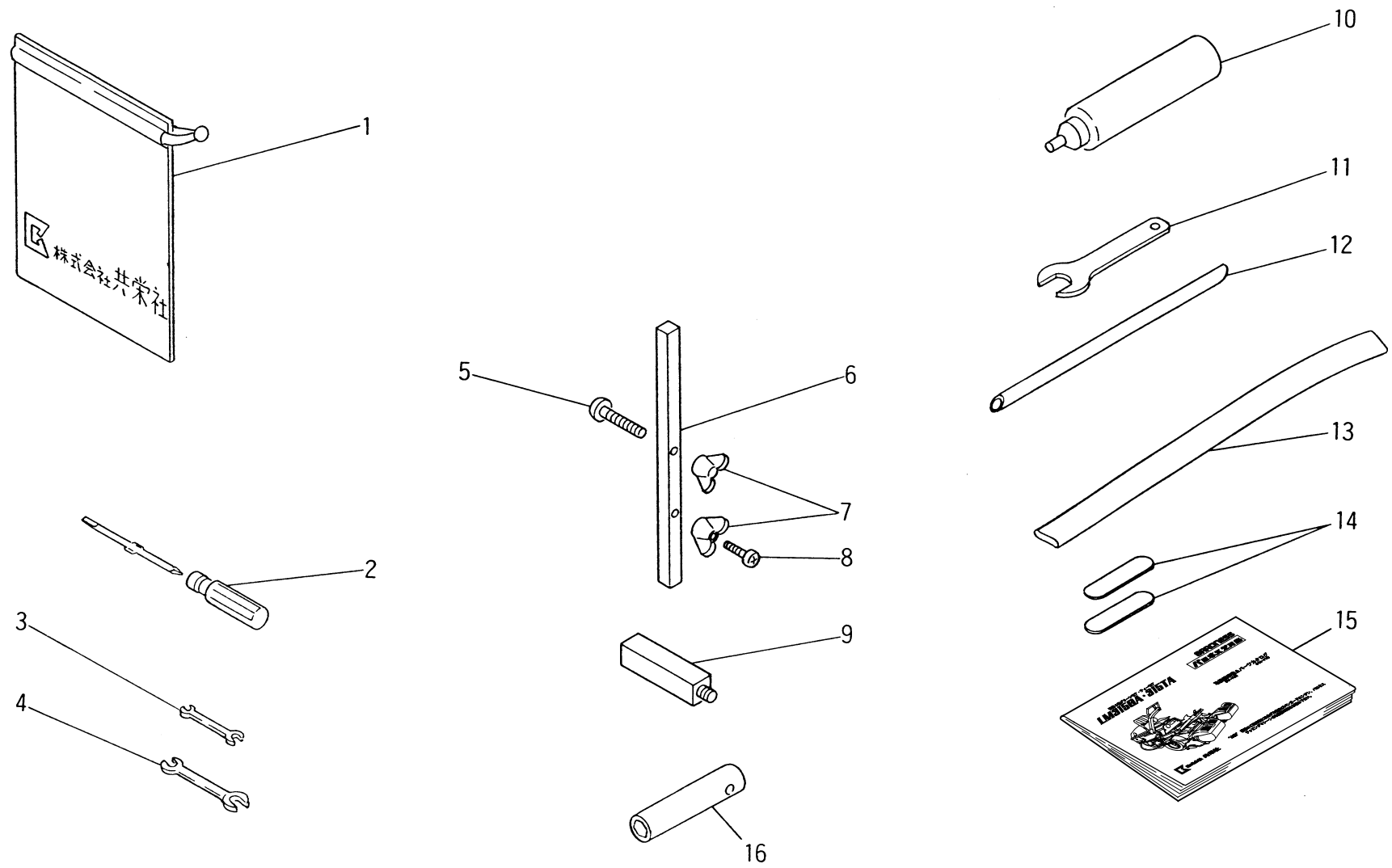
2 1 シリンダー部



2 2 電気配線部



2 3 工具



2 4 シリンダー A s s 'y 部

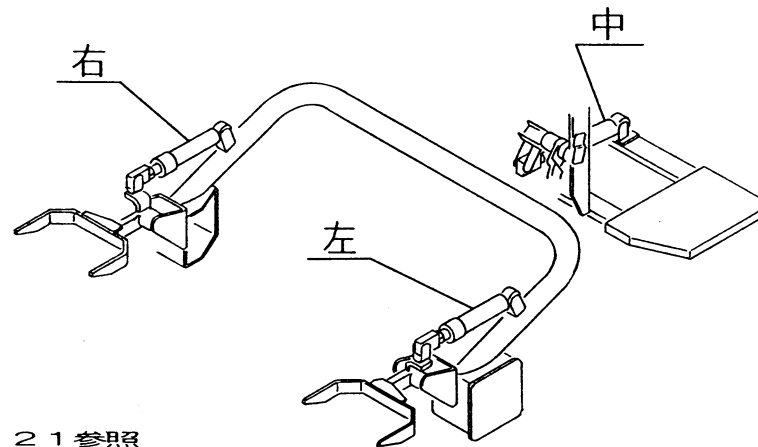
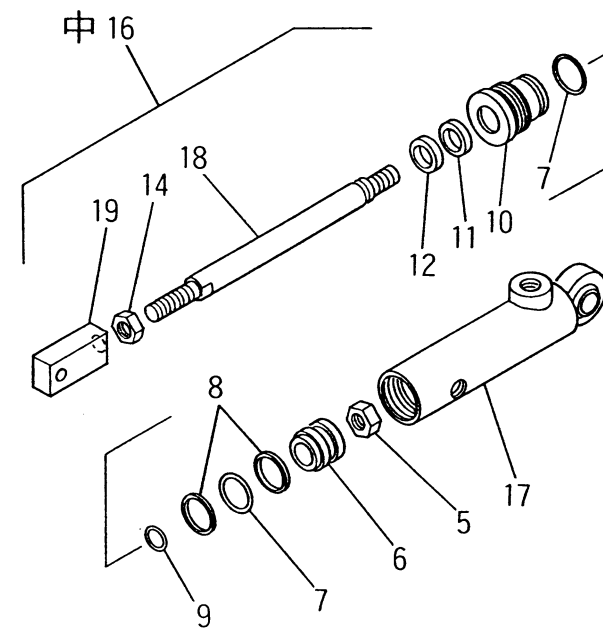
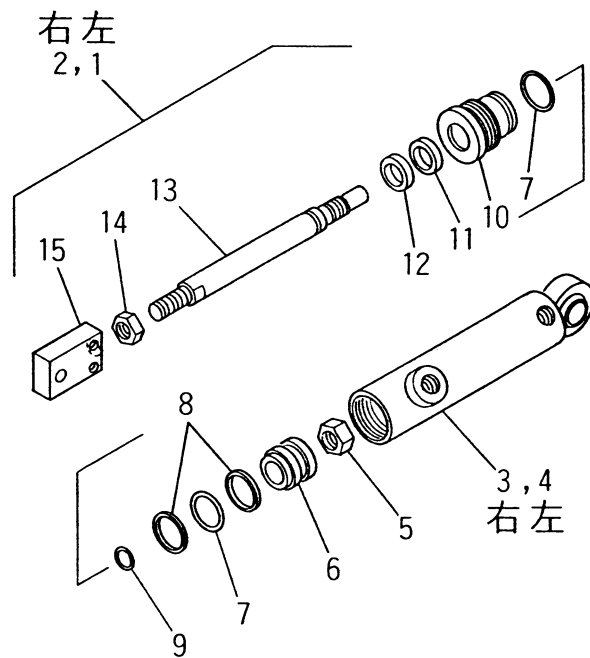
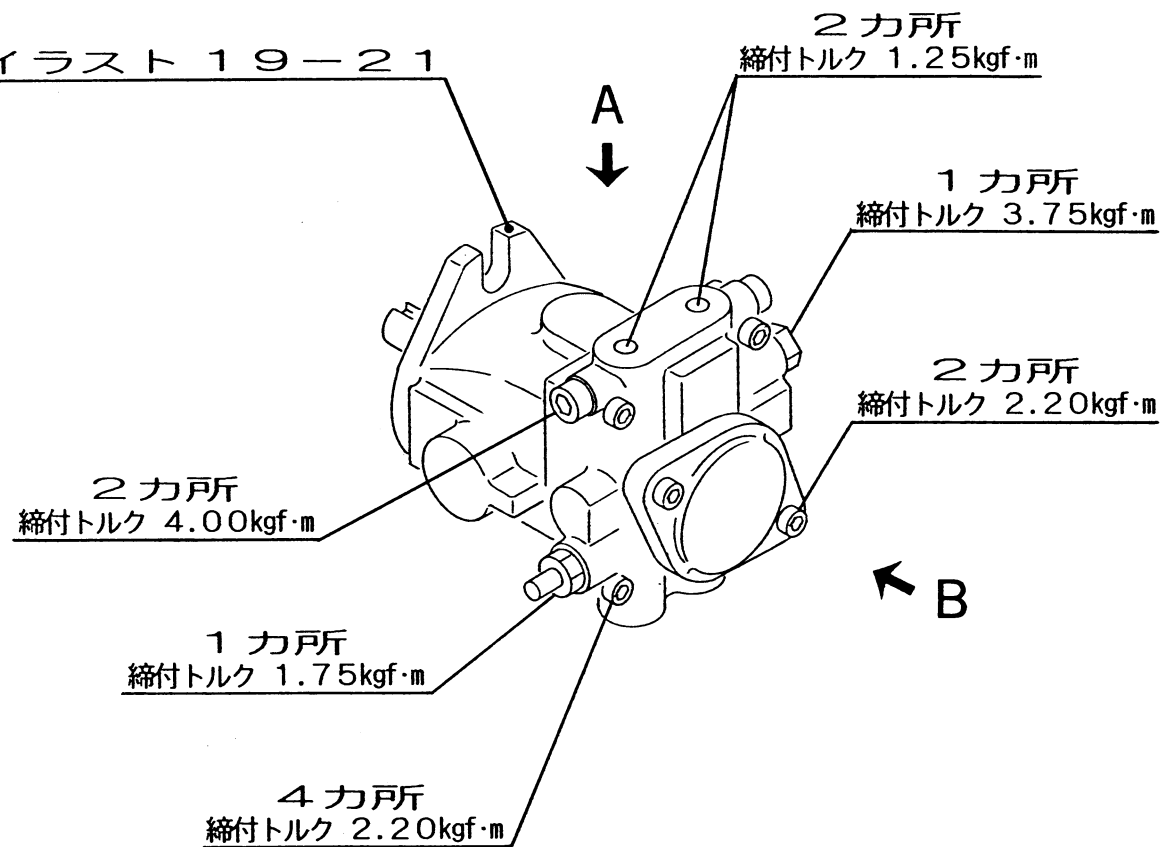


イラスト 21 参照

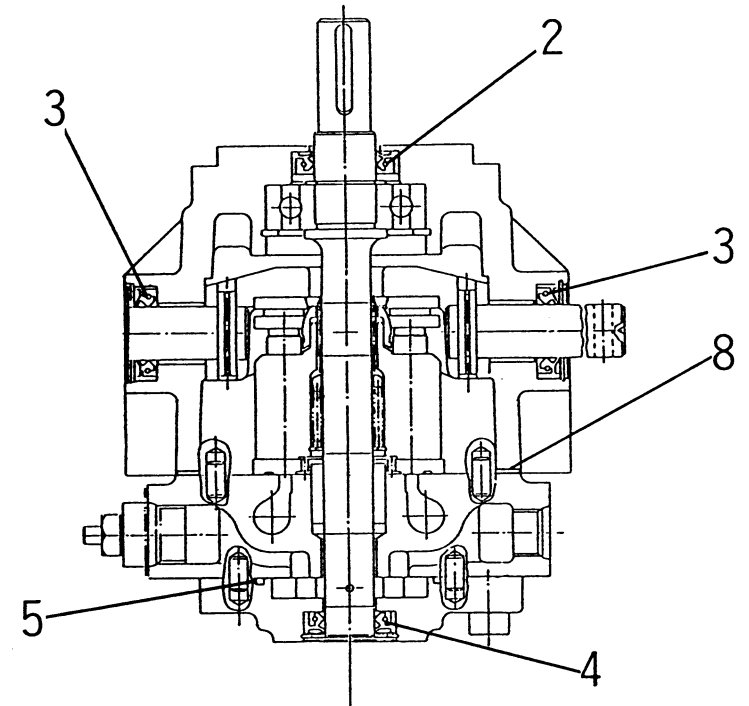


2 5 油圧ポンプ部

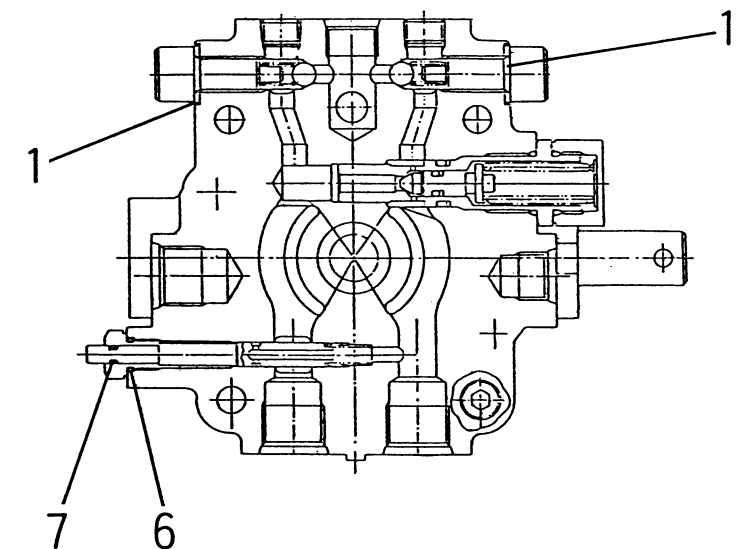
イラスト 19-21



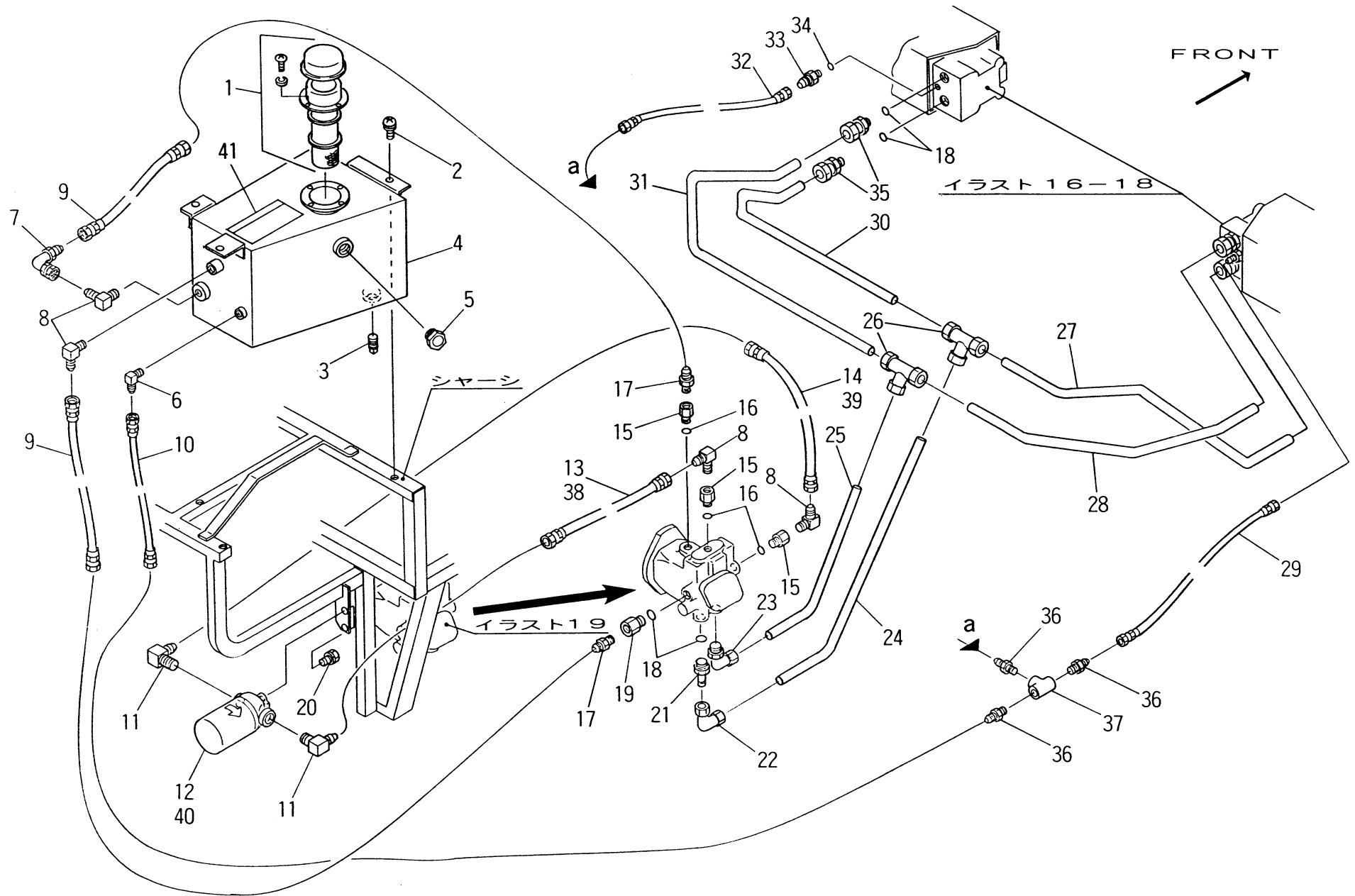
A矢視断面図



B矢視断面図



2 6 油圧部 (配管) LM315G (1082号機以前)
LM315T (1016号機以前)





株 式 会 社

共 栄 社

〒442-8530

TEL <0533> 84-1221(代)

愛知県豊川市美幸町1-26

FAX <0533> 84-1220